

対象機種

INT-HD7704-4P	INT-HD7732-16P-4	受注生産品
INT-HD7708-8P	INT-HD7732-16P-8	受注生産品
INT-HD7716-16P	INT-HD7764-8	受注生産品

保存版

Ver. 4.2

2025年11月1日発行

・もくじ	・おことわり	p1	1 4. Webブラウザの使用	p38
1. パスワードの取扱に関して			14-1 Webブラウザ ログイン	
2. ログイン		p2	14-2 Webブラウザ ライブ	
3. 初期設定			14-3 Webブラウザ 再生	p40
4. 時刻同期			14-4 Webブラウザ バックアップ	p42
5. 録画画像設定		p3	1 5. ONVIF接続に関して	p43
6. ライブ		p4	1 6. マイク（音声）コーデック変更に関して	p44
7. タスクバー表示			1 7. 顔検知・顔認証	
8. サブメニュー		p5	17-1 顔検知及び顔認証の注意点	p45
9. 再生			17-2 顔検知（顔検出）の設定	
9-1 簡易再生の時間設定			17-3 NVRでの検知	p46
9-2 チャンネルごとに簡易再生		p6	17-4 スケジュールの設定・登録	p48
9-3 全チャンネル簡易再生			17-5 IPCでの検知	p49
9-4 通常再生（検索再生）			17-6 処理設定	p50
1 0. バックアップ		p8	1 8. 顔データベースの作成	
10-1 USBメモリーのフォーマット			18-1 顔検知で収集した顔データの取り込み	p51
10-2 再生モードからのバックアップ		p9	18-2 外部データの取り込み	p56
1 1. リモート接続		p10	1 9. 顔認証	
11-1 NVR側の設定と確認事項			19-1 NVRでの顔認証	p60
11-2 NVR側のNAT接続の設定		p11	19-2 Webブラウザでの顔認証	p61
1 2. アプリ「SuperLive Plus」の入手		p12	2 0. その他の顔認識・顔認証	p64
12-1 SuperLive Plus デバイス登録		p13	2 1. 顔データベースのインポート/エクスポート	p67
12-2 SuperLive Plus ライブ		p15	21-1 エクスポート	
12-3 SuperLive Plus 再生		p16	21-2 インポート	p68
12-4 SuperLive Plus 再生コントロール			2 2. その他の検知・AI機能	
12-5 SuperLive Plus ファイルダウンロード		p18	22-1 境界検知	p69
1 3. PCソフト「NVMS 2.0」のインストール		p19	22-2 スマート検知	p75
13-1 NVMS 2.0 起動とログイン		p20	22-3 スマート検知の検索	p77
13-2 NVMS 2.0 デバイス登録		p24	22-3-1 スマート検知の検索「顔」	p78
13-3 NVMS 2.0 ライブ		p28	22-3-2 スマート検知の検索「人体」	p81
13-4 NVMS 2.0 再生		p33	22-3-3 スマート検知の検索「車両」	p82
13-5 NVMS 2.0 バックアップ		p35	22-3-4 スマート検知の検索「複合」	p84
			2 3. カメラ対応表	p86
			2 4. オプション品適合表	p87

おことわり

- このマニュアルでは、INT-HD7700 シリーズ（以降、「NVR」または「本製品」と言う）の基本操作を **簡単に説明**したものであります。それ以外の説明や関連 PC ソフトは、製品添付の CD-ROM または弊社ホームページから入手する事ができます。
- 本製品の PoE ポートにカメラを接続した瞬間から、カメラ内部の情報が NVR によって書き換えられます。1 度 PoE ポートに接続したカメラを再びネットワーク接続するには、**パソコンでの設定が必要**となります。また逆に 1 度ネットワーク接続したカメラを NVR の P&P ポートに接続すると、例外を除いてほぼ何も設定無く接続する事が出来ます。P&P 接続しないカメラを NVR の P&P ポートに接続しないよう、十分にご注意下さい。基本的に P&P 接続は **NVR とカメラが同一メーカー**（純正品）である事が条件です。仮に何らかの手段で他社カメラが P&P 接続できたとしても、それに対する弊社へのサポートやご質問はお受けできません。ご了承下さい。
- 強引に P&P ポートに対応以外のカメラを接続した影響でカメラまたは NVR、またはその両方が故障した場合、保証期間内であっても**保証対象外**となります。

1 パスワードの取扱に関して

この簡易マニュアル内には NVR のパスワードは書かれておりません。

お客様側で変更されたパスワードはメーカーでも調べる事は出来ません。この場合、保証期間内であっても**有料**での修理扱いとなる場合もございます。パスワードの取扱いには十分にご注意下さい。

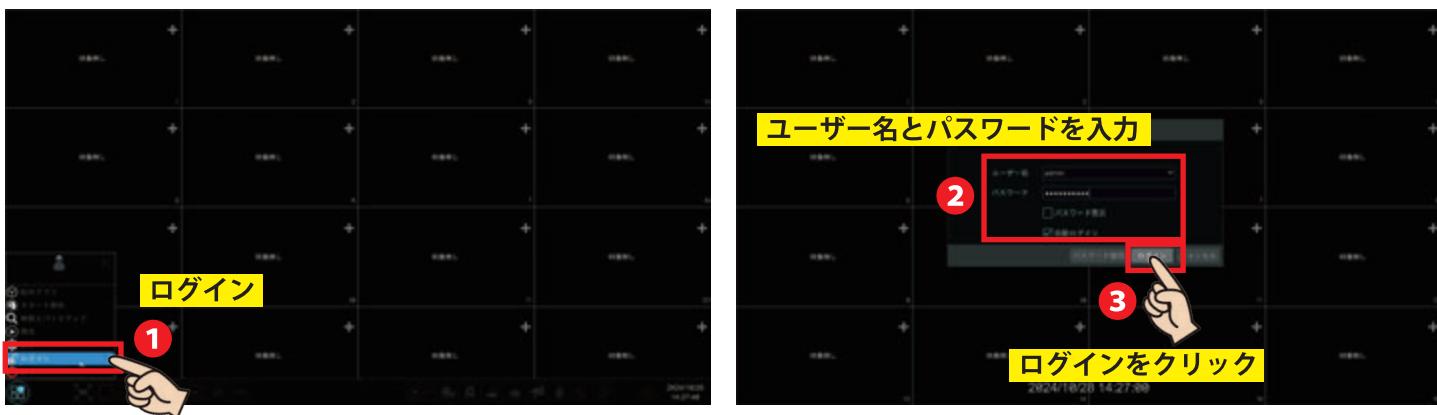
管理者ユーザー名 (admin) は変更する事は出来ません。

2 ログイン

本製品を使用するには**ユーザー名とパスワードが必要**です。出荷時初期設定の状態では管理者となるユーザー名とパスワードの入力を設定により**省略**しています。お客様が任意的にログアウトされた場合、再ログインが必要です。

①画面左下の**開始**アイコンをクリックし**ログイン**をクリックします。

②ユーザー名とパスワードを入力し**ログイン**をクリックします。



3 初期設定

弊社へのご注文を頂いた際、弊社の基準となる最適な設定で出荷いたします。設置環境や設置場所、被写体によってお客様側で変更頂く事もございます。

主に時計設定は NTP サーバ同期 ON、イベント (動体検知) ON、OSD 表示 OFF、NAT (旧 P2P) OFF、メイン及びサブストリーム設定を行っております。

お客様側で本製品を工場出荷リセットされたり、後日カメラを増設すると一部設定を変更する必要があります。

主に重要な 2か所を解説します。必要な場合は変更して下さい。

4 時刻同期

本製品はインターネットを介して内部時計を合わせる「NTP 時刻同期」が ON の状態になっています。接続せずに NTP 同期を ON のままでご利用頂くと、時刻が大きくずれてしまいます。インターネット環境が無い、または接続しない場合は NTP サーバ同期を OFF にして下さい。

ログイン → **開始** → **設定** → **システム** → **日時設定** → ネットワーク時刻設定の同期を「NTP」から「**手動**」に変更し、上段の日時設定のシステム時間を合わせ、最後に**適用**をクリックして下さい。



5 録画画像設定

注意

本製品はNVRを介さず単独で直接IPカメラの設定を行っても、カメラをNVRへ接続し登録した段階で**NVRがカメラの全ての設定を製造メーカーの標準設定に書き換えてしまいます**。それでも録画は一応実行されますが、録画期間が予想より短くなったり、色むらやノイズが発生したり残像が現れたりします。またバックアップされたデータの再生が出来ないや困難になる場合があります。以下の手順で**変更を任意的**にお勧めします。これらはP&P接続及びネットワーク接続共通です。

この作業は、カメラの変更や入替、増設などを行った際お客様ご自身で設定を行って頂く項目です。

手順 ① ログイン → **開始** → **設定** → **録画** → 録画設定の**イベント録画設定**をクリック

エンコード：全て**H.264**に変更 解像度：接続されているカメラの**最大解像度** **FPS**：そのカメラの**最大値**

ビットレートタイプ：全て**CBR** ビットレート：**2048Kbps** 音声：全てONなので、好みで**OFF**

GOP：**FPSと同じ数値** → **適用**

② **スケジュール録画設定**をクリック

ビットレートタイプ：全て**CBR** ビットレート：**2048Kbps** **GOP**：**FPSと同じ数値** → **適用**

③ **サブストリーム録画**をクリック → モードを自動から**手動に変更**

エンコード：全て**H.264**に変更 解像度：中間(例えは：**704×480**) **FPS**：そのカメラの**最大値**

GOP：**FPSと同じ数値** → **適用**



	カメラ名	ストリーム タイプ	エンコード	解像度	FPS	ビットレート タイプ	画質	ビット レート	音声	GOP
イベント 録画設定	変更不可	メインストリーム	H.264	最大値	最大値	CBR	—	2048Kbps	オン	FPSと同じ
スケジュール 録画設定	変更不可	メインストリーム	H.264	最大値	最大値	CBR	—	2048Kbps	オン	FPSと同じ
サブストリーム 録画	変更不可	サブストリーム	H.264	中間	最大値			512Kbps		

※ **イベント録画**：動体検知(モーション)録画時の録画設定です。デフォルトでは動体検知(モーション)録画は**有効**の状態です。

スケジュール録画：デフォルトでは**「24×7」**が設定されており、24時間1週間の繰り返し、つまり**連続録画**が有効になっている状態です。

※ サブストリーム録画は自動が選択されている場合、変更はできません。**手動**に切り替えて下さい。

※ **サブストリーム録画**：低解像度でデータ量が少ない為、動き重視の分割表示やサムネイル表示など多種多様な場面で使用されます。但しOnvifカメラのサブストリームは**設定不可**となります。

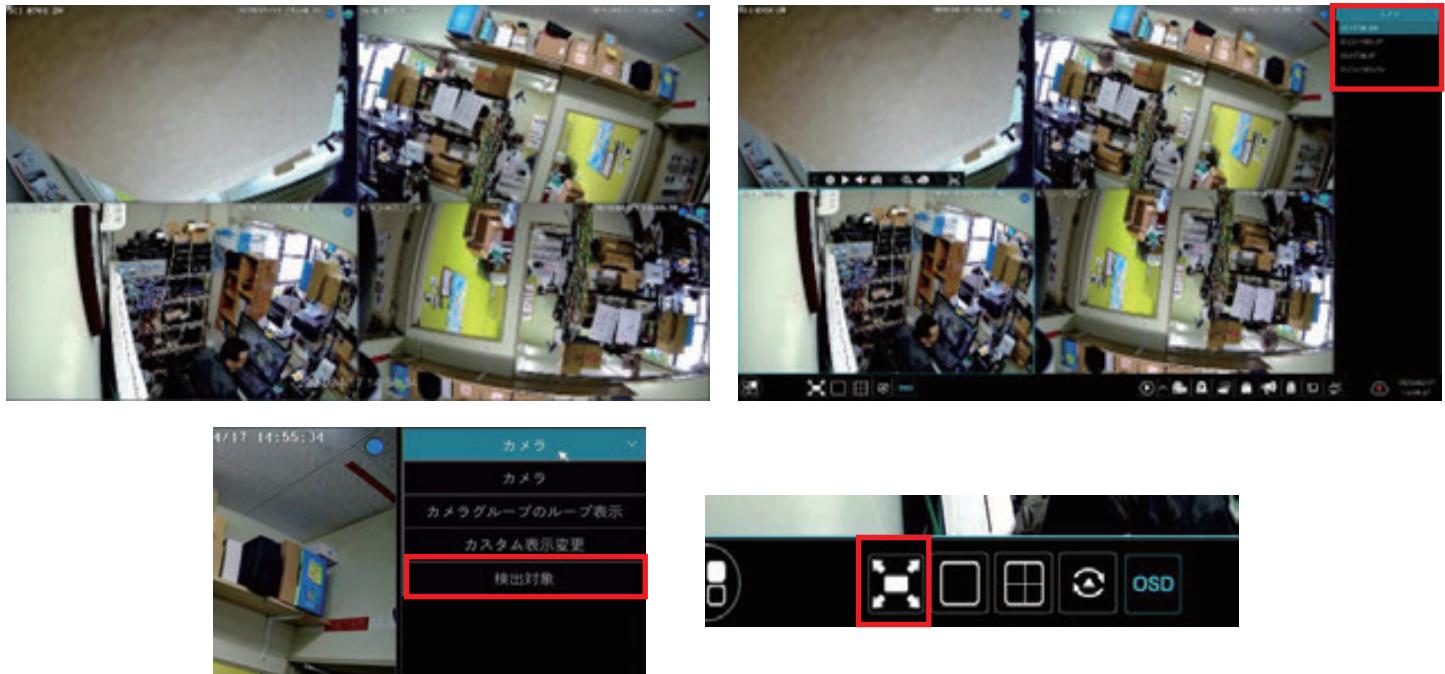
※ **カメラ名**：**変更不可** この項目では変更できません。カメラ設定の各カメラの編集から行って下さい。

6 ライブ

弊社の出荷時初期設定状態では非表示となっていますが、通常は画面右側にスマート検知の結果や情報を表示する枠が表示されます。必要に応じて表示 / 非表示して下さい。

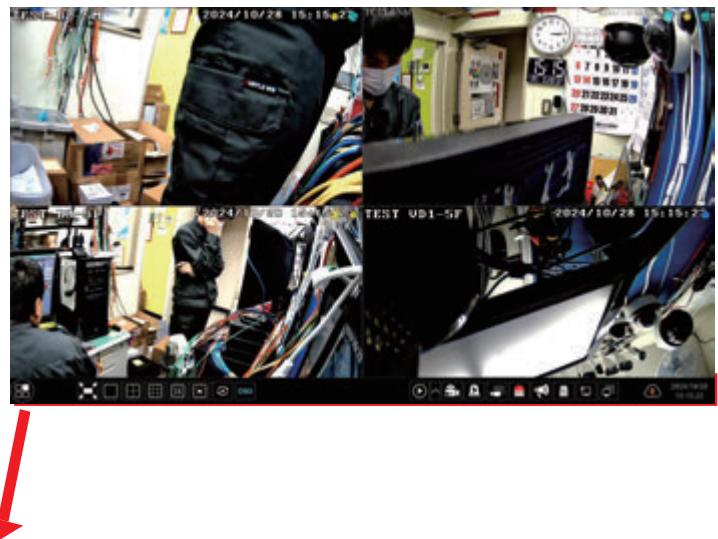
表示されている枠内の上部を押し **検出対象を選択** し、再びタスクバーにある **全画面から戻る** を押します。厳密にいうと非表示ではなく見えない位置に収納（折りたたんだ）状態となり、マウスカーソルを画面の右側に移動するとポップアップ表示されます。

※タスクバーの内容に関しては、次をご参照下さい。



7 タスクバー表示

ライブモードでカメラが接続され映像が映し出された状態で画面下までマウスカーソルを移動させると、**タスクバー**がポップアップされ、ライブ中に様々な操作を実行する事が出来ます。



	メインボタン 各種メニューに入る為の重要なボタンとなります		全画面表示 / 非表示		1画面表示 押す度に表示されるチャンネルが切り替わります
	分割表示 ※1		シーケンシャル表示の開始 / 停止 / 時間設定 ※2		OSD 表示 / 非表示 画面に表示されている一部の文字の ON/OFF
	簡易再生スタート		簡易 / 即時再生時間設定		手動録画 ON/OFF
	アラームの内容を表示		録画の状態を表示		アラームの状態を表示
	オーディオ ON/OFF ※3		HDD の状態を表示		ネットワークの状態を表示
	NVR の状態を表示		クラウドアップグレード ※4		

※1 NVR のチャンネル数 (モデル) により、表示分割数は異なります。

※2 5 秒 . 10 秒 . 15 秒 . 20 秒 . 30 秒 . 40 秒 . 1 分から選択できます。

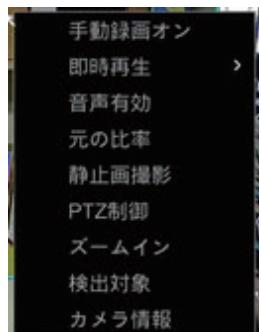
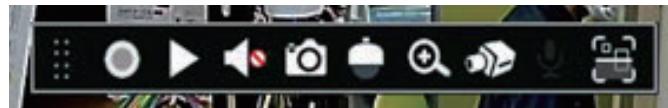
※3 対応となるカメラがオーディオ対応機種であり、別売の外部スピーカーと外部マイクが接続され、適切な設定がされている事。または内蔵されている事が条件となります。

※4 NAT 接続が ON の場合にのみ有効となります。出荷時初期設定では NAT 接続及び CLOUD アップグレードは OFF の状態となっています

8 サブメニュー

1画面表示または分割表示問わず、ライブ映像のどこかでマウスを左ワンクリックすると、分割表示の場合は映像の上下どちらか、1画面表示の場合は中央下にサブメニューアイコンが表示されます。画面のどこかでマウスを右クリックすると、同じ内容のサブメニューがテキストで表示されます。

メモ サブメニューは 1 画面及び分割表示共に何も操作されない場合、約 20 秒で消えます。



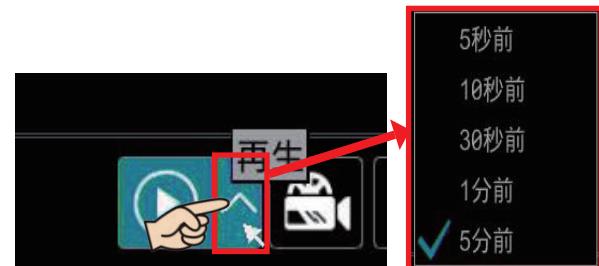
	ドラッグアンド ドロップでサブメニューアイコンを画面上のお好きな位置に移動します。ただし再表示の際は元の位置に戻ります		手動録画 ON/OFF
	即時再生		スピーカー ON/OFF
	PTZ 操作		拡大

9 再生

再生（プレイバック）には、A: チャンネル毎に簡易再生、B: 全チャンネル簡易再生、C: 通常再生（検索再生）、D: スマート再生の4パターンがあります。ここでは D: スマート再生以外を説明します。

9-1 簡易再生の時間設定

簡易再生の場合、事前に **何分前から再生を開始するか** を設定します。タスクバー上の▶簡易再生アイコンの右側にある▲アイコンをクリックし、何分前から再生させるかの時間を指定して下さい。タスクメニュー上の▶簡易再生アイコンをクリックすると指定した時間から再生が開始されます。



9-2 チャンネル毎に簡易再生

ライブモードでチャンネル（カメラ）映像の上でマウスを左クリックしサブメニューを表示させ、**簡易再生アイコン**をクリックします。現在時刻から事前に指定した時間まで遡って再生を開始します。時間帯が短すぎるとデータがまだHDDに書き込まれていない場合があり、エラーまたは再生できない場合があります。

簡易再生で設定された時間から再生が開始され、サブメニューアイコンが再生コントロールに変わります。再生を停止させるには、再生コントロールの **×** をクリックします。



9-3 全チャンネル簡易再生

ライブモードで**タスクバー上の簡易再生アイコン**をクリックすると、現在時刻から事前に指定した時間まで遡って再生を開始します。時間帯が短すぎるとデータがまだHDDに書き込まれていない場合があり、エラーまたは再生できない場合があります。

簡易再生で設定された時間から再生が開始され、再生コントロールが表示されます。再生を停止させる場合は再生コントロールの **×** をクリックします。

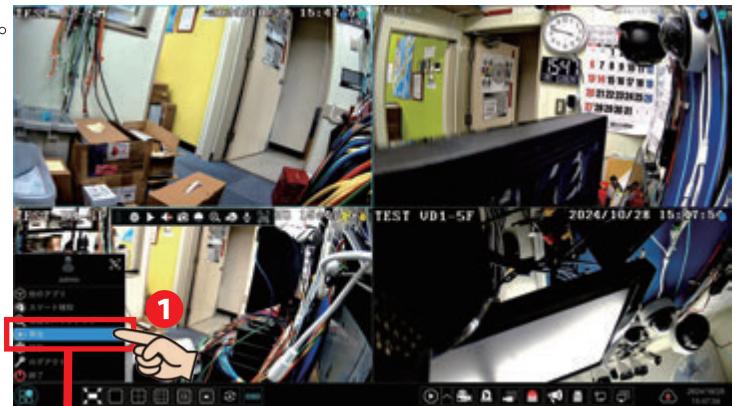


9-4 通常再生（検索再生）

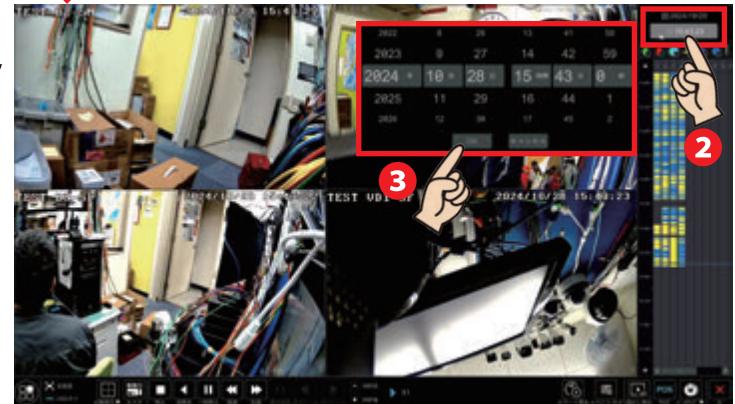
再生を開始したい**日時を指定して再生**を開始します。

メモ 再生中は全画面が再生モードに切替わる為、ライブ映像を確認する事は出来なくなりますが、録画は継続されます。またモニター出力が2つ有る機種によってはライブ映像をサブモニターに表示させたままの状態で、メインモニターに再生映像を表示させる事が出来ます。

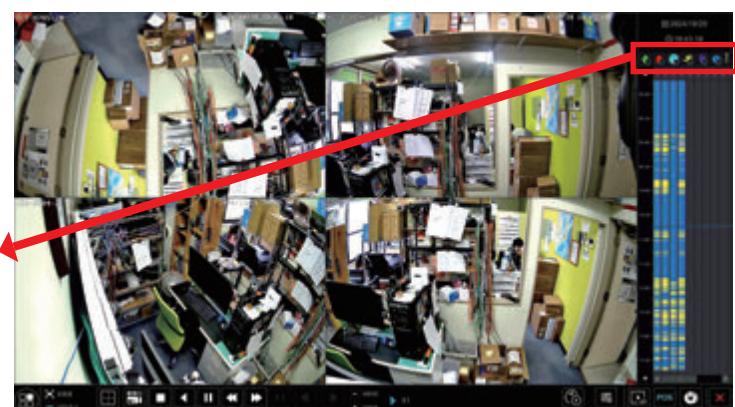
① 開始アイコン>再生で通常再生モードに切替わります。



② 右上の日付欄を押し再生したい日付を指定、または時刻欄を押し再生をしたい日付と時刻を指定しOKをクリックします。



③ 右上の録画パターンアイコンのチェックにより、録画データ抽出する事ができます。デフォルトでは全て(手動録画、センサー録画、スマート検知録画、動体検知録画、POS録画、スケジュール録画)にチェックが入っており、それらの条件で録画されたデータがタイムバーに表示されます。



常時録画のみを表示させたい場合は常時録画(スケジュール録画)のみにチェック、加えてモーションを表示させたい場合はモーション(動体検知録画)にチェックを入れるとタイムバー上に青色のスケジュール録画と黄色の動体検知録画が表示されます。

① 再生は自動で開始されます。タイムバーのタイムバーをダブルクリックする事でクリックした位置(時間)までジャンプし再生します。

② タイムバー上にマウスカーソルを合わせると、サムネイル画像が表示されます。

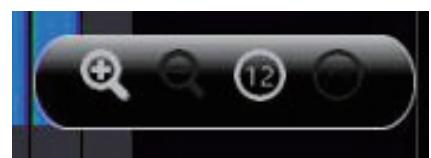
③ マウスのホイールを下(手前)に回すとタイムバーは下に移動し、前の時間帯が表示されます。ホイールを上(奥)に回すとタイムバーは上に移動し、先の時間帯が表示されます。

④ タイムバーの表示縮尺を変更するには、タイムバー上にマウスを合わせると縮尺変更のアイコンが表示されます。

【12】 タイムバーを 12 時間表示に変更します・・・0:00 ~ 12:00

【24】 タイムバーを 24 時間表示に変更します・・・0:00 ~ 24:00

【+/-】 24 時間 12 時間 6 時間 3 時間 1 時間



メモ 24/12 時間表示は現在の再生位置(時間)に問わず 24 時間表示、0:00 ~ 12:00 の 12 時間表示されますが、6 時間表示以降は現在の再生位置(時間)を中心に表示されます。



全画面	全画面	カメラの映像のみをフルスクリーン(全画面表示)で表示します。 戻す場合はもう一度アイコンをクリック。
OSD オン / オフ	OSD オン / オフ	NVR の OSD (画面上に表示される文字) の表示 / 非表示の切り替え。 ※カメラの OSD とは異なります。
分割表示	分割表示	分割表示を切替えます。 ※使用している NVR のモデル(チャンネル数)により切替パターンは異なります。
カメラ	カメラ	再生するカメラを選択します。
停止	停止	再生を停止します。再生モードはそのままで何も映らない状態になります。 再び再生を押すと続きから再生されます。
逆再生 / 一時停止	逆再生 / 一時停止	逆再生を開始します。逆再生中は一時停止ボタンとなります。
再生 / 一時停止	再生 / 一時停止	一時停止ボタン。
減速 / 加速	減速 / 加速	再生・逆再生速度を変更します。 ×1/2. ×1/4. ×1/8. ×1/16. ×1/32. ×1. ×2. ×4. ×8. ×16. ×32
X1 通常速度	通常速度	減速・加速の状態であっても通常速度(×1)に戻ります。
前フレーム 次フレーム	前フレーム 次フレーム	1画面表示で再生が一時停止中にのみ表示されます。映像のフレーム単位での送り戻し
- 30秒前 + 30秒後	- 30秒前 + 30秒後	再生中の映像の時間を30秒戻し・30秒送ります。

10 バックアップ

バックアップには再生モードからのバックアップと検索バックアップの2通りがあります。ここでは再生モードからのバックアップの手順をご案内します。バックアップ先となるUSBフラッシュメモリー(以降、“USBメモリー”と言う)の準備をします。

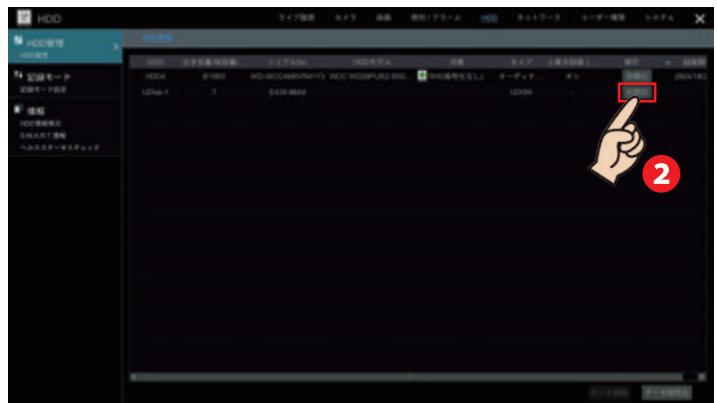
※確認済みのUSBメモリーは512GBまでです。

10-1 USBメモリーのフォーマット

① USBメモリーをNVR本体でフォーマット(初期化)する場合、管理者権限の機能の為、事前に管理者ユーザー名とパスワードが必要です。

手順 USBメモリーをNVRのUSBポートに接続し [開始アイコン] > [設定] > [HDD] > [初期化]をクリックします。

注意 **HDDの初期化を押さないように十分に注意**して下さい。USBメモリーを接続しているのに表示されていない場合、USBメモリーが別の形式でフォーマットされている、故障している、中途半端に挿されている、書き込みロックまたは容量オーバーなどが考えられます。



- ②「USB メモリー内の全てのデータが消去」されるメッセージが表示されますので、**OK** をクリックします。



- ③ストレージ (HDD や USB メモリー) のフォーマット (初期化) は**管理者権限**の操作の為、管理者のユーザー ID とパスワード入力を求められます。**管理者のユーザー名とパスワードを入力し** **今すぐフォーマット** をクリックします。

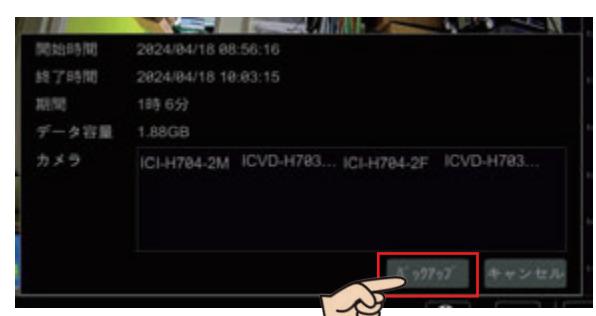


10-2 再生モードからのバックアップ

- ① **開始アイコン** > **再生** で再生モードに切り替え、**バックアップしたいシーンを日付または日時検索で表示**させます。
- ② バックアップするカメラが 1 台の場合は **1 画面表示**、4 台の場合は **4 分割表示**、8 台の場合は **9 分割表示**など、分割表示を切り替えます。
- ③ タイムバーの**表示時間幅 (間隔) を調整**し、バックアップを開始したい時間帯を左クリックしたままの状態で、バックアップアップ終了位置まで移動し指を外し (ドラッグ & ドロップ) 色を反映させます。
- ④ タスクバーの**バックアップ**をクリックし、ポップアップされるサブメニューから**バックアップ**をクリックします。



- ⑤ バックアップの詳細が表示されるので、内容を確認し **バックアップ** をクリックします。



⑥ バックアップ先の選択が表示されるので、USB メモリーを選択します。USB メモリーが 1 個しか接続されていない場合、初期値の USB メモリーが表示されます。HDD は表示されません。デバイス名が何も表示されない場合、**再読み込み** をクリックして下さい。それでもデバイス名が表示されない場合、(USB メモリー) に何らかの問題が発生しています。USB メモリーの故障、中途半端に挿されている、書き込みロックされているなどが考えられます。再フォーマット(初期化)するか、別の USB メモリーでお試し下さい。

フォーマット形式を「AVI、MP4、個人用」から選択し**バックアップ** をクリックします。



AVI	多くのパソコンで標準的にインストールされているソフトウェアで再生が可能です。カメラ単体での再生のみに対応しており、分割表示での再生はできません。ファイルにパスワードを付ける事はできません。
MP4	再生には MP4 再生または追加プログラムがインストールされたパソコンが必要です。カメラ単体での再生のみに対応しており、分割表示での再生はできません。ファイルにパスワードを付ける事はできません。
個人用	メーカー独自の方式で、再生には必ず 専用の再生ソフト (プレイヤーソフト) が必要です。再生ソフトはバックアップ時に USB メモリーに zip 形式でダウンロードされます。複数のカメラを同時再生でき、常時録画とイベント録画を仕分ける事ができます。バックアップファイルにパスワードを付ける事ができます。

以下の条件での USB メモリーへの**バックアップ所要時間**は

【条件】解像度：2.0MP フレームレート：30fps 画像圧縮：H.264 ビットレート：2048Kbps USB ポート：3.0

カメラ設置場所：室内 チャンネル(カメラ)台数：1台 バックアップ時間：1時間の場合、実測で

AVI の場合 約 4 分前後、MP4 の場合 約 7 分前後、個人用の場合 約 3 分前後となります。

但し被写体条件によってバックアップ時間は大きく前後します。あくまでも**目安の時間**です。

※USB 3.0 は INT-HD7708-8P 以上の機種にのみ 1 ポート搭載されています。INT-HD7704-4P は USB 2.0 が 2 ポートのみで**USB 3.0 は非対応**です。

※USB 3.0 対応のモデルでも**USB 3.1 以上は非対応**です。

※USB 3.0 ポートに USB 2.0 仕様の USB メモリーを接続しても、USB 3.0 ポートに USB 2.0 仕様の USB メモリーを接続してもバックアップ自体は可能ですが、USB 2.0 の速度となります。**USB ポートの仕様に適合した USB メモリーをご利用下さい。**

※USB 1.0 には全モデル対応していますが、転送速度がかなり低い仕様の為、バックアップの所要時間がかかります。

11 リモート接続

遠隔地からスマホやタブレット、パソコンなどを用い NVR へリモート接続(遠隔監視)を行うには、NVR が確実に正しくインターネット回線に接続され、通信が行われている事が**絶対条件**となります。

11-1 NVR側の設定と確認事項

リモート接続にはいくつか種類が有り、ここでは最も簡単な NAT(ナット)接続(旧 P2P)を解説します。

リモート接続を行うには NVR 側の準備と確認が必要となります。初期出荷の状態では情報流出などの点から NVR をインターネットに接続するだけでは、外に情報が出ない設定になっています。

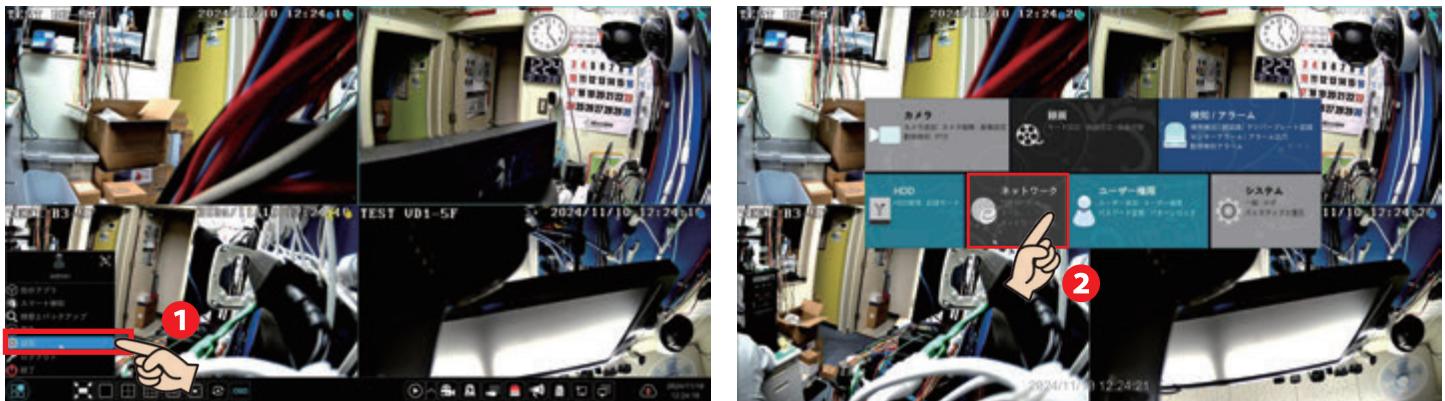
※ リモート接続では、**ユーザー名とパスワード**が必要です。事前にご準備下さい。

注意 一般的にインターネットを介してのリモート接続では、送信側(NVR を設置している所。リモート接続される側)と受信側(PC やスマホやタブレットなど、リモート接続する側)のネットワークデバイス(HUB やルーターなどのネットワーク機器)のスペック、プロバイダーとの契約状況、回線コンディション、パソコンや端末のスペック、インターネット網に存在するサーバーのトラブルなどにより接続できなかったり、途中で強制的に切断されたり、通信速度が低下したりする事を事前にご理解下さい。インターネットは世界中の人人が使う事の出来る通信網の為、予想外のトラブルや不具合が発生したり、中には不正アクセスやハッキング、ウイルスなどをまき散らす者もいます。

11-2 NVR側のNAT接続の準備

無償で誰でも使用でき、ルーターの設定も無く、ネットワーク知識も必要無い、最も簡単な接続方法です。ただし簡単な分、第三者からの不正アクセスに弱い為、NVRのパスワード管理が重要となります。また世界中で利用されているネットワーク網で、持ち主 管理者 責任者 所在地などが公開されていないネットワークを利用する為、遅延が発生したり、接続に時間がかかったり、接続サーバーがダウン（停止）する事もあり、その性質上、トラブルが発生した場合でも、原因の追求や責任の所在を明らかにする事は不可能で、弊社からサーバーを操作する事もできず、ひたすら自然に復旧するのを待つしか無いのが現状です。世界中に存在するサーバーを使用している為、今後の社会情勢や政治の問題で一部の国でインターネットの利用に関して制限や使用を拒否された場合、新しいルータが構築されるまで、通信が接続できなくなる可能性があります。

① **開始** > **設定** > **ネットワーク** > **NAT** をクリックします。



② **NAT の有効**にチェックを入れ **適用** をクリックします。



③1分ほどすると**NAT状態**が**成功**と表示されます。表示されないまたはエラーが表示される場合は、上の**アクセスタイル**を変更し再び**適用**をクリックをお待ち下さい。それでも成功が表示されない場合、NVRがインターネットに正しく接続されていない、NVR以外のネットワークトラブル、またはフィルタリング設定やファイアウォールなどの既存回線や設備、セキュリティ設定、海外からの特定の通信をブロックされている可能性が有ります。ルーターの設定を確認したり、別にネットワークシステムを構築された方や業者がございましたら、一旦そちらへもご相談下さい。弊社でもできる限りのサポートやご協力はさせて頂きますが、セキュリティ関連となりますと保安上、手が出せない部分もございます。

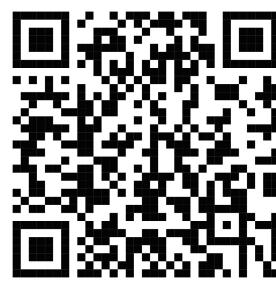
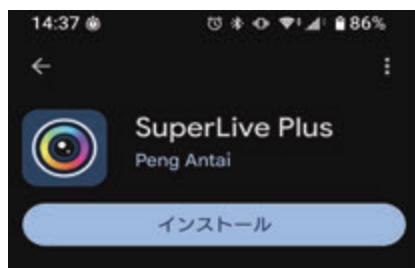
④画面上に表示されている**QRコード**、またはその下に表示されている**12桁の英数字**が必要となりますので**記録または写真撮影**するか、後ほどスマホ/タブレット端末のカメラでQRコードを撮影しますので、**画面を開いたままの状態**で次へお進み下さい。

以上でNVR側の設定と確認は終了となります。



12 アプリ「SuperLive Plus」の入手

iOS端末では(iPhone/iPad)はApple Store、Android端末ではGoogle Playから専用App「**SuperLive Plus(スーパーライブプラス)**」(以降、“**アプリ**”または“**App**”と言う)を検索しダウンロードとインストールを行って下さい。

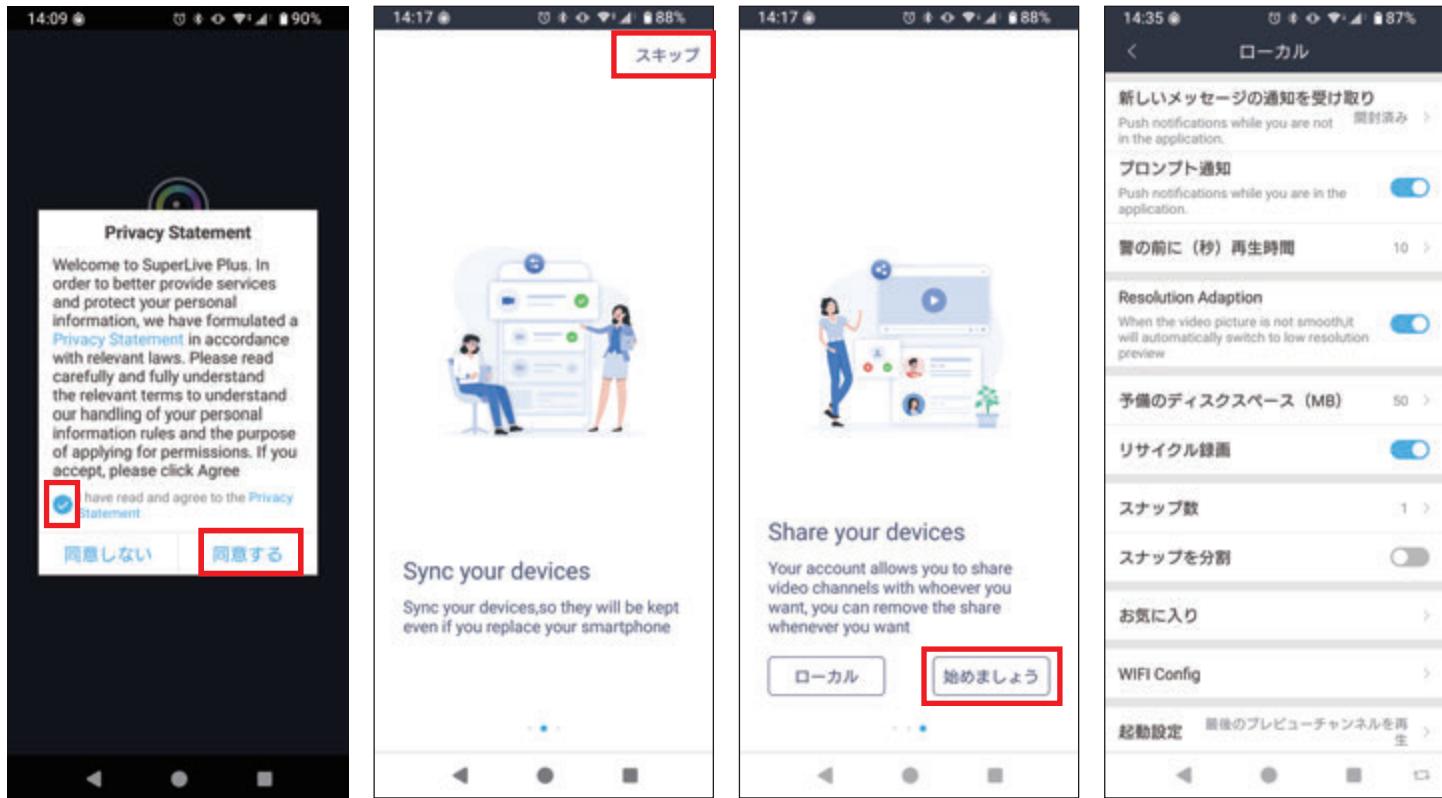


Android版とiOS版では機能は同じですが表示される文言が異なります。ここではAndroid版で説明を進めます

12-1 SuperLive Plus へ デバイス登録

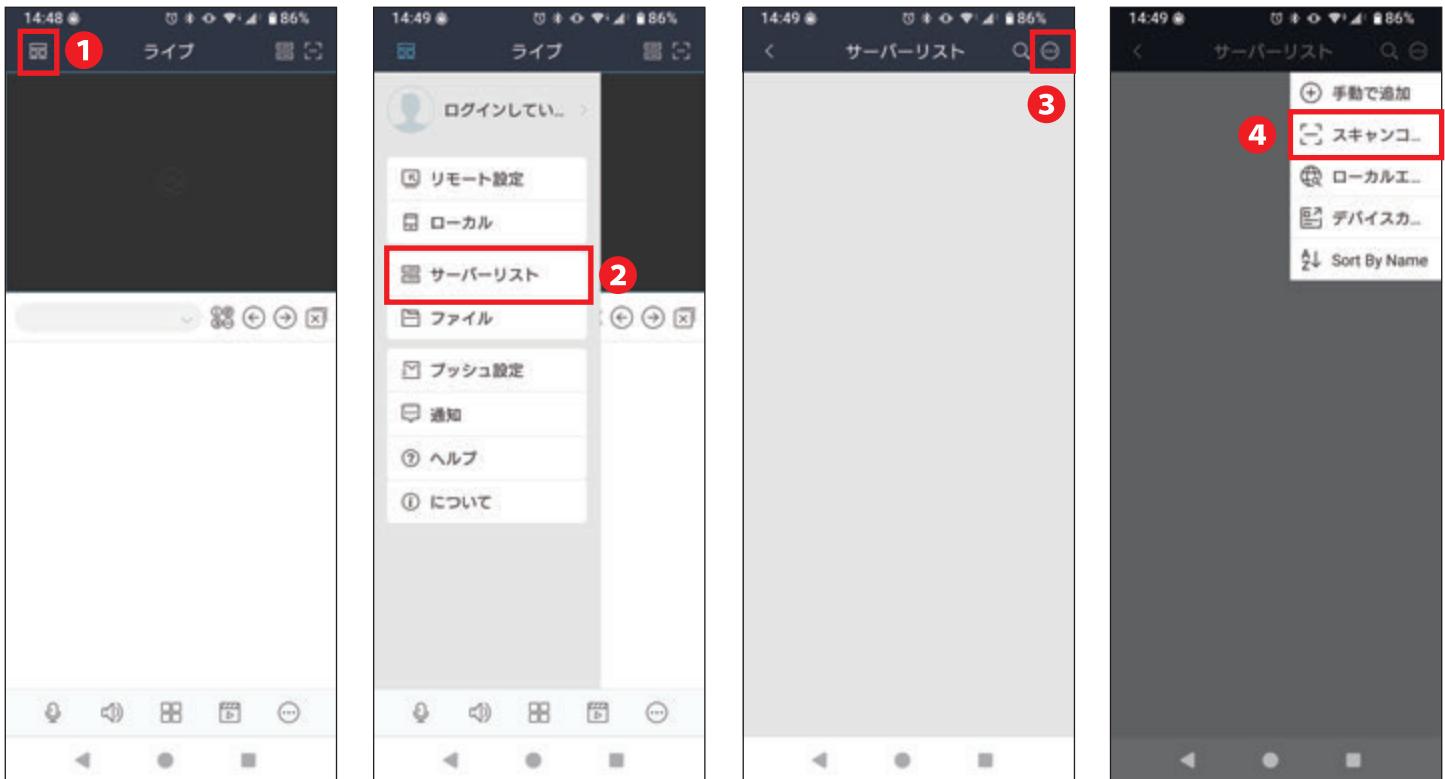
- ① アプリを起動します。初回及びアップデート後は Privacy Statement (プライバシーステートメント) が英文で表示されます。下部のチェック項目に **チェックを入れ「同意する」** をタップします。
- ② 続けて紹介のアニメーションが流れますので、右上の **スキップ** をタップし「ローカル」と「始めましょう」のボタンが表示されるので、右側の **始めましょう** をタップします。

アプリの設定 (ローカル)



注意 ご利用のキャリアや iOS/Android バージョン、端末 (機種) によって様々な同意を求められます。必要に応じて「同意する」、「同意しない」を選択し次にお進み下さい。またこの同意はアプリまたは端末から後で変更する事も出来ますし、アプリやOS のバージョンアップ後や同意の内容によっては不定期に再度求められる場合もございます。

- ③ 「始めましょう」から開始した場合、デバイス (NVR や IP カメラ) を登録する項目が表示されます。右上の「スキップ」をタップすると通常のライブモードに切り替わります。デバイス登録の手順は同じなので、通常のライブモードからのデバイス登録手順で進めます。
- ④ 左上の①メニューアイコンをタップし、②サーバーリストをタップ。続けて右上の③QRコードをタップし、手元に NVR の QR コードが有る場合は④スキャンをタップし、端末のカメラで QR コードを撮影して下さい。QR コードが無い場合は **手動で追加** をタップして下さい。



⑤ カメラで QR コードを撮影すると、**デバイス番号は自動で入力**されます。手動で追加の場合は10 ページで記録した**12桁の英数字を入力**して下さい。続けてデバイス名（自由入力。半角 24、全角 8 文字以内）、NVR のユーザー名、パスワードを入力し**保存**をタップします。

メモ 保存ボタンはキーボード表示中は裏に隠れ表示されません。Enterキーをパスワード入力まで押し進めるとキーボードが消え保存ボタンが表れます。

⑥ 登録が正常に完了すると、右側の**⑤アンテナアイコン**がグリーンに変化します。



	登録状況 グリーンは接続OK
	編集 登録情報の編集。デバイス番号の変更やコピーは出来ません
	ライブ
	デバイス削除
	デバイス情報
	QRコード表示 他の端末に同じ端末を登録する際に使用

12-2 SuperLive Plus ライブ

サーバーリストから、**ライブアイコン**をタップすると、そのデバイスに接続され、ライブ映像が表示されます。

初期値では**最大9分割**。チャンネル（カメラ）をダブルタップする事で1画面化し、再びダブルタップで元の分割表示に戻ります。



	デバイスを選択 DVR やカメラを選択します。
	カメラ名称表示とカメラ番号表示の切り替え
	9 チャンネル（9台以上）のページに切替
	全チャンネル（カメラ）を閉じる
	カメラ番号／カメラリスト 現在選択（表示）されているチャンネル（カメラ）番号または名称が青色で表示されます。番号と名称の切替は「番号とリスト表示切替ボタン」で切り替わります。 ※ここをタップしてもチャンネルは変わりません
	マイク ON/OFF 選択されているチャンネル（カメラ）がオーディオ対応のカメラでスピーカーが接続されている場合、こちらの音声を流す事が出来ます。
	スピーカー ON/OFF 選択されているチャンネル（カメラ）がオーディオ対応でマイクが内蔵または接続されている場合、マイクの音声を聞く事が出来ます。
	分割表示パターンの切替 最大16分割まで表示は可能ですが、 但し9分割を超えるとアプリのパフォーマンスが低下する警告メッセージが表示されます。
	再生モード切替
	その他の機能 通知のON/OFF、お気に入り追加、手動アラーム、車両検索（非対応）、イベントから探す

12-3 SuperLive Plus 再生

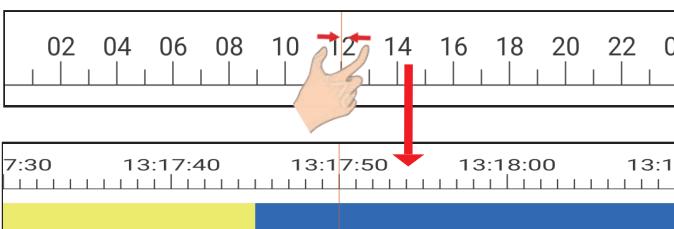
サーバーリストから目的のデバイス (NVR / カメラ) を呼び出しライブモードを開きます。再生したいチャンネル (カメラ映像) をタップし青枠を付けるか、1画面にし再生アイコンをタップし再生モードに切り替えます。保存されている当日の最も古い映像、例えば11月12日の17時30分に再生を開始 (再生アイコンをタップ) すると、その日 (11月12日) の保存されている最も古い映像 (午前0時) から自動で再生が開始されます。



12-4 SuperLive Plus 再生コントロール

【タイムバーの縮尺の変更】

タイムバー上でピンチイン／ピンチアウトを行うと表示されているタイムバーの縮尺を変更する事が出来ます。最小2時間単位 (デフォルト)、最大10秒単位



【再生日の変更】

日付はデフォルトで日曜日から1週間分が表示されます。日付を左右にドラッグすると、別の週に変更します。日付をタップし、別のチャンネル (カメラ) に変更します。再生中の日は日付が青く変化し、当日 (今日) は日付の下に小さな青い点が表示されます。



【再生中】



【一時停止中】



	再生一時停止中のコマ送り ※再生中は使用できません。
	逆再生※1 ※逆再生速度を指定する事は出来ません。
	早送り再生※1 ※再生速度をx1, x4, x8, x16から選択できます。
	再生／一時停止
	チャンネル (カメラ) 切替 (ch 戻し / ch 送り)
	チャンネル (カメラ) を閉じる※2

※1 逆再生及び早送り再生では、滑らかな再生では無く、コマ飛び再生となります。

※2 チャンネル (カメラ) 映像のみが閉じられ、再生モードは閉じられません。再びそのまま再表示は出来ません。再表示の際にはライブモードからの手順となります。

【機能パネル】



再生中／一時停止中、操作パネルとタイムスケール、日付等を消し、チャンネル（カメラ）番号のみを表示させます。チャンネル（カメラ）番号をタップする事でチャンネル（カメラ）を切り替える事が出来ます。



スピーカー ON/OFF 選択されているチャンネル（カメラ）がオーディオ対応でマイクが内蔵、または接続されオーディオ（音声）録音が有効になっている場合、録音された音声を端末のスピーカーから流す事が出来ます。オーディオ非対応のカメラの場合でもアイコンは表示されタップする事も可能ですが、音声は流れません。



分割表示パターンの切替 最大 16 分割まで表示は可能ですが、但し 9 分割を超えるとアプリのパフォーマンスが低下する警告メッセージが表示されます。



録画タイプ設定 顔検知、ナンバープレート検知アラーム、ラインクロス検知、侵入検知、その他検知、手動、センサー、モーション、POS、スケジュールを選択し録画タイムバーの表示を選択する事が出来ます。デフォルトでは全てが選択されていますが、実際に機能や検知が有効になっていない物は表示されません。デフォルトの録画設定は常時録画（手動）と動体検知通常（モーション録画）が有効になっている為、最低でも常時録画（手動）と動体検知通常（モーション録画）は表示されます。



カレンダー／時間検索 表示されるカレンダーから日付と時間を設定し検索する事が出来ます。

ライブ中（1画面／分割）及び再生中（1画面／分割）に画面（画像）をタップすると、画面の右側に**操作アイコン**が表示されます。



	ライブ及び再生の1画面表示で、 解像度を変更																										
	ライブ1画面表示で、カメラの 画像映像の詳細設定																										
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>色</td><td>画質</td><td>明度、色相、彩度、コントラスト</td></tr> <tr> <td>カラーバランス</td><td>ホワイトバランス</td><td>自動、屋内、屋外（アウトドア）、 手動 = 赤ゲイン、青ゲイン</td></tr> <tr> <td rowspan="3">映像調整</td><td colspan="2">シャープネス</td></tr> <tr><td colspan="2">ノイズリダクション</td></tr> <tr><td colspan="2">逆光補正</td></tr> <tr> <td rowspan="2">画像調整</td><td colspan="2">画像鏡像 = 左右反転</td></tr> <tr><td colspan="2">画像フリップ = 上下反転</td></tr> <tr> <td rowspan="2">Infrared Light</td><td colspan="2">赤外線モード = オン（開く）、オフ、自動</td></tr> <tr><td colspan="2">赤外線</td></tr> <tr> <td>レンズ調整</td><td colspan="2">ズーム ※Mモデルのみ</td></tr> </tbody> </table>	色	画質	明度、色相、彩度、コントラスト	カラーバランス	ホワイトバランス	自動、屋内、屋外（アウトドア）、 手動 = 赤ゲイン、青ゲイン	映像調整	シャープネス		ノイズリダクション		逆光補正		画像調整	画像鏡像 = 左右反転		画像フリップ = 上下反転		Infrared Light	赤外線モード = オン（開く）、オフ、自動		赤外線		レンズ調整	ズーム ※Mモデルのみ	
色	画質	明度、色相、彩度、コントラスト																									
カラーバランス	ホワイトバランス	自動、屋内、屋外（アウトドア）、 手動 = 赤ゲイン、青ゲイン																									
映像調整	シャープネス																										
	ノイズリダクション																										
	逆光補正																										
画像調整	画像鏡像 = 左右反転																										
	画像フリップ = 上下反転																										
Infrared Light	赤外線モード = オン（開く）、オフ、自動																										
	赤外線																										
レンズ調整	ズーム ※Mモデルのみ																										
	【ライブ1画面表示及び分割表示】 Alarm 対応カメラの 手動アラーム ON/OFF																										
	【全モードで表示】 全画面表示 。端末によっては横向き表示に切り替わります。																										
	【全モードで表示】 1画面または分割表示では選択されたチャンネル（カメラ）の スナップショット（静止画） を撮影します。撮影された静止画ファイルは、アプリ内のファイルに保存されます。																										
	【全モードで表示】 1画面または分割表示では選択されたチャンネル（カメラ）の 動画録画 を開始します。録画された動画ファイルは、アプリ内のファイルに保存されます。録画中はアイコンが赤に変化します。録画を停止する際は、もう一度同じ場所にあるアイコンをクリックします。																										
	【再生の1画面で表示】 バックアップ アイコンです。画面上のタイムバーをピンチイン／ピンチアウトでダウンロード範囲を指定し、アプリ内のファイルに保存されます。																										

12-5 SuperLive Plus ファイルのダウンロード

バックアップ、動画、スナップショット（静止画）は**アプリ内のファイルに保存**されており、この段階ではまだ端末には保存されていません。以下の手順で**アプリから端末へコピー**します。

注意 端末に移動してもアプリ内のファイルには残ります。ファイル内のデータを削除しないと端末のストレージが一杯になります。定期的にアプリのファイルを削除して下さい。

手順 ライブモードで左上の①**メニュー**アイコンをタップし②**ファイル**をタップします。アプリ内に保存されたスナップショット（静止画）や動画、バックアップされたファイルの③**サムネイル**が表示されるので、バックアップ（端末に保存したい）ファイルをタップし**1画面表示**にし、最後に④**共有**アイコンをタップします。



13 PC ソフト「NVMS 2.0」のインストール

NVMS 2.0 は **Windows 64bit PC 専用ソフトウェア** (以降、“ソフト”と言う) です。Windows 32bit 及び macOS は**非対応**です。ご了承下さい。**ソフトインストールする前には PC 上で動いているソフトを全て閉じて下さい。**

ソフト (NVMS 2.0) は製品付属の CD-ROM 内に収録されています。ファイルサイズが大きい為、本製品の国内輸入卸事業社である「有限会社インターラック」のホームページからは**ダウンロードは出来ません**。ソフトが必要な場合は本製品をお求め頂いた販売店へお問い合わせ下さい。

メモ 付属の CD-ROM に収録されている「**IPTool_x.x.x.x_xxxxxxxx**」は、INT シリーズ NVR 及び H700 シリーズ IP カメラ専用の**ユーティリティーソフト**となります。INT シリーズ NVR 及び H700 シリーズ IP カメラに IP 情報 (IP アドレス等) の登録のみに使用するソフトウェアです。

【注意】

Windows PC 用クライアントソフト「NVMS 2.0」は、お使いの PC を NVR 化しサーバーとして運用する為のソフトウェアとなります。その為、単純にライブ・再生・バックアップだけの機能では無く、サーバー機能を持っています。その為、他の VMS/CMS ソフトに比べ機能が多く含まれております。使用方法が難しくなりります。PC 内デバイス (HDD、SSD、USB メモリーなど) を使用する為、専用の高スペック PC のご利用をお勧めします。またプログラム容量が約 400MB ほどある為、Web ブラウザからのダウンロードでは無く、製品付属の CD-ROM からのインストールをお勧めします。

- ① 本製品付属の CD-ROM から「**NVMS Lite x64 Ver ?**」をお使いの PC にインストールします。「?」はソフトバージョン番号を表します。言語に**日本語**が選択されている事を確認し **OK** をクリックします。

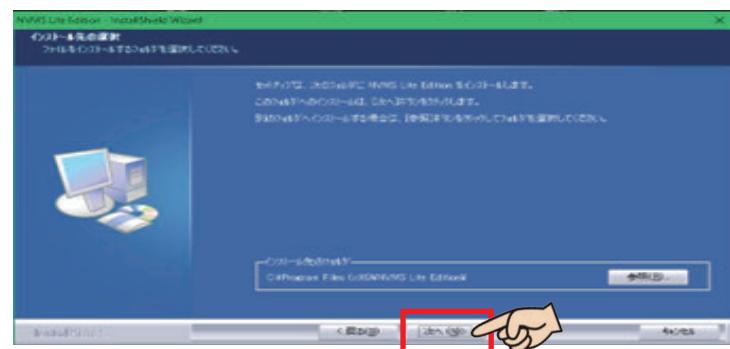
通常は Windows で使用されている言語が表示されます。



- ②「利用許諾契約の全条項に同意」し、チェックを入れ
次へ をクリックします。

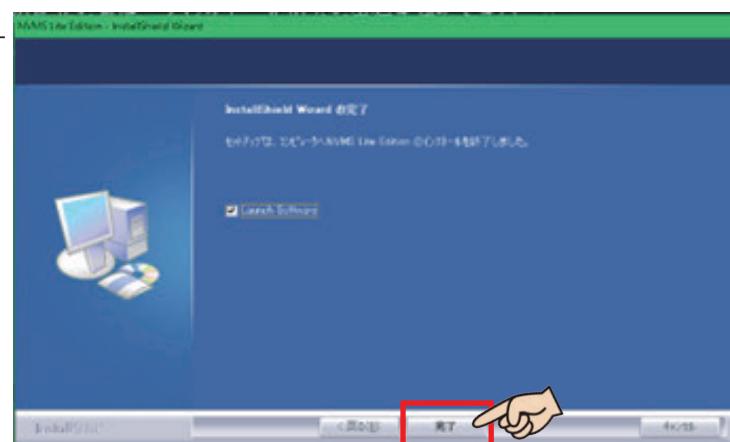


- ③インストール先のフォルダーを指定します。通常はそのまま 次へ をクリックして下さい。変更が必要な場合のみ変更して下さい。



- ④インストール完了までには、PCのスペックにもよりますが、時間が数分かかります。可能な限りPCでの他の作業を避け、インストールのみを実行させて下さい。

- ⑤インストール完了のメッセージが表示されるので 完了 をクリックします。

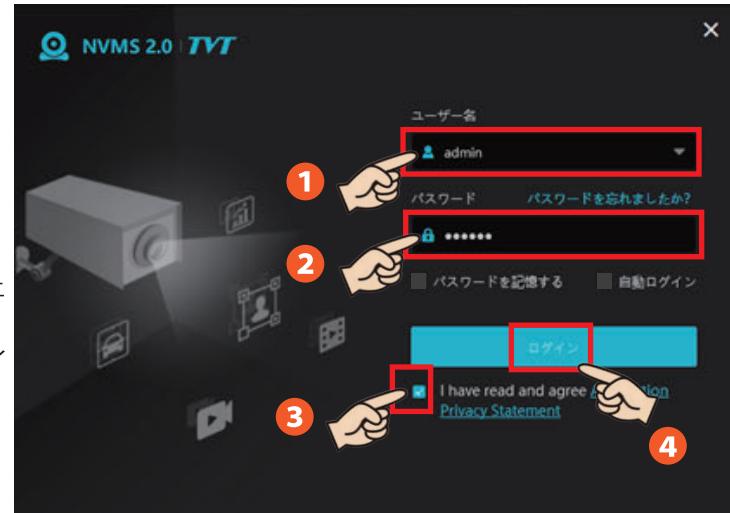


13-1 NVMS 2.0 起動とログイン

- ①デスクトップ上、またはWindowsのスタートメニューから NVMS Lite Edition フォルダー内の **MonitorClient** をクリックし起動します。

- ②ユーザー名とパスワード入力を求められますので、ソフトの管理者名 **admin** と初期パスワード **123456** を入力し、**I have read and agree Application Privacy Statement** (ソフトのプライバシーに関する同意) にチェックを入れ **ログイン** をクリックします。

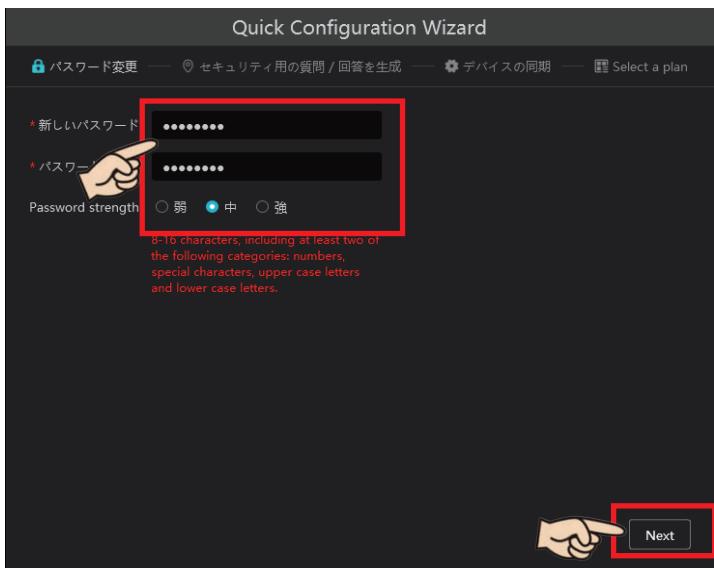
メモ **ログイン** をクリックした段階で、ソフトのプライバシーに同意したとみなされます。ソフトのプライバシー規約の内容は「**Application Privacy Statement**」をクリックすると表示されます。
※まだこの段階では「**パスワードを記憶する**」と「**起動ログイン**」にチェックを入れなくても大丈夫です



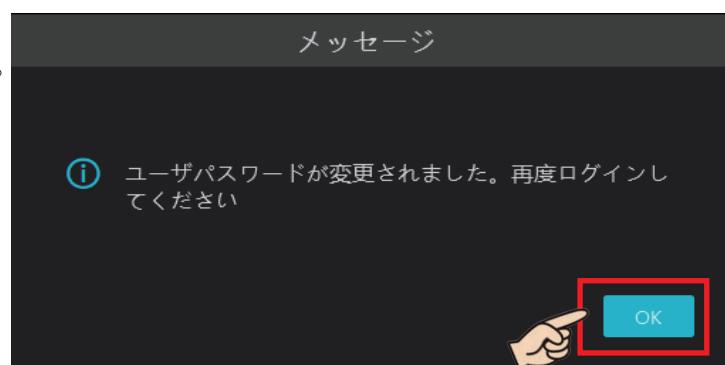
- ③ 初回ログイン時のみ、「Quick Configuration Wizard (クイック設定ウィザード)」が表示されます。初めにパスワード変更を求められます。ソフトにログインする為のパスワードと確認の為に同じパスワードを入力し **Next** をクリックします。

パスワードの難易度に合わせ Password strength で「弱・中・高」いを選択できます。それぞれ **パスワード条件** が以下のように異なります。

- 「強」 数字、記号、英大文字、英小文字を含む 8 ~ 16 文字以内
 - 「中」 数字、記号、英大文字、英小文字のいずれか 2 つを含む 8 ~ 16 文字以内
 - 「弱」 制限なし
- ※空欄は設定できません。必ず 1 文字以上で登録して下さい

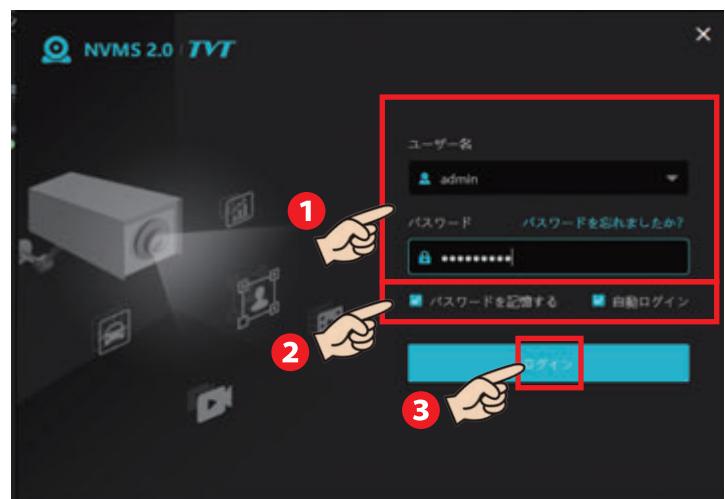


- ④ パスワードが変更された旨のメッセージが表示され、再ログインを求められますので **OK** をクリックします。



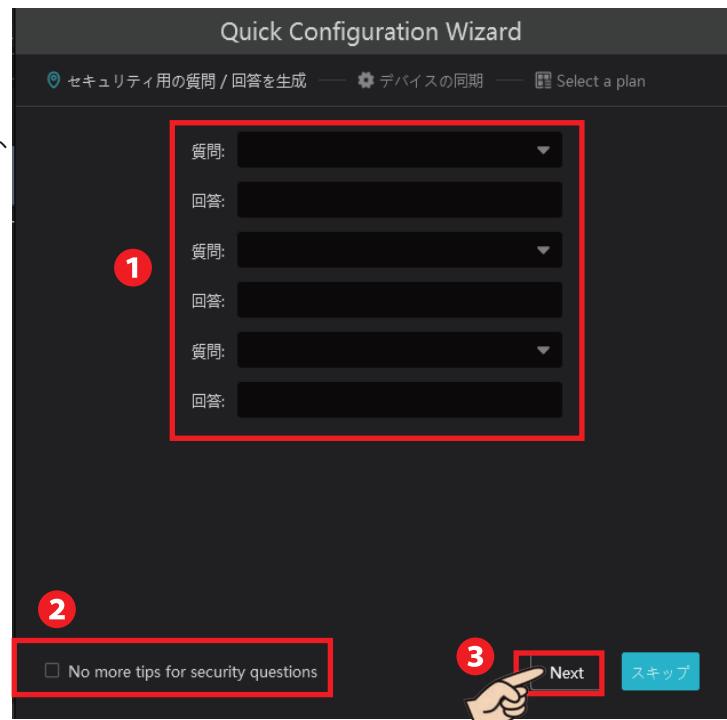
- ⑤ ログインウィンドウが表示されますので、先ほど作成したパスワードを入力し **ログイン** をクリックします。

- メモ** 必要に応じて、「パスワードを記憶する」と「自動ログイン」にチェックを入れる事で、次回以降ユーザー名とパスワードの入力が省略され起動します。
※パソコンやソフトを不特定多数の方が使用される場合は、パスワードの記憶と自動ログインは使用しない事をお勧めします

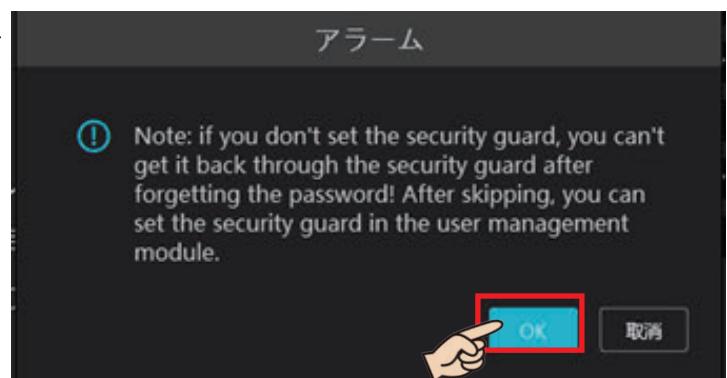


注意 パスワードを 5 回連続で間違えた場合、10 分間ロックがかかり操作ができなくなります。10 分経過後、パスワード入力は可能となります。5 回間違えると再び 10 分ロックされ使用する事は出来なくなります。
ロック中、強制的にログインする事は出来ません。プログラムの再インストールを実施してもパスワード入力を回避する事は出来ません。製造メーカーのサポートを受けなければいけない為、数日お時間を頂く事となります。
パスワードの管理には十分にご注意下さい。

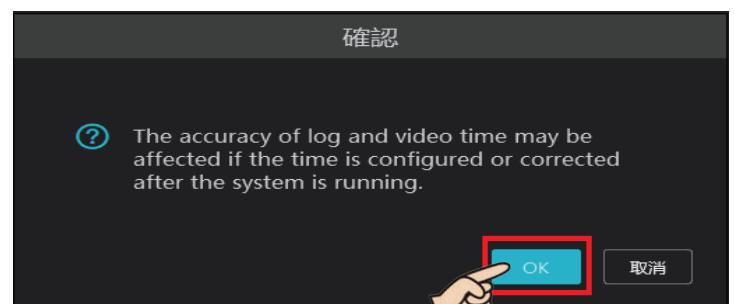
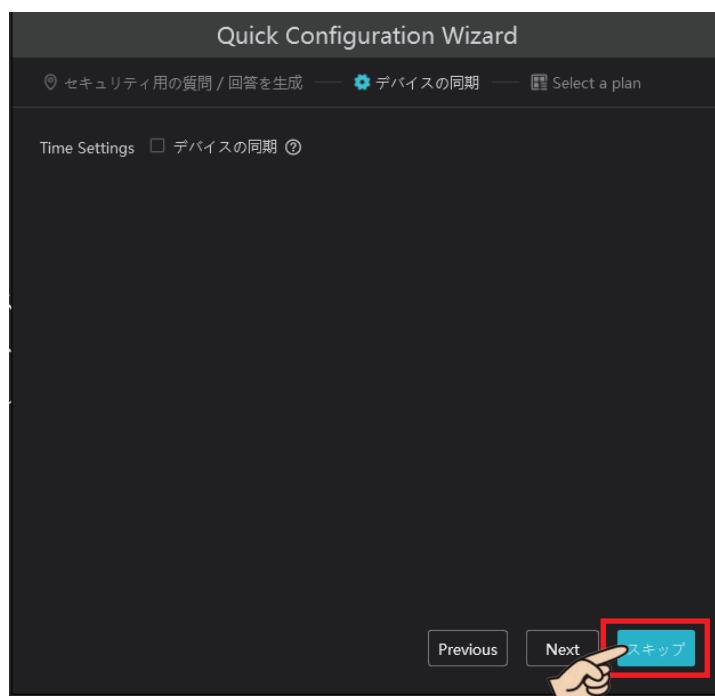
⑥ パスワードを忘れた際の自己解決として、質問とその回答を設定する事ができます。このメッセージは登録が完了するまで、ソフトの起動の度に表示されますので、「No more tips for security questions」にチェックを入れ、必要無い場合は「スキップ」を。必要な場合は項目を入力し「Next」をクリックして、次に進んで下さい。



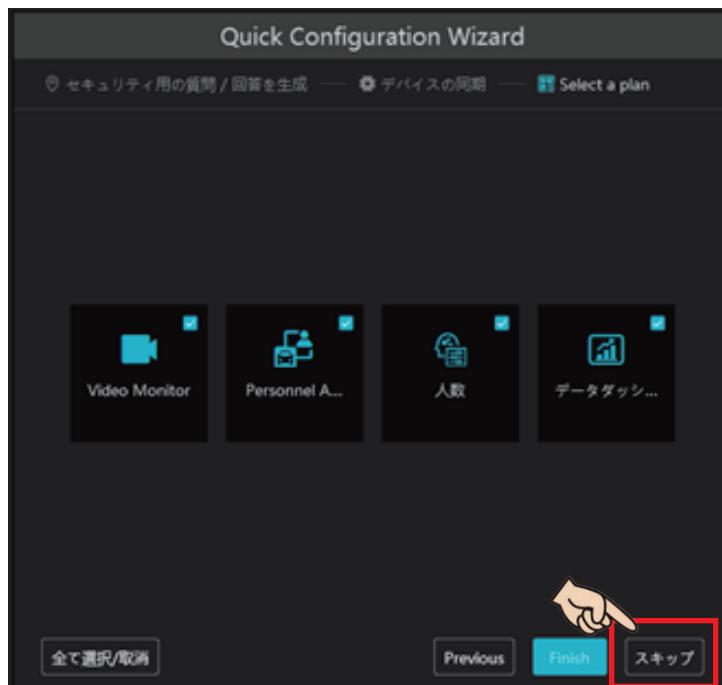
⑦ 全項目で問い合わせ回答をスキップ（登録しなかった）すると、**「パスワードを忘れた場合は復旧できない**旨の英文メッセージが表示されるので、確認したら「OK」をクリックします。



⑧ デバイスの同期設定が開きますので、「スキップ」をクリックします。注意事項に関する英文メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



⑨ プラン設定が開きますので **スキップ** をクリックします。



⑩ 現在、ご利用中の PC に接続されている全てのストレージ (HDD や SSD や USB メモリーなど) の選択が表示されます。これはお使いの PC 内のストレージを使った PC ベースサーバーの NVR を構築する為の設定項目です。何も選択せず **取消** をクリックして下さい。



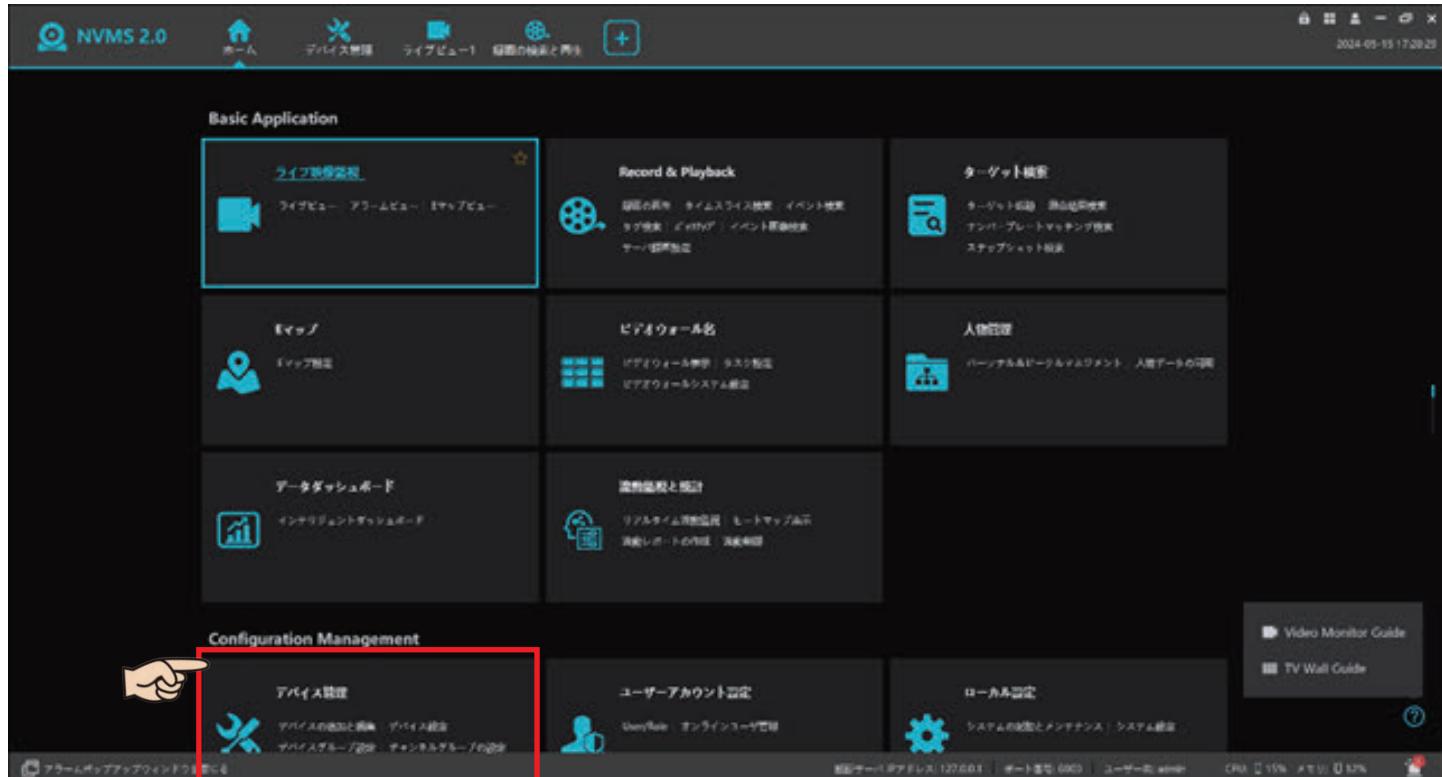
⑪ ホームウィンドが表示されます。



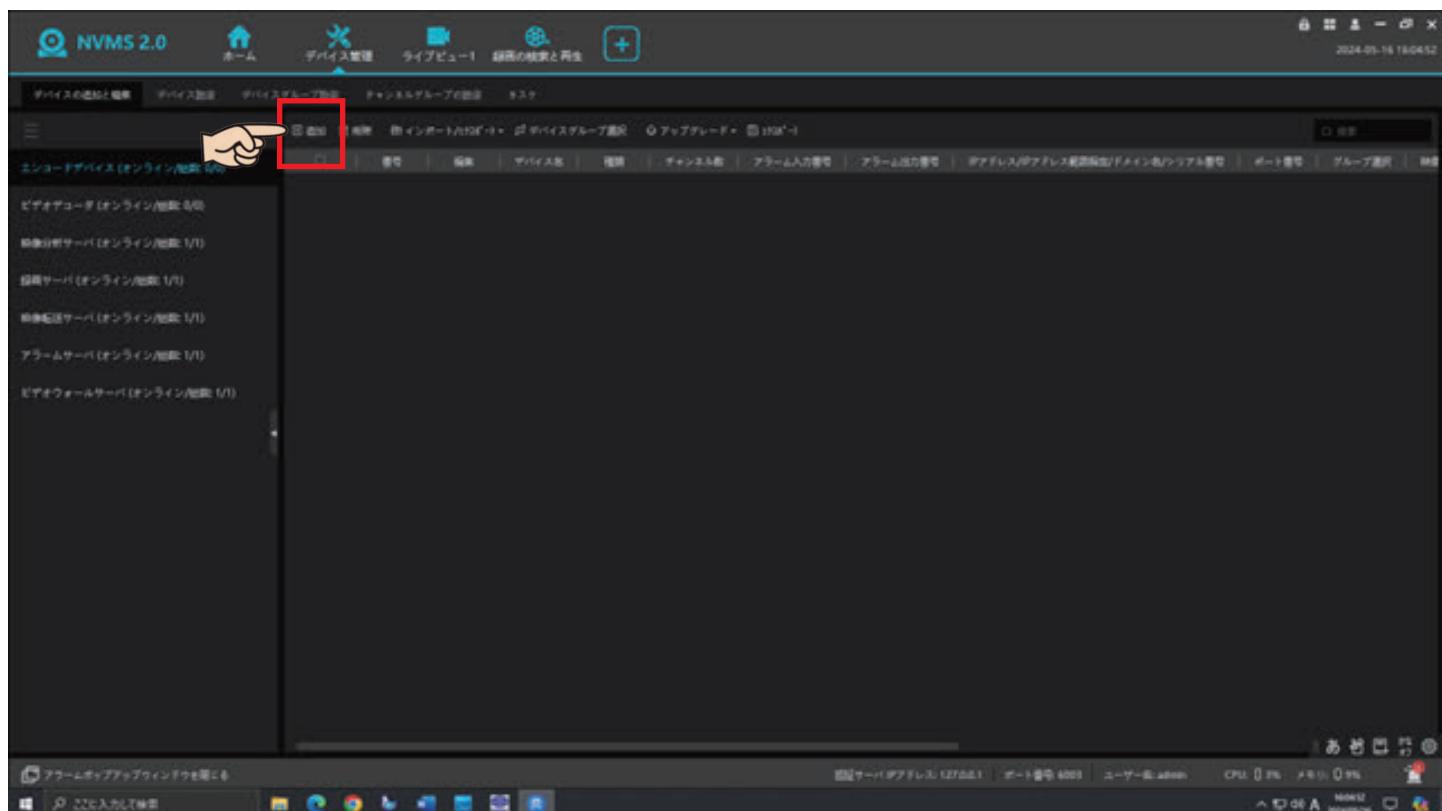
13-2 NVMS 2.0 デバイス登録

デバイス (NVR やカメラ) をソフトへ登録します。登録方法として前項の「**NVR 側の準備**」で記録した内容を使います。

- ① ホームウィンドの **デバイス管理** をクリックします。すでにメニューに表示されている場合もあります。



- ② デバイス管理ウィンドの **追加** を押します。



③ 同一ネットワーク内に接続されている NVR やカメラを自動的にスキャンしリストアップします。登録したい NVR やカメラにチェックを入れ **OK** をクリックします。

注意 ここで検索されるデバイス (NVR やカメラ) は、同一ネットワーク内に接続されているもののみです。Onvif 非対応のカメラや別の場所に設置している NVR やカメラをインターネット経由で検索する事は出来ません。

検索によって接続されているデバイスが必ず全て表示されるとは限りません。検索ボタンを押した瞬間の結果が表示される為、何回か再読み込みを行って下さい。



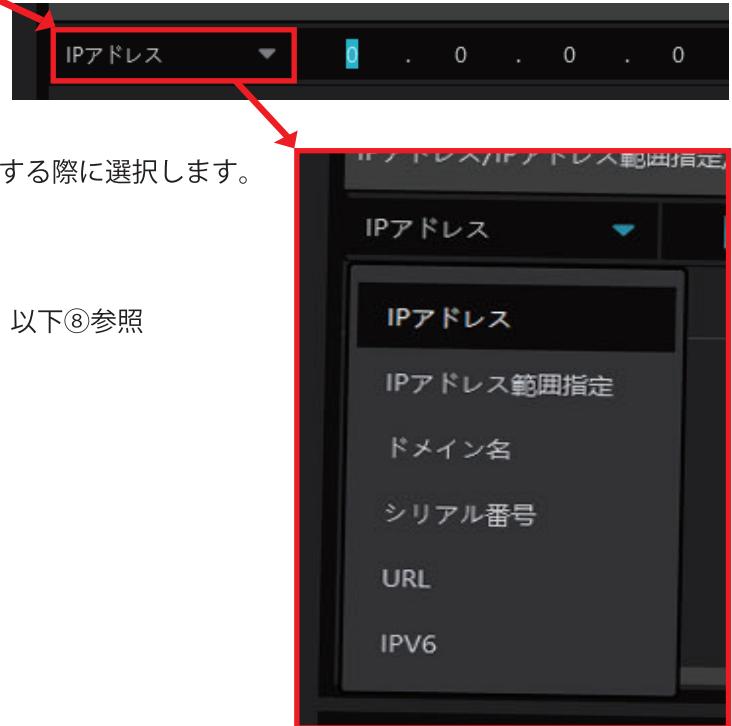
④ スキャンでヒットしない、または遠隔地の NVR を登録する場合、**手動追加** を押します。IP アドレス :0.0.0.0 と書かれている箇所をクリックします。





⑤ **IP アドレス :0.0.0.0** と書かれた箇所をクリックすると、登録手段として次のようなプルダウンメニューが表示されます。

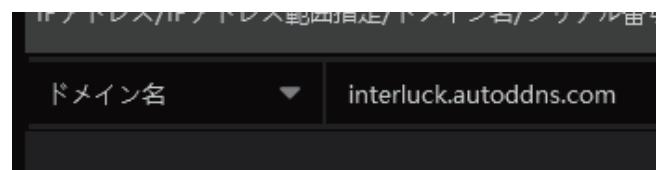
- **IP アドレス**：ローカル／グローバル IP アドレスで登録する際に選択します。
以下⑥参照
- IP アドレス範囲指定：省略
- **ドメイン名**：DDNS で登録する際に選択します。
- **シリアル番号**：NET (P2P) で登録する際に選択します。以下⑧参照
- URL：省略
- IPv6：省略



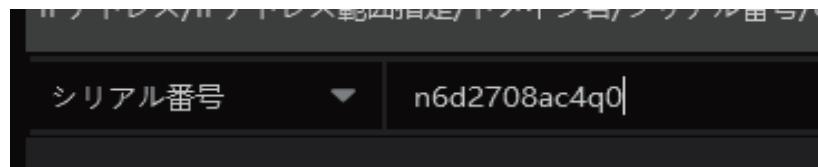
⑥ ローカル IP アドレス／グローバル IP アドレス、固定 IP アドレスの NVR やカメラを登録する場合は、**IP アドレス**を選択し、NVR またはカメラの IP アドレスを入力します。



⑦ DDNS で登録する場合、**ドメイン名**を選択し、**DDNS アドレスを入力**し⑨に進んで下さい。



⑧ NET (P2P) で登録する場合、**シリアル番号**を選択し、p10 のリモート接続の「NVR 側の NAT 接続の準備」で記録した **12桁の英数字を入力**し⑨に進んで下さい。



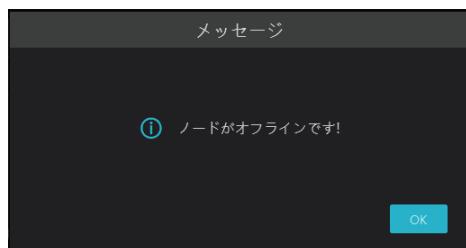
⑨ **IP アドレス** (ローカル／グローバル IP アドレス)、**ドメイン** (DDNS)、シリアル番号 (NET) を入力後、レコーダーに割当られた**ポート番号を入力**します。INT-HD7700 シリーズ NVR の TCP/IP ポート番号を変更していない場合、デフォルトポート番号は **6036**、H700 シリーズ IP カメラのデフォルト TCP/IP ポート番号は **9008** 番です。再入力の必要はございません。またシリアル番号 (NAT) で登録する場合、**ポート番号の登録が不要**です。

メモ HTTP ポート番号ではありません。ご注意下さい。

⑩ **NVR のパスワードを入力**し接続テスト欄のアイコンをクリックして下さい。テスト中のメッセージに続き「ノードがオフラインです」や「パスワードが間違えている (英文)」などのメッセージが表示された場合、NVR やカメラ側の接続状況、NVR やカメラ側の設定、ルーターの設定、登録アドレス、パスワード、ポート番号などを再確認及び再設定を行って下さい。**テスト成功**とメッセージが表示されたら **OK** をクリックしメッセージを消し、再び **OK** をクリックしウィンドを閉じ、デバイス管理ウィンドに戻ります。



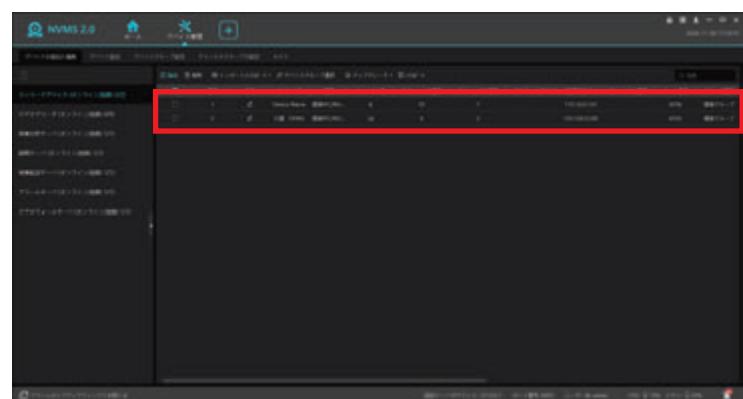
【パスワード間違えている】



【IP アドレス、ポート番号を間違えている】



【接続テストが成功した場合】



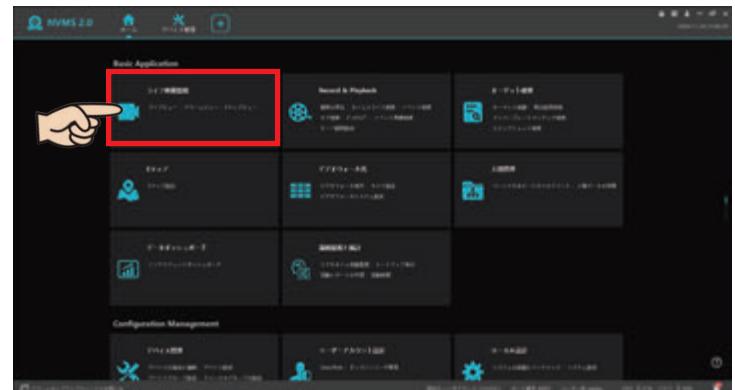
⑪ 登録が完了した NVR またはカメラがしばらくすると表示されます。デバイス名などの詳細を変更したい場合、目的のデバイスの編集欄にある鉛筆型のアイコンをクリックし、デバイス個別の設定を行う事ができます。



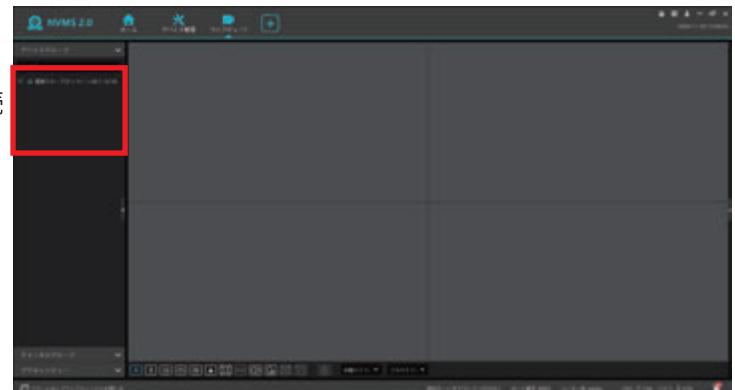
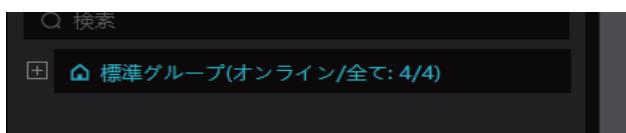


13-3 NVMS 2.0 ライブ

- ① ホームウィンドに戻り **ライブ映像監視** または **ライブビュー** をクリックし、ライブビューウィンドに切り替えます。



- ② 左側に登録済みのデバイスが表示されます。デバイス名「標準グループ(オンライン 4/4)」の「4/4」は、4 チャンネルの NVR に 4 台の IP カメラが接続され、「オンライン」はネットに接続され、リモート接続可能な状態を表します。



デバイス名を右クリックし「デバイスグループ名の変更」を選択する事で、現在の「標準グループ名」を変更することができます。



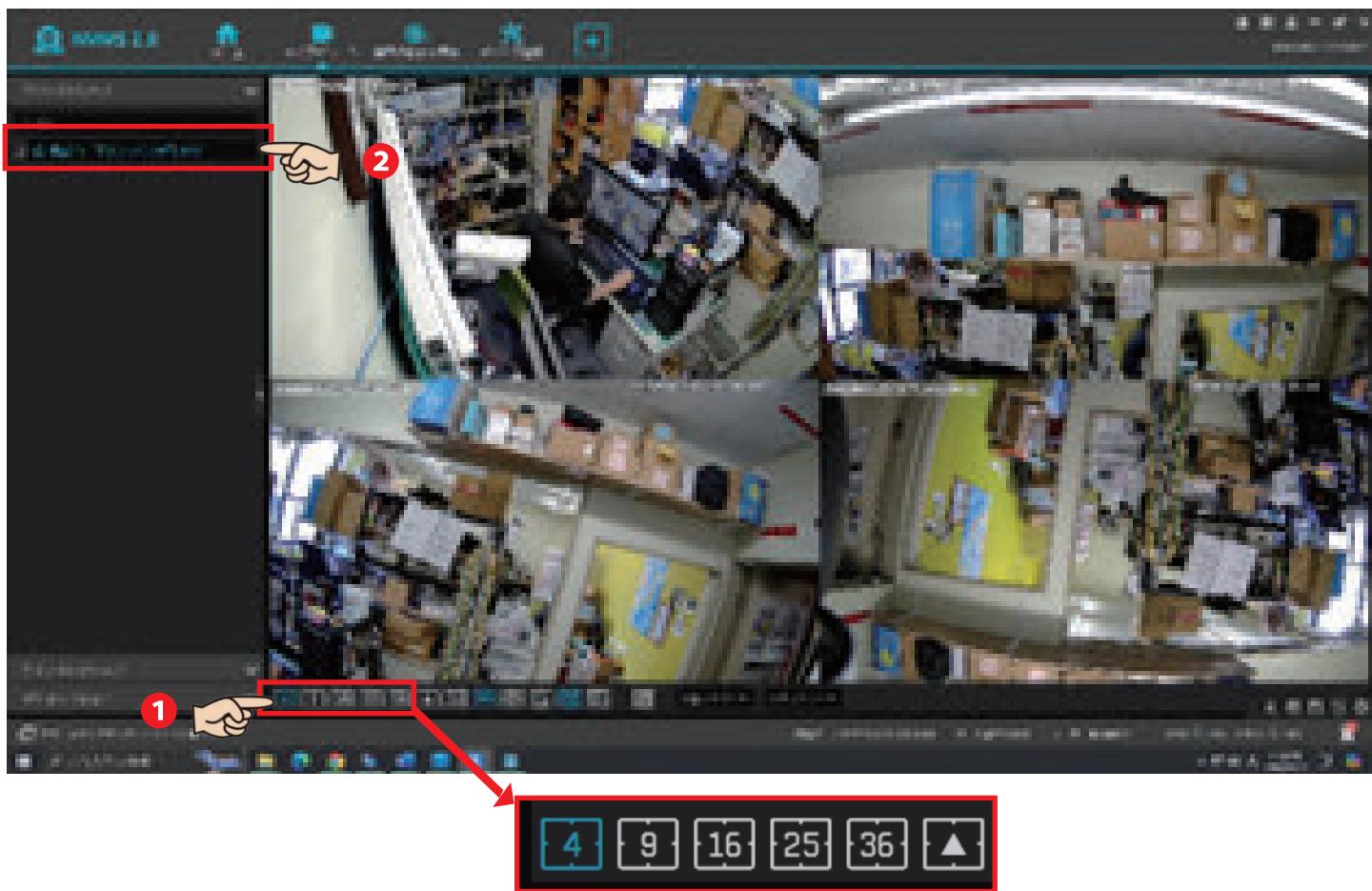
③ ライブ映像の表示方法には、**目的に応じていくつか手段**が有ります。

注意 ソフトを起動すると**前回閉じたページが表示**されます。デバイス管理の画面の状態でソフトを閉じた場合、次回起動時もデバイス管理が開きます。同じようにライブ映像監視の状態でソフトを閉じた場合、次回もライブ映像監視が開きます。またオンライン（映像が映し出されたまま）の状態で終了した場合、次回は自動的に接続されライブ映像監視が開き再接続し映像が映し出されます。但し相手先（レコーダー側）がオンライン中の（インターネットに接続され、リモート接続される状態）場合に限ります。

まず他のクライアント（遠隔）ソフトと本ソフトの大きな違いとして、NVR をデバイス登録した場合、本ソフトは**“NVRに接続されたカメラ”**として登録され、NVR を選択すると**デバイス登録された全てのNVRに接続されたカメラを映し出します**。NVR 単位で接続したい場合、デバイス登録の際に**デバイス管理グループを先に登録し、続けてNVRをデバイス登録**します。

メモ この簡易マニュアルではグループ登録の手順は説明しておりません。

画面左側のデバイスをダブルクリックすると**デフォルトの4分割の場合、4台のカメラ映像が表示**されます。ここで分割表示を変更しても4台以上の映像は表示されません。4台以上のカメラを表示させたい場合、**先に分割表示を4分割以上に切替てデバイスをダブルクリック**します。

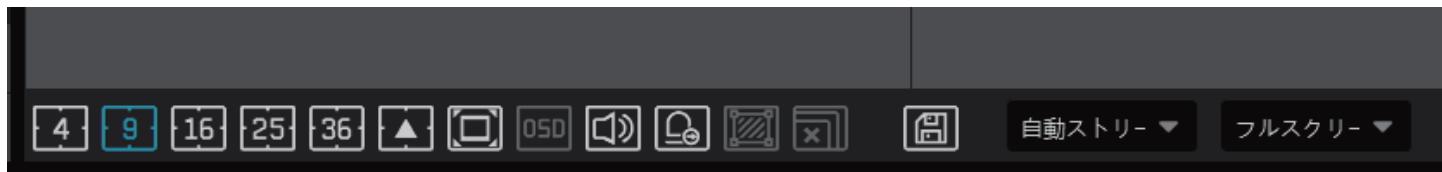


デバイスをダブルクリックしても表示されない場合、一旦ソフトを再起動して下さい。OS である Windows と本ソフトと PC ハードウェアの互換性の問題で、現在のバージョンでは再起動によって改善されます。

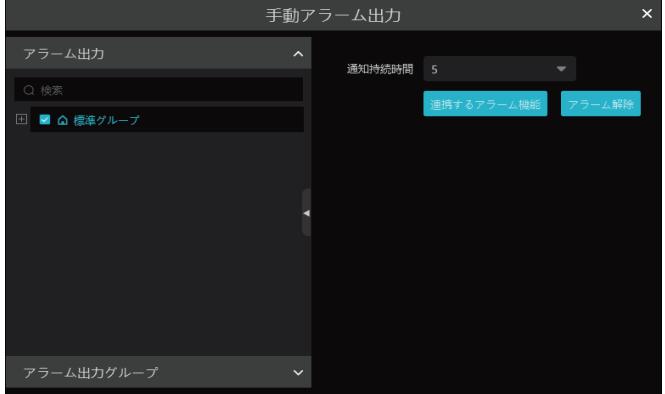
デバイス名の左側に有る**+**をクリックすると**NVRに接続されているカメラがツリー表示**されているカメラが表示されます。カメラをダブルクリックすると、その1台のカメラのみの映像が表示されます。

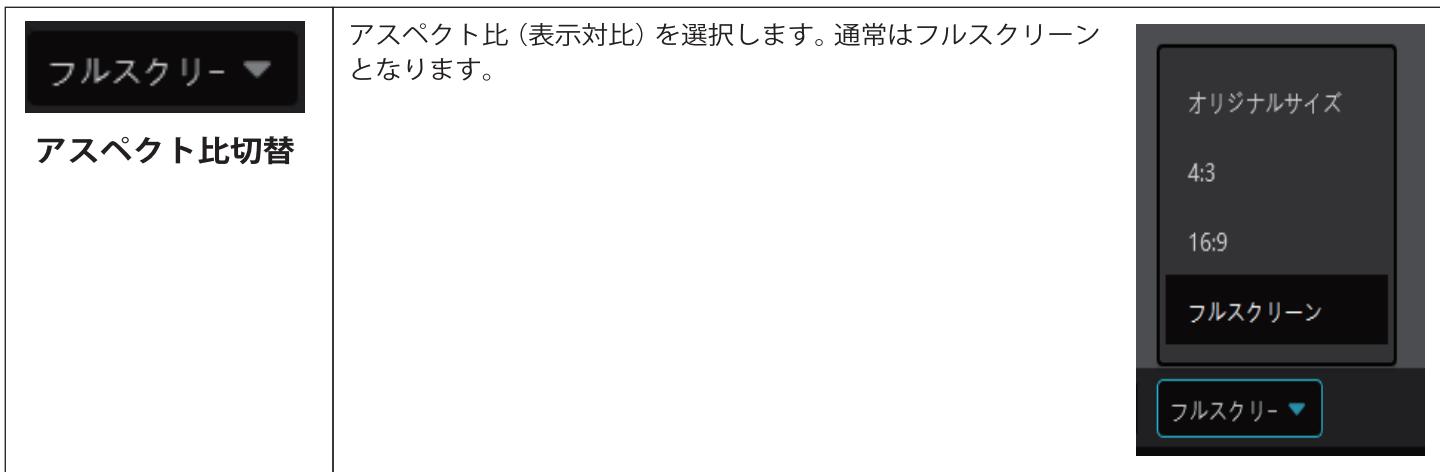
2台目以降のカメラを1つのライブビューで表示させたい場合、**最初に空欄の表示位置を選択**しデバイスリストから NVR またはカメラをダブルクリックします。

④ ライブウィンドの操作アイコン



	分割表示切替	4分割(2×2)、9分割(3×3)、16分割(4×4)、25分割(5×5)、36分割(6×6) ここで表示されるのは36分割までとなり、それ以上は次の「その他の分割表示モード」をクリックします。
	その他の分割表示モード	36分割以上の分割表示を選択します。また分割パターンや分割数をユーザーがカスタマイズする事も可能。最大100分割(10×10)。カスタマイズする場合は「カスタマイズ画面モード」をクリックします。
	全画面表示	全画面表示のON
	OSDの表示 / 非表示	画面表示OSDの表示／非表示切替
	スピーカーON/OFF	PCに接続されたオーディオデバイス(マイクなど)の音声を指定したNVRのオーディオ出力に接続されたスピーカーから流します。

 <h3>手動アラーム出力</h3>	<p>選択した NVR のアラーム出力端子に接続されたデバイスに接点を手動で送ります。</p> 
 <h3>スマートエリア検出の非表示</h3>	<p>スマート検知機能でエリア指定している際、ライブ映像にそのエリアを線で表示します。</p>
 <h3>全てのストリームを閉じる</h3>	<p>表示されている映像を全て閉じます。</p> 
 <h3>映像表示設定の保存</h3>	<p>表示パターンを保存します。</p> 
<div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> 自動ストリー ▾ </div> <h3>ストリーム選択</h3>	<p>メインストリーム（画質優先） 高画質の分ファイル容量が大きい為、スペックの低い PC では動きが悪い。主に 1 画表示、録画に使用します。</p> <p>サブストリーム（動き優先） 低画質の分ファイル容量小さい為、再生の際の検索が早く、低スペックの PC でもスムーズに再生でき主に分割表示やモバイル送信に使用されます。</p> <p>サードストリーム メイン及びサブストリームとは異なる設定ができる主にモバイル送信やストリーミング送信に利用します。任意的に使用を指定しない限り、自動で使われる事はありません。</p> <p>自動ストリーム ソフトが PC スペックを判断し、メイン及びサブストリームを自動で判断し、メインとサブストリームを混合して表示します。</p> 



⑤表示されたカメラ映像の上にマウスポインターを置くと、
サブメニューがチャンネル（カメラ）映像の下に表示されます。



	チャンネルを閉じる 再表示させる場合は再読み込みが必要となります
	手動録画の開始と停止
	スナップショット（静止画）撮影
	音声ON/OFF
	双方交通のON/OFF ※カメラにスピーカーが接続されている場合のみ有効
	PTZ操作：左右パン・上下チルト・ズームイン／アウト。フォーカス調整 ※PTZ対応のカメラが接続されている場合のみ有効
	3DパンチルドON/OFF ※3Dパンチルド対応のカメラが接続されている場合のみ有効
	デジタルズームイン／アウト
	ズームリセット
	手動アラーム出力
	デバイス（カメラ）設定

⑥表示されたカメラ映像（チャンネル）上でマウスを右クリックする事でもサブメニューが表示されます。

チャンネルを閉じる	
Window Scale	アスペクト比切替
手動録画開始	
クイック再生	指定した時間前から再生
スナップショット	静止画撮影
音声を聞く	音声ON/OFF
PTT通話開始	双方交通はON/OFF
PTZコントロール	
手動アラーム出力	
ストリーム	メインストリーム、サブストリームの切替
チャンネル情報	
Image Adjustment	画像調整 ※輝度・彩度・コントラスト・色合いの調整
全画面表示	

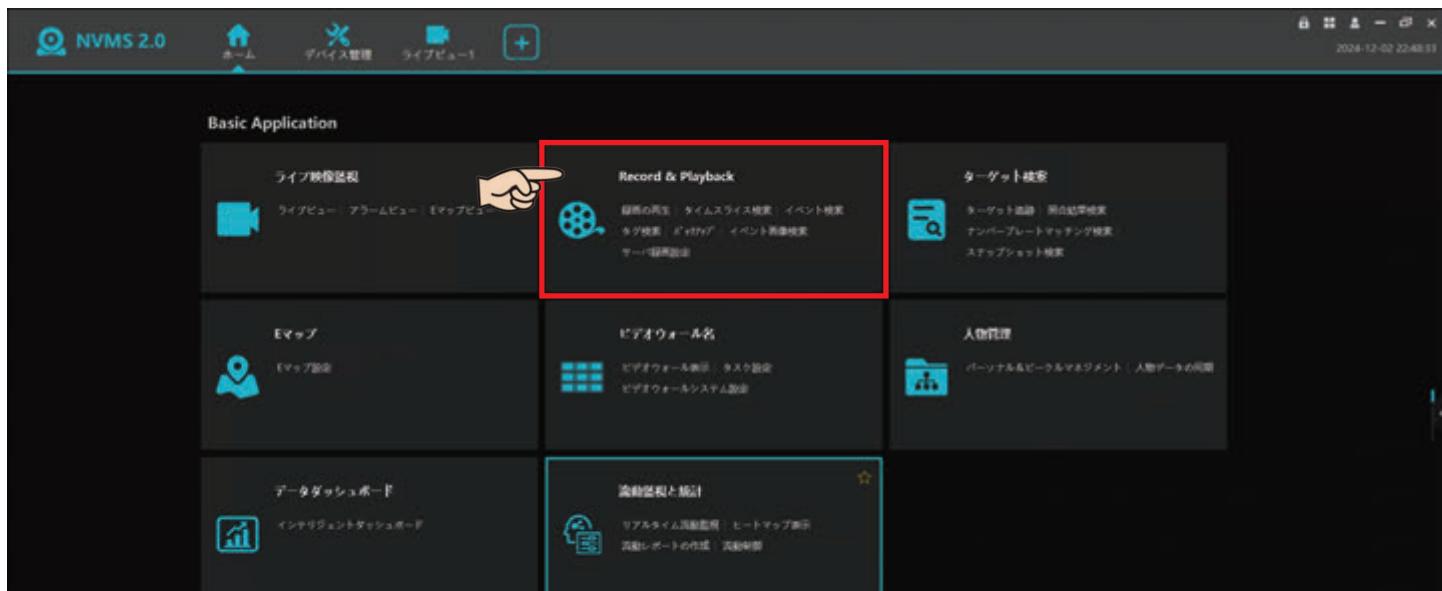
④ チャンネルを閉じる
Window Scale
手動録画開始
クイック再生
スナップショット
音声を聞く
PTT通話開始
PTZコントロール
手動アラーム出力
ストリーム
チャンネル情報
Image Adjustment
全画面表示

13-4 NVMS 2.0 再生

NVR内のハードディスク（HDD）に録画保存された映像データを再生するには、まず再生させたいデータを探す（検索）する所から始まります。

注意 本製品の特性上、**NVRにカメラが接続されライブ映像が表示できる状態**でないと、データを検索する事も再生する事もできません。例えば以前は4台のカメラが接続されていたが、現在は1台故障し外してあり3台の状態。ここから過去に4台接続されていた映像をリモートで再生する事はできません。

① ホームから **Record & Playback** をクリックします。



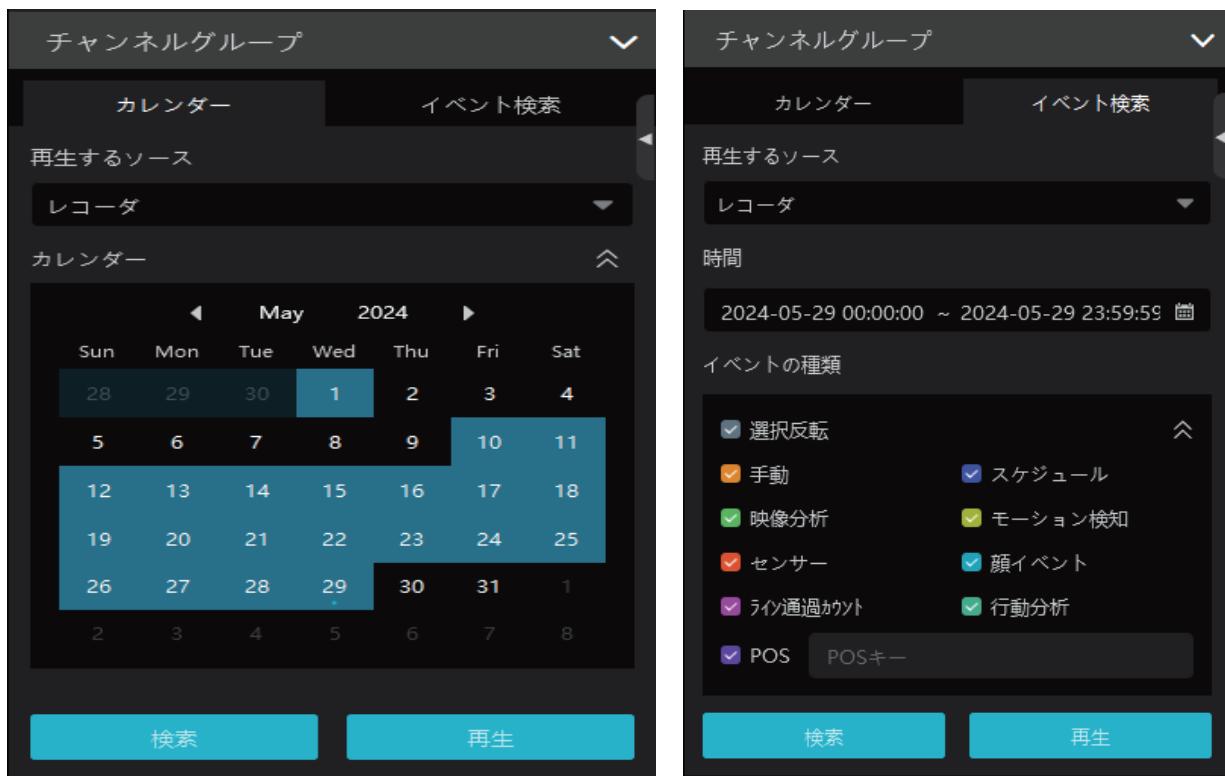
The screenshot shows the NVMS 2.0 home interface. The top navigation bar includes 'NVMS 2.0', 'ホーム', 'デバイス管理', 'ライブビュー', and a '+' button. The date '2024-12-02 22:48:11' is also displayed. Below the navigation is a 'Basic Application' section with several cards. The 'Record & Playback' card is highlighted with a red box and a hand cursor icon, indicating it is the active module. This card contains links for '録画の再生', 'タイムスライス検索', 'イベント検索', 'タグ検索', 'ダブルTV', 'イベント画像検索', and 'リバーフレーム検索'. Other cards in the 'Basic Application' section include 'Eマップ', 'ビデオウォール', and '人物検索'. Below this is a 'Configuration Management' section with 'デバイス管理', 'ユーザーアカウント設定', and 'ローカル設定'.

② **標準モード** が選択されている事を確認し、デバイス（レコーダー）単位の場合、デバイスグループ内に表示されている、再生したいデバイスにチェックを入れます。またはデバイスの **+** をクリックし、ツリー表示を展開し NVR に接続されているカメラ単体にチェックを入れます。

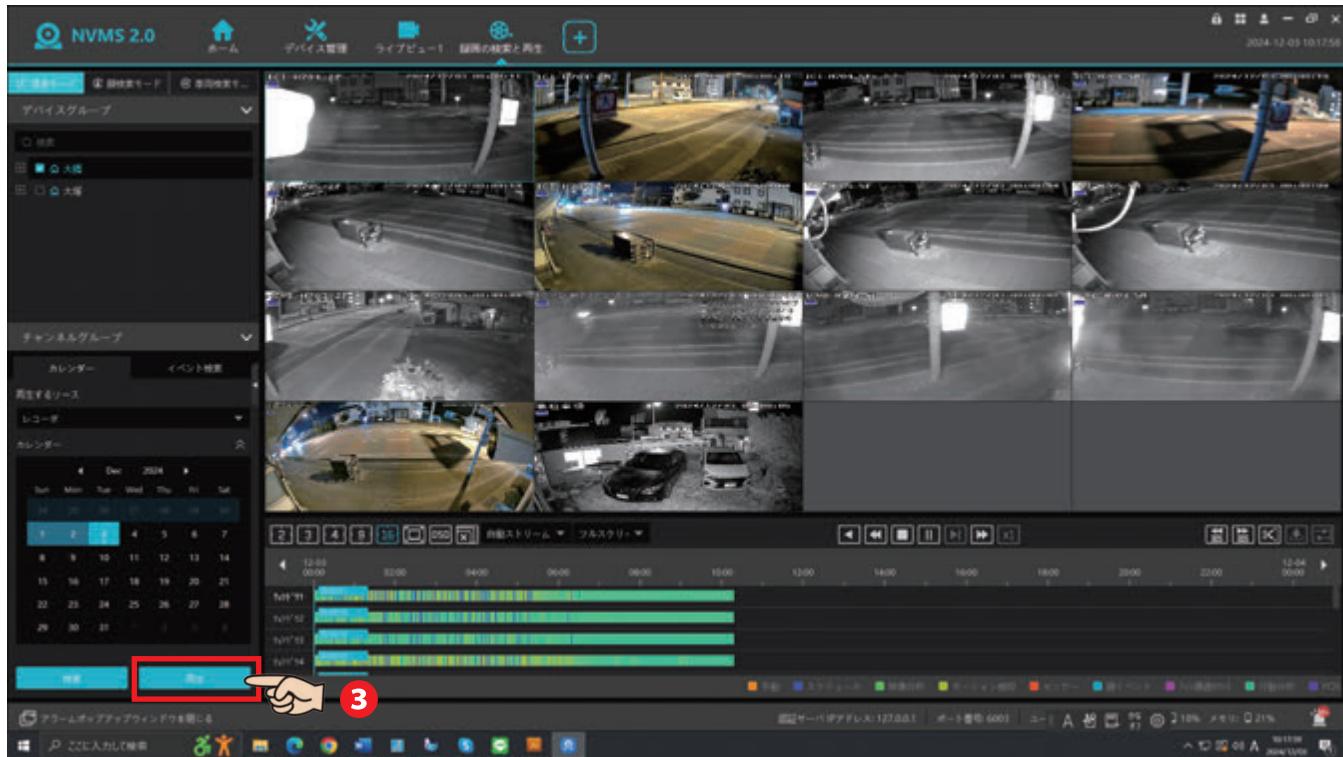


③ カレンダーから再生したい日付を選択し **検索** をクリックします。イベント検索の場合、再生したい期間を日付と時間から指定し、検索条件となるイベントのチェックのみを外し **検索** をクリックします。

メモ デフォルトでは全てのイベントにチェックが入った状態になっています。**全て選択** をクリックする事で全てのイベントのチェックを外したり入れたりする事が出来ます。



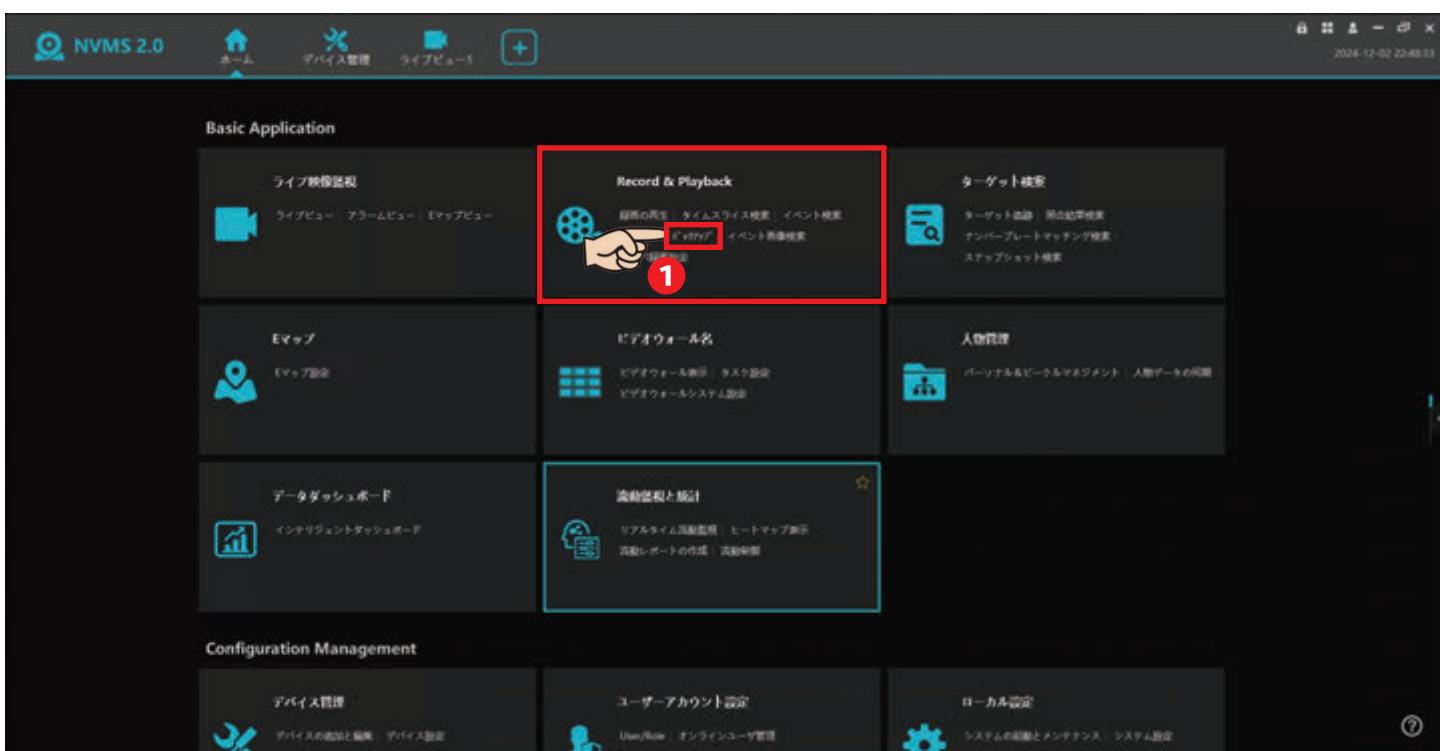
- ④ **再生** をクリックすると、全てのチャンネルで同時に再生が開始されます。
タイムバーは24時間で表示されます。チャンネルごとに再生を開始した一点をダブルクリックすると、4台のチャンネルはそれぞれ独立して再生を行います。

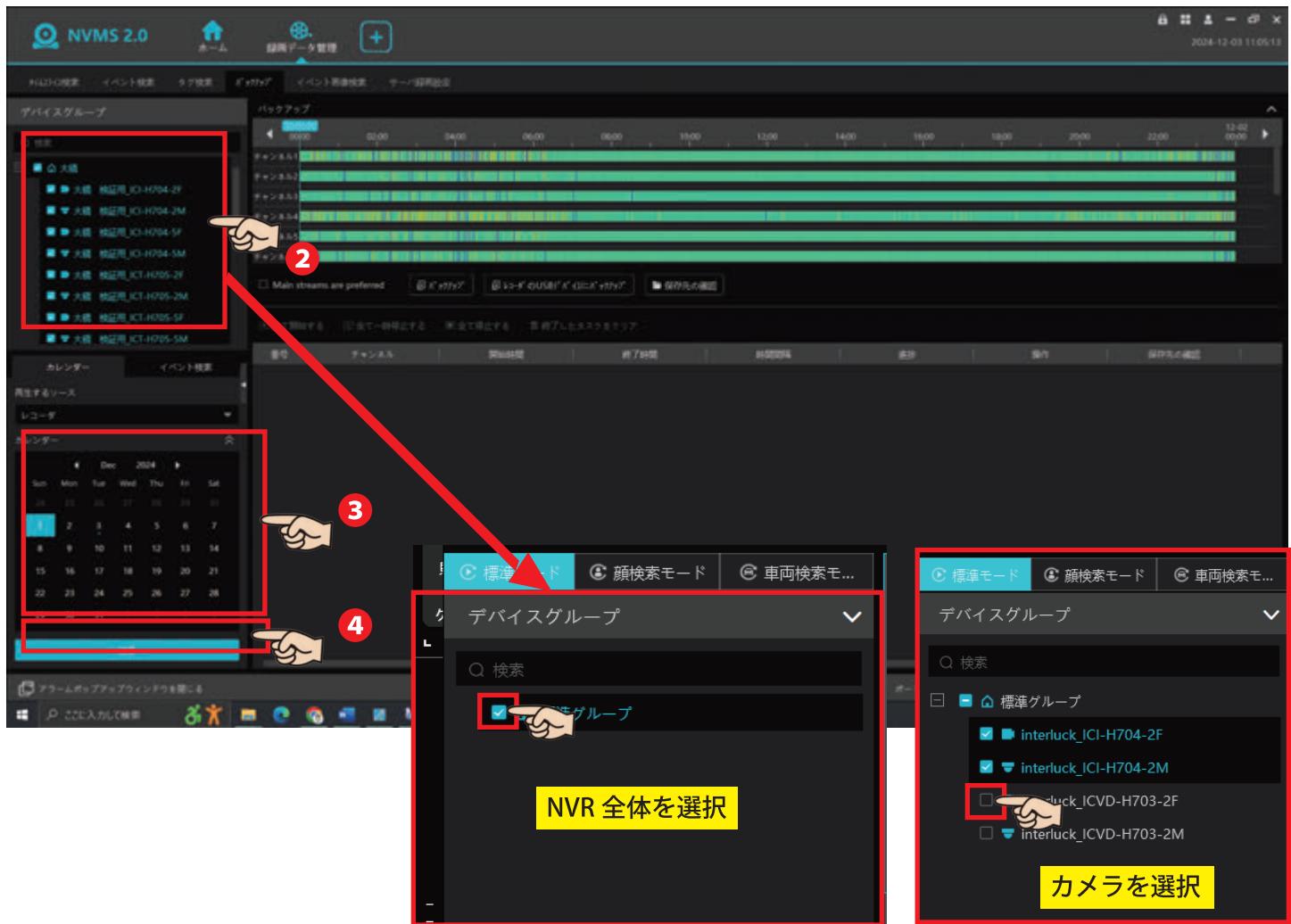


注意 最近のNVRの場合、高画質で大容量のデータを高速で処理する為、基本は**カメラ1台（1チャンネル）単位での再生が基本**となります。複数台のカメラを分割で再生させる場合、単に1台再生のカメラを分割同時再生している為、**長時間の再生の際にはタイミングのずれが発生**します。

13-5 NVMS 2.0 バックアップ

- ① ホームから **Record & Playback** 内の **バックアップ** をクリックします。
- ② デバイス（レコーダー）単位の場合、**バックアップしたいデバイスにチェック**を入れます。またはデバイスの **+** をクリックし、ツリー表示を展開し NVR に接続されている**カメラ単体にチェック**を入れます。
- ③ 目的の日をカレンダーから選択し **検索** をクリックします。



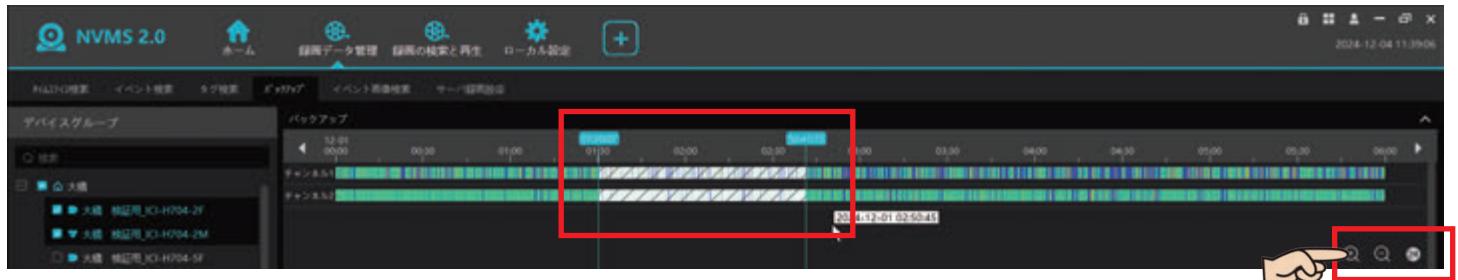


④ カレンダーからバックアップしたい日付を選択し **検索** をクリックします。イベント検索の場合、バックアップしたい期間を日付と時間から指定し、検索条件となるイベントのチェックのみを外し **検索** をクリックします。

メモ デフォルトでは全てのイベントにチェックが入った状態になっています。**全て選択** をクリックする事で全てのイベントのチェックを外したり入れたりする事が出来ます。



- ⑤ タイムバー上でバックアップ開始時間をクリックし、そのままドラッグ＆ドロップで終了時間まで移動させます。タイムゾーンのスケールは、タイムゾーンの右端にマウスカーソルを移動すると「⊕ ⊖ ②」のアイコンが表示されるので、クリックする事で 24 時間表示から 12 時間 → 6 時間 → 3 時間 → 1 時間 → 36 分表示となります。

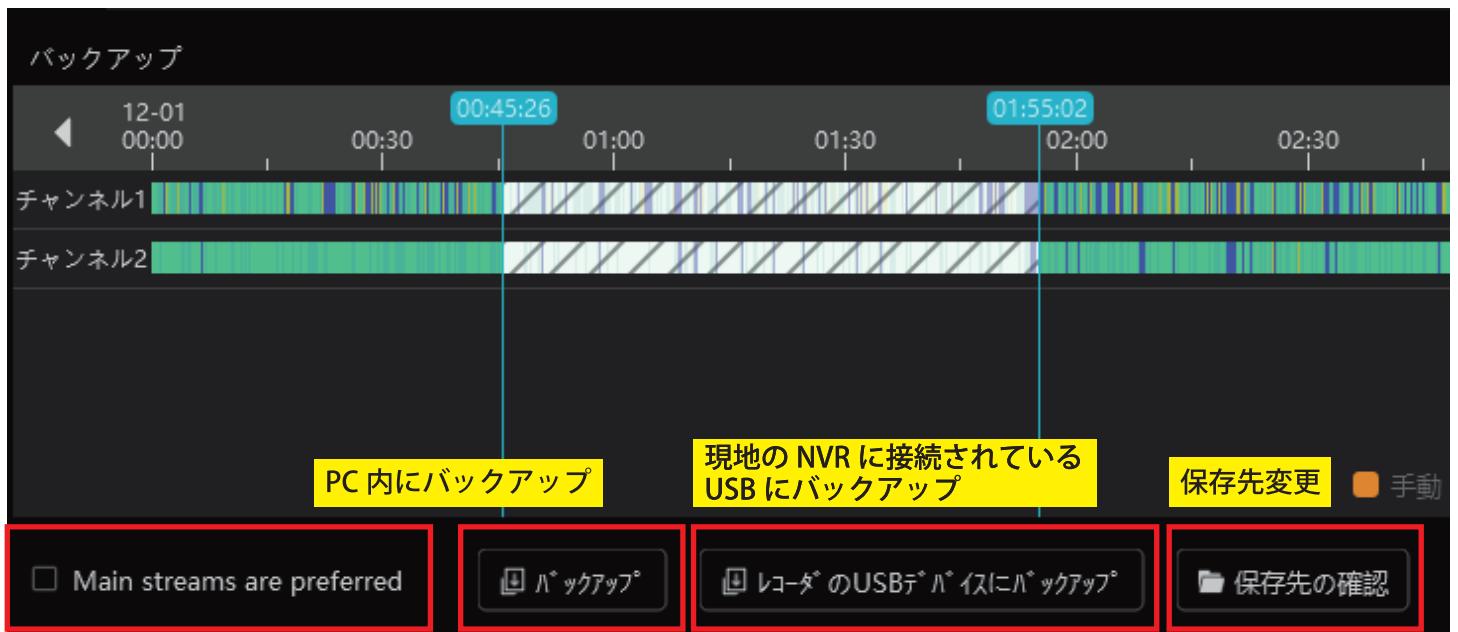


PC クライアントソフトを用いてのバックアップには 2 種類の方法が有ります

- A. お使いのパソコン内の指定したフォルダに直接ダウンロード（バックアップ）し、必要に応じてパソコンから別メディア（USB メモリー、外付け HDD/SSD/CD-ROM など）にコピーまたは移動します。
- NVR 本体が手元に無くても、1 人作業で行う事が出来ます。NVR 側も特別確認しない限り、リモート（遠隔接続）からダウンロード（バックアップ）されている事に気付きません。しかし、ダウンロード（バックアップ）中、常にバックアップする方、される方共に通信（インターネット）回線を独占する為、ネット回線に与える負担と通信速度の低下に多少影響が出る場合もあります。基本はダウンロード（バックアップ）中はパソコンでの他の作業はしない方が成功率は上がります。

注意 PC クライアントソフトを用いてのリモート（遠隔）バックアップは、通信と書き込み作業の 2 つを行う為、通常の NVR 直接のバックアップより所要時間が長くなり、インターネット環境によっては途中で強制切断させられ、最初からやり直す率も高くなります。

メインストリーム（動き優先）ファイルをバックアップ（ダウンロード）する場合は「Main streams are preferred」にチェックを入れます。サブストリーム（動き優先）をバックアップ（ダウンロード）する場合はチェックを外して下さい。バックアップ時間を設定後、[バックアップ] をクリックします。バックアップファイルはデフォルト設定では C ドライブのバックアップフォルダに保存されます。保存先を変更したい場合は、[保存先の確認] から行えます。



- B. NVR 本体に直接接続されている USB メモリーにダウンロード（バックアップ）します。
- パソコンからコピーまたは移動する手間と時間がかからず、ダウンロード（バックアップ）中もパソコンのスペックを落とす事無く、普通に使用する事が出来ます。
- 但し NVR 本体が手元に有るか、遠隔地の場合は誰かに USB の管理（USB メモリーのフォーマット、接続、回収）をお願いする必要があります。

注意 PC クライアントソフト上では NVR のストレージ（内蔵 HDD や USB ポートに接続されているメディア）のフォーマットは出来ません、正常にバックアップされたか、USB メモリーの中を確認する事も出来ない為、実際に使用する機会は少ないと思います。

バックアップ時間を設定後、**レコーダーの USB デバイスにバックアップ**をクリックします。
NVR 側の USB メモリーに何らかの問題が発生している場合、USB メモリーが接続されていない場合、書き込みができない場合などは「USB デバイスが未接続」や「USB デバイス検出失敗」など、メッセージが表示されます。

PC クライアントソフトを利用しインターネットを介してのバックアップ(ダウンロード)にかかる**時間の目安**は?
条件: 5.0MP の室内カメラを 1 時間、1 台バックアップ(ダウンロード)した場合、AVI / MP4 / メイン / サブストリーム問わず、**約 6 分 30 秒前後**の時間がかかります。
メインストリームの場合、ファイルサイズは AVI / MP4 問わず**約 1.7GB 前後**ですが、**ファイルに 4 つ**に分けられます。
サブストリームの場合、ファイルサイズは AVI 方式で**約 280MB 前後**、MP4 方式で**約 230MB 前後**となります。

14 Web ブラウザの使用

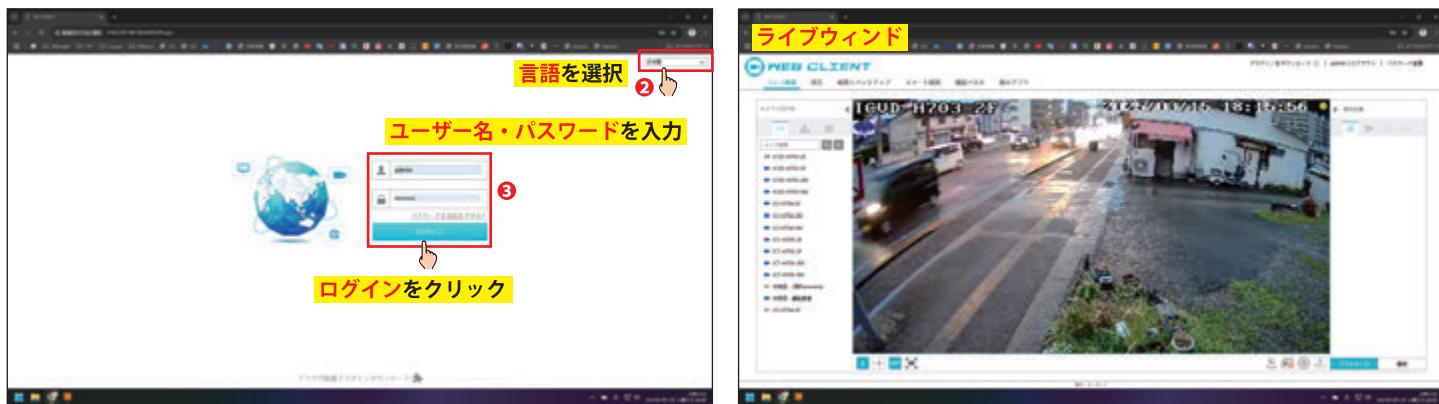
Web ブラウザから NVR にアクセスしライブ映像の確認、再生、検索とバックアップ、スマート検知、様々な設定を行う事が出来ます。

注意

- ① OS (Windows など) のアップデートに伴い、**ブラウザ設定が変更**され使用できなくなる事が有ります。その際はお客様または販売店で復旧を行って下さい。
- ② **Google Chrome** で動作確認を行っております。Google Chrome 以外のブラウザでは検証を行っていない為、機能によっては使用できない場合もございます。
- ③ Web ブラウザでのアクセスは **NAT 接続は非対応**です。ローカル IP アドレス、グローバル IP アドレス、固定のグローバル IP アドレスまたは DDNS、VPN 接続でのアクセスとなります。
- ④ Web ブラウザでは **1 画面または 4 分割表示で最大 4 台**までのチャンネル(カメラ)映像を表示します。

14-1 Web ブラウザ ログイン

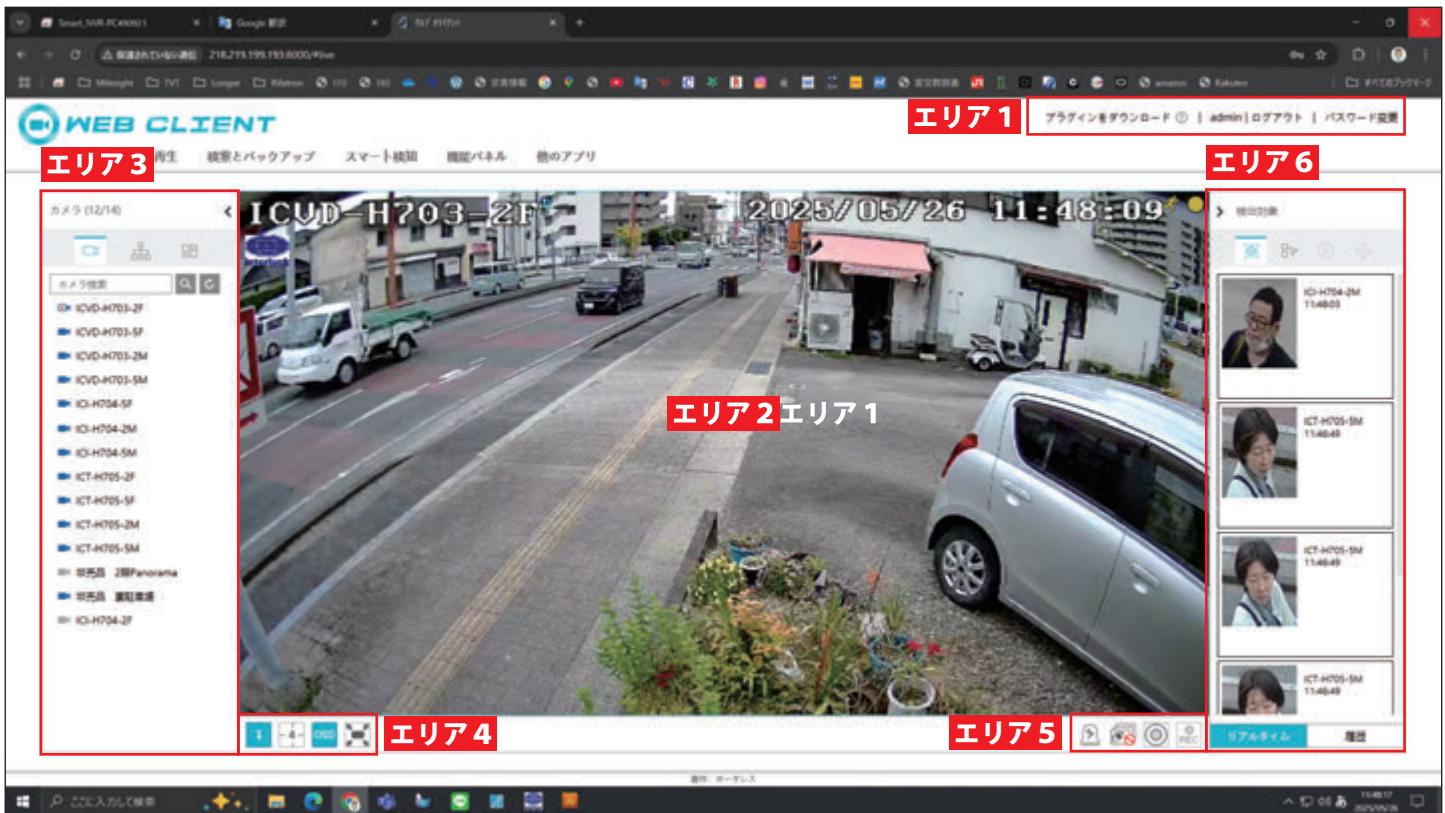
- ① Web ブラウザのアドレスバーにログインする NVR のローカル IP アドレス、グローバル IP アドレス、固定のグローバル IP アドレスまたは DDNS アドレスとポート番号(初期値 9000)を入力しログインウィンドを開きます。
「例: http://192.168.0.100:9000」 **※ポート番号をお忘れなく**
- ② **言語設定**が必要な場合は、右上の“**言語設定**”から**日本語**を選択します。
- ③ NVR のユーザー名とパスワードを入力し**ログイン**をクリックします。**ライブウィンド**が表示されます。



14-2 Web ブラウザ ライブ

ログイン後はライブウィンドが表示されます。他のウィンドが開いている場合は**ライブ画面**をクリックします。
分割表示は 1 分割(1 画面)と 4 分割の**2 パターンのみ**です。また一度に表示可能なカメラ(チャンネル=ch)数は**最大 4 ch**までです。

ライブウィンドはその機能や操作によって、次の写真のように 5 つのエリアに分けられます。



① **エリア 1**：プラグインをダウンロード、ログイン中ユーザー名、ログアウト、パスワード変更のリンクが表示されます。Google Chrome 以外の Web ブラウザを使用している際、文字やイラストは表示されるが動画（カメラ映像）が表示されないなどの場合、ご利用のブラウザに映像を映し出すための追加プログラム（プラグインソフト）が必要になる場合があります。ここからプラグインをダウンロードしインストールして下さい。

※インストールの際は全てのブラウザ、アプリを閉じて下さい。Google Chrome ではプラグインは必要ありません。

- ② **エリア 2**：選択されているカメラ映像が表示され、この映像をクリックして何らかの操作を行う事は出来ません。初期値は 1 画面表示です。映像の表示変更はエリア 4 で行います。
- ③ **エリア 3**：カメラ選択エリアとして、NVR に接続されている全てのカメラが表示される**カメラモード**。それらのカメラでグループを作る**グループモード**、カスタマイズ（予定機能）に切り替える事が出来ます。初期値ではカメラモードが表示され、カメラ 1 (ch1) が 1 画面で表示されます。
- ④ **エリア 4**：分割表示、全画面表示を切り替えます。

1 画面表示 連続して押す事で、チャンネル（カメラ）を 1 チャンネルごと先に送る。

4 分割表示 連続して押す事で、チャンネル（カメラ）を 4 チャンネルごと先に送る。

OSD 表示 / 非表示 エリア 2 に表示される録画アイコン、動体検知アイコンなどの表示 / 非表示

全画面表示 全画面表示中に元の画面に戻る場合は、キーボードの **ESC** キーを押す。

- ⑤ **エリア 5**：アラーム状態、手動録画などのアイコンです。

アラーム状態を表示します

現在表示されているチャンネル（カメラ）を全て閉じます

クリアント録画 アイコンを押す事により録画が開始され、再び押す事で停止します。ファイルの保存先はお使いの PC の デフォルトでダウンロードフォルダです。

リモート手動録画 アイコンを押す事により NVR の設定にかかわらず録画が強制的に開始され、再び押す事で停止します。NVR が常時録画の場合は再生の際のアイコンの色が変わります。

- ⑥ **エリア 6**：表示されているカメラによって異なるモードタグが表示されます。検出対象、操作、レンズ制御、PTZ

検出 検出設定の結果が表示されます。リアルタイム表示と履歴表示を切り替える事が出来ます。

操作 以下の操作アイコンが表示されます。接続されているカメラによって異なります。

静止画撮影 ファイルの保存先は、お使いの PC の デフォルトでダウンロードフォルダです。

画像を閉じる 現在表示されているチャンネル（カメラ）を全て閉じます

クリアント録画 アイコンを押す事により録画が開始され、再び押す事で停止します。ファイルの保存先はお使いの PC の デフォルトでダウンロードフォルダです。



リモート手動録画 アイコンを押す事により NVR の設定にかかわらず録画が強制的に開始され、再び押す事で停止します。NVR が常時録画の場合は再生の際のアイコンの色が変わります。



デジタルズームイン・ズームアウト



3D ズームイン【非対応】



比率調整



スピーカー ON/OFF ボリューム ※Audio 対応のカメラのみ

メインストリーム サブストリーム

ストリーム変更

解像度	352x240
FPS	20
ビットレート	512Kbps
適用	

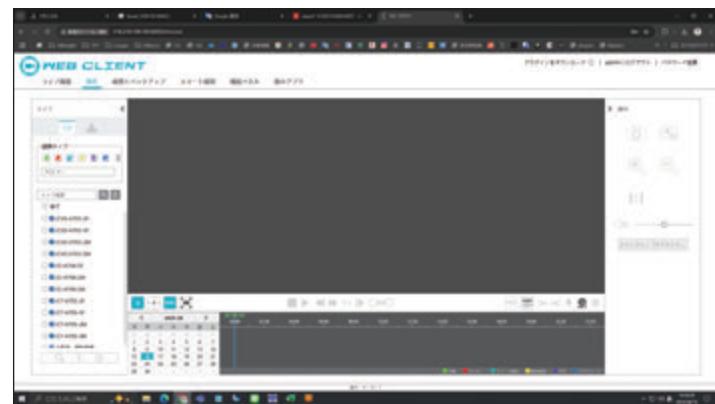
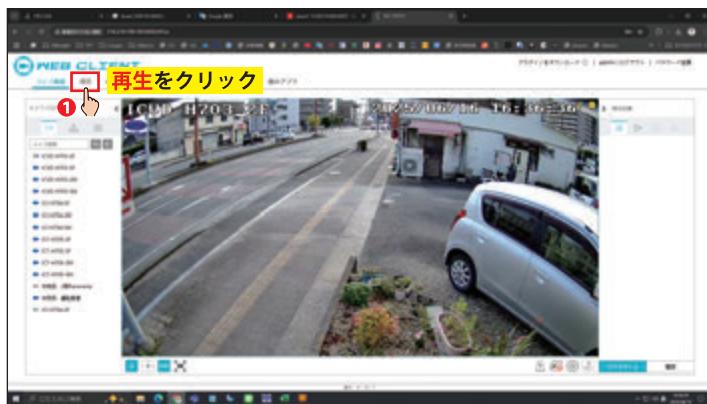
解像度変更 サブストリームのみ解像度、フレームレート (FPS)、ビットレートを変更する事が出来ます。録画映像には反映されません



PTZ PTZ カメラまたは M シリーズのカメラが選択されている場合に表示されます。

14-3 Webブラウザ 再生

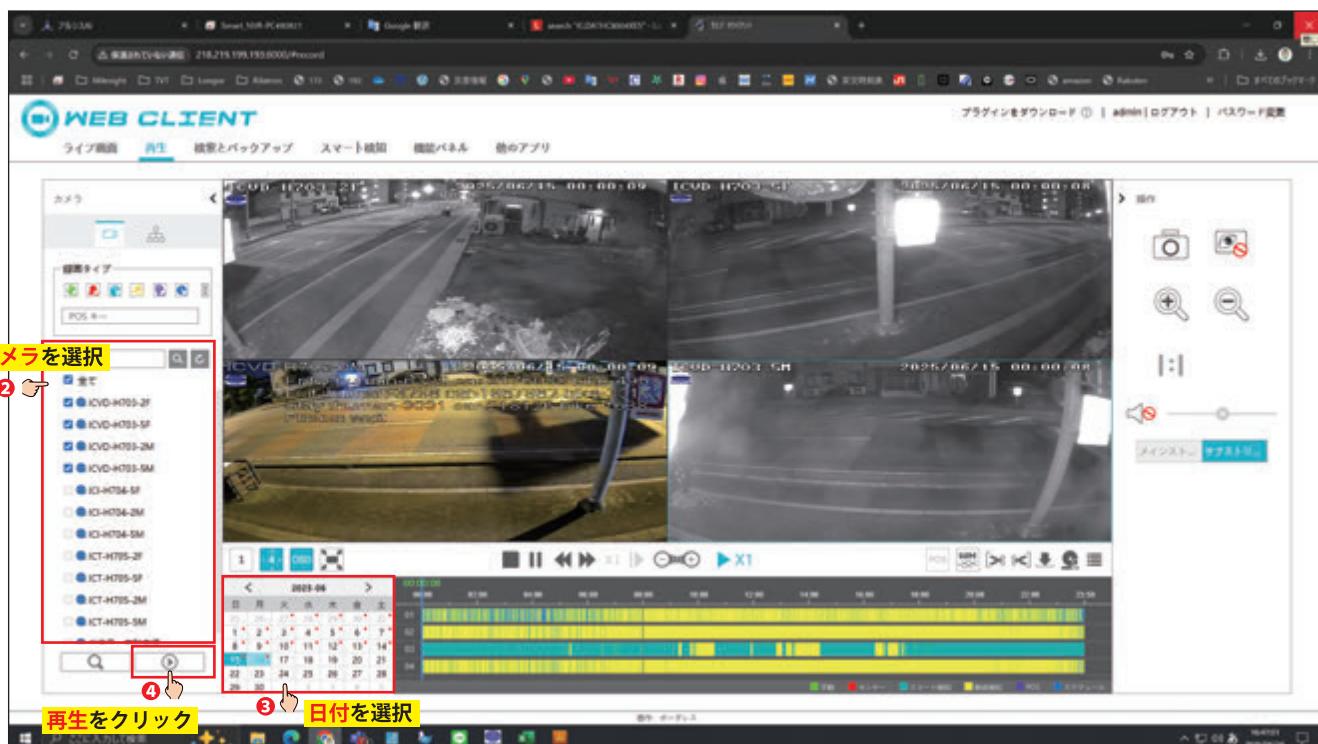
①ログインした状態**再生**をクリックします。



②再生するチャンネル（カメラ）を最大 4 台選択します。

③カレンダーから再生させたい日付をクリックします。デフォルトで当日（今日）が選択されています。

④再生をクリックすると選択した日の最も古いデータ、通常は午前 0 時から再生が開始されます。





1 画面表示 実際 ch1 のみが 1 画面表示される



4分割表示



OSD 画像に表示されている OSD の表示 / 非表示 **※現在の所、動作未確認**



全画面表示 全画面表示中に元の画面に戻る場合は、キーボードの ESC キーを押す。



録画タイプ チェックを入れた録画データが再生されます。デフォルトでは全てチェックが入った状態です。

左から、手動録画 センサー すべての検知録画 動体検知 POS スケジュール

例えば人や物が動いた部分だけを再生させたい場合は、動体検知録画以外のチェックを外します。



再生コントロール

左から、停止 一時停止 / 再生 再生速度を下げる 再生速度を上げる



30 秒送り 30 秒戻し

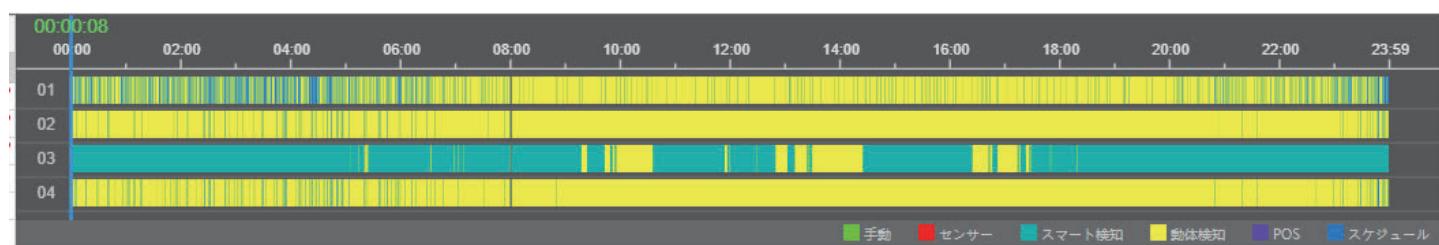


再生速度

タイムゾーン

タイムゾーン上で目的の時間 (再生を開始させたい時間) をクリックすると、再生が開始されます。

タイムゾーンに表示される時間帯の縮尺を変更するには、タイムゾーン上にマウスカーソルを合わせマウスのホイールを回します。デフォルト (何も操作しない状態) は 24 時間表示となります。



静止画撮影 ファイルの保存先は、お使いの PC の デフォルトでダウンロードフォルダです。



画像を閉じる 現在表示されているチャンネル (カメラ) を全て閉じます



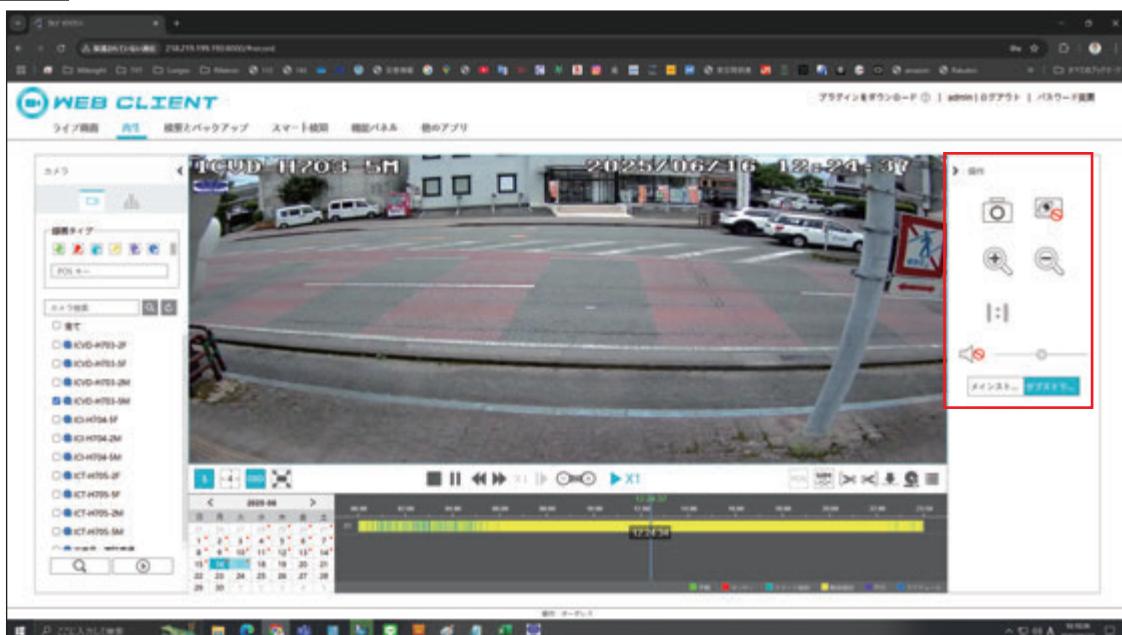
デジタルズームイン・ズームアウト



スピーカー ON/OFF ボリューム **※Audio 対応のカメラのみ**



ストリーム変更



14-4 Web ブラウザ バックアップ

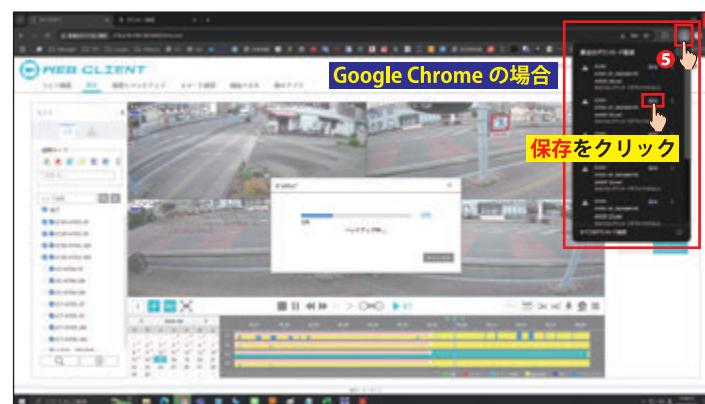
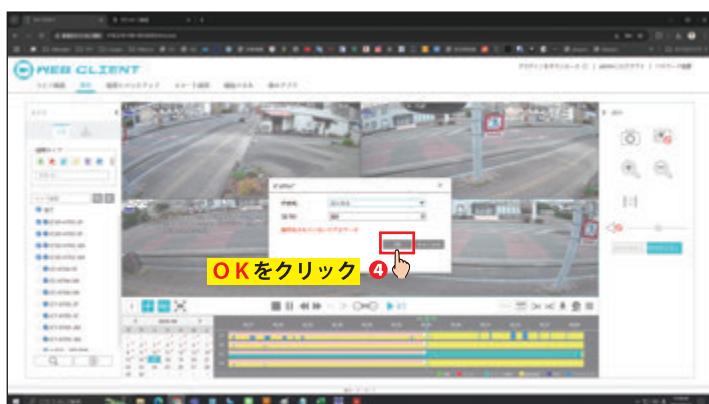
バックアップには再生モードからのバックアップと検索バックアップの2通りがあります。ここでは再生モードからのバックアップの手順をご案内します。バックアップ先はお使いのPCのダウンロードフォルダになります。

注意

Web ブラウザの個人的なセキュリティ設定により、安全でないダウンロードファイルをダウンロードファイルへ直接書き込みます、一旦ブラウザで保留させ、改めてダウンロードの許可を任意的に出した物だけフォルダへ納める設定が有ります。ダウンロードフォルダにファイルが表示されない場合、ブラウザの設定内にあるダウンロードに関する内容をお確かめ下さい。

例えば Google Chrome の場合、別のタブでブラウザのダウンロード (**Ctrl + J**) を開き、「安全でないファイルをダウンロード」をクリックします。

- ① バックアップを開始する時間をクリックし、**バックアップ開始時間**をクリックします。
- ② バックアップを終了する時間をクリックし、**バックアップ終了時間**をクリックします。タイムバー上でバックアップ範囲がゼブラゾーンに変化します。
- ③ **バックアップ**をクリックします。
- ④ バックアップ先とフォーマットを選択するウィンドが表示されますが、そのまま何も変更せず **OK** をクリックします。指定したゼブラゾーンのバックアップが開始されます。
- ⑤ Google Chrome の場合、右上のダウンロード状況アイコンをクリックすると、ダウンロード状況が表示されます。**保存**をクリックするとダウンロードフォルダへファイルが保存されます。



15 ONVIF 接続に関して

本製品 (H700 シリーズ IP カメラ) を純正の NVR (INT-HD7700 シリーズ) 以外の他社 NVR や XVR に ONVIF 接続する場合、接続される NVR や XVR の機種や F/W によってはデフォルトの管理者ユーザー名とパスワードでは登録できない場合があります。その際は、IP カメラ側に ONVIF ユーザー登録を行ってお試し下さい。

- 注意**
- ① ONVIF 接続並びに ONVIF ユーザー登録には PC が必要です。NVR や XVR からは行えません。
 - ② ONVIF 接続では NVR や XVR からの IP カメラ操作の一部が非対応となります
 - ③ ONVIF 接続では通常録画は可能ですが、イベント録画に関しては使用できない場合があります。

① IP アドレスで目的の IP カメラに接続し、デフォルトの管理者ユーザー名とパスワードを入力し **ログイン** をクリック

② ライブ映像が表示されるので、**設定** をクリック

③ ネットワーク接続中の **ONVIF** をクリック

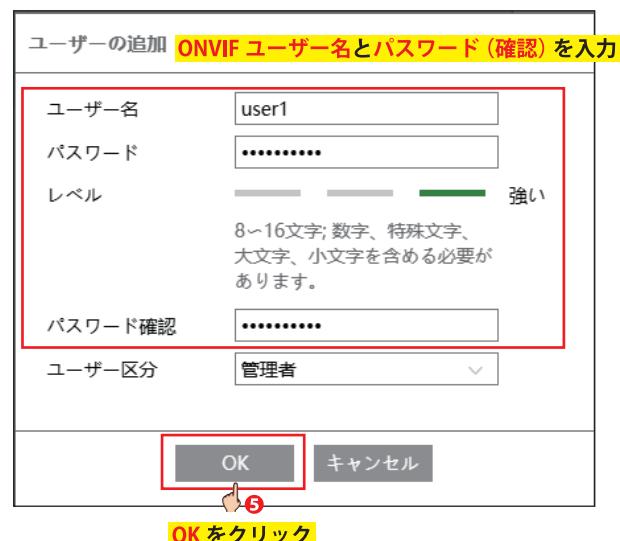
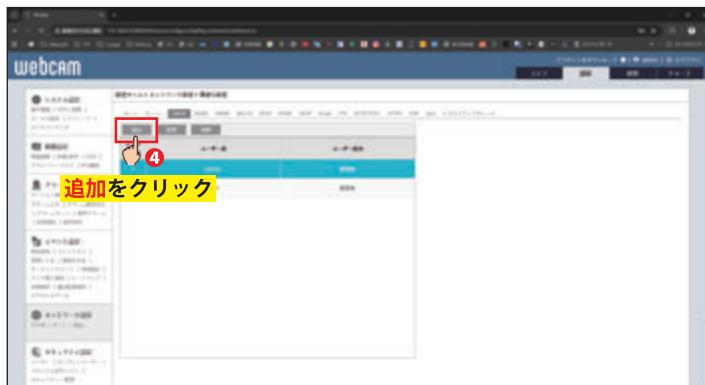
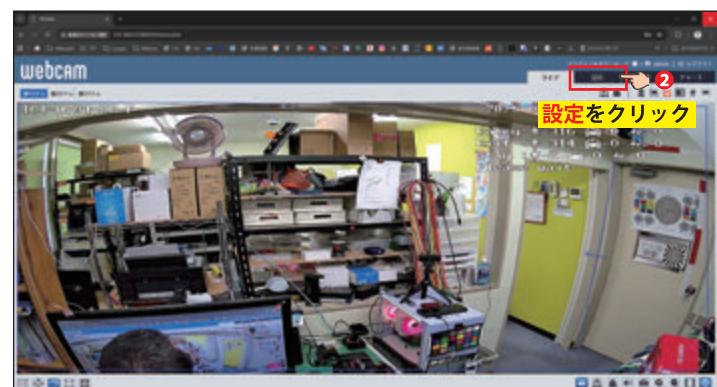
④ ONVIF ユーザー登録ウィンドが開くので、**追加** をクリック

⑤ 登録ウィンドが開くので、ユーザー名、パスワード、パスワード確認を入力し **OK** をクリックします

ユーザー区分は、**管理者または上位ユーザーを選択** して下さい。ノーマルユーザーを選択すると NVR または XVR から可能だった PTZ コントロールを含む一部の操作が全て使用できなくなります。逆に ONVIF 接続の操作を完全にブロックさせたい場合はノーマルユーザーを選択する方法もございます

※ユーザー名にはデフォルトの管理者ユーザー名 (admin) は使用できません。パスワードは同じものでも大丈夫です。

※パスワードは英語 (1 文字以上の大文字) 、数字、特種文字を含む 8 ~ 16 文字以内、パスワード入力欄下のインジケーターが **グリーン** になる事を確認して登録を行って下さい。

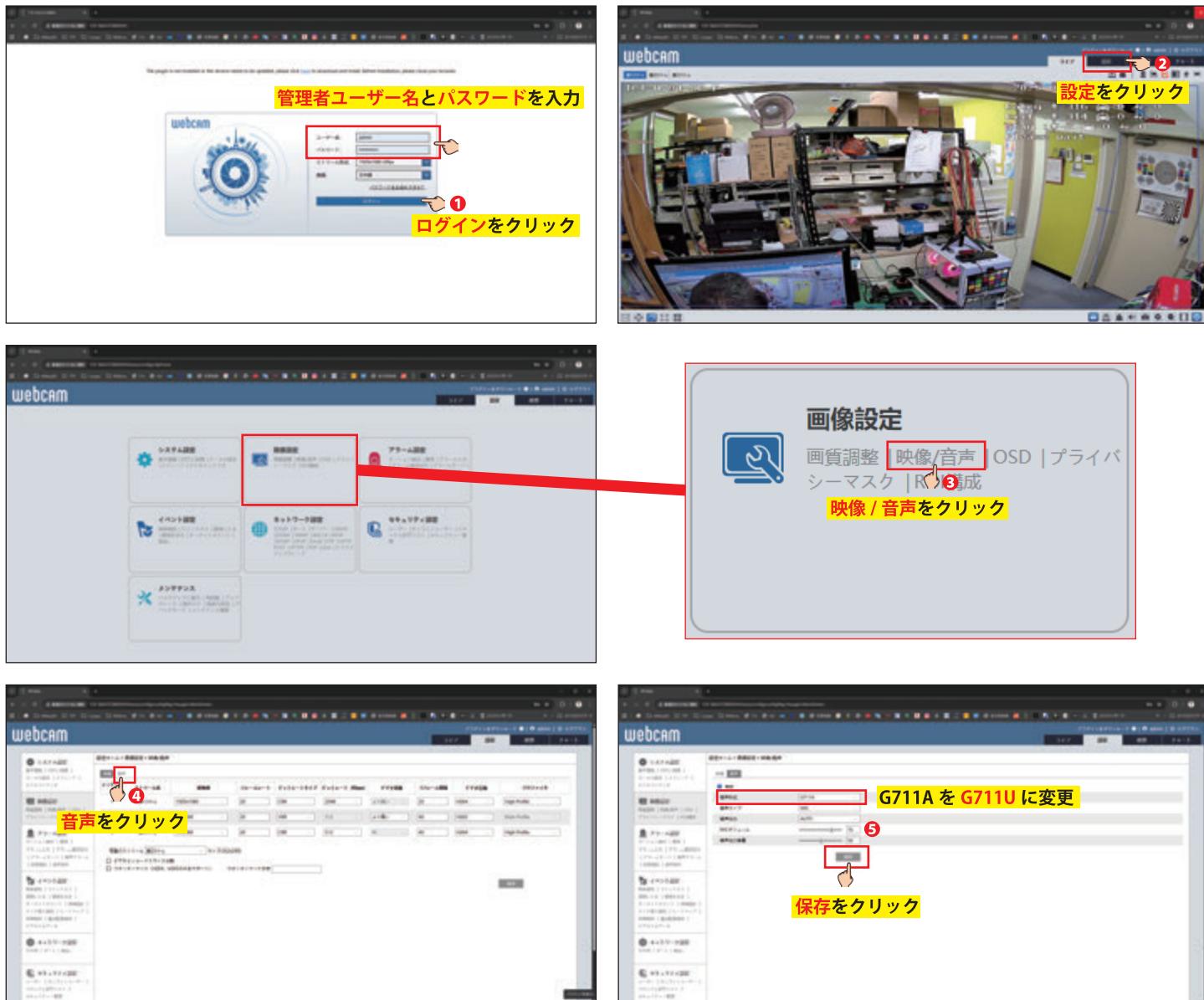


16 マイク（音声）コーデック変更について

本製品 (H700 シリーズ IP カメラ) を純正の NVR (INT-HD7700 シリーズ) 以外の他社 NVR や XVR に ONVIF 接続する場合、接続される NVR や XVR の機種や F/W によってマイク（音声）コーデックの変更が必要な場合があります。

注意 マイク（音声）コーデックの変更には **PC** が必要です。NVR や XVR からは行えません。

- ① IP アドレスで目的の IP カメラに接続し、デフォルトの管理者ユーザー名とパスワードを入力し **ログイン** をクリック
- ② ライブ映像が表示されるので、**設定** をクリック
- ③ 画像設定中の **映像 / 音声** をクリック
- ④ 画像の設定ウィンドが開きますので、**音声** タグをクリック
- ⑤ 音声の設定ウィザードが開きますので、**音声形式** を G711A から **G711U** に変更し **保存** をクリック



17 顔検知・顔認証

17-1 顔検知及び顔認証の注意点

- ① 顔検知（顔検出）・顔認証機能は、**絶対的な精度を求める機能**ではありません。ネットワークカメラ（以降、“IP カメラ”と言う）と録画装置（以降、“NVR”と言う）内での画像の比較や分析、最も認証率の高い結果を求める機能です。
- ② この簡易マニュアル（以降、“本書”と言う場合も有る）は、NVR（INT-HD7700 シリーズ）の一機能である**顔認証機能のみを抜粋**して説明したものであり、NVR 及び IP カメラの各種設定が終了し、ライブや再生、バックアップなどの基本的な操作を把握されている事を前提に進めさせて頂きます。
- ③ 顔認証は**第三者のプライバシーを脅かす可能性**の高い機能です。使用方法によっては法令や条例に触れる可能性が有ります。機能を十分に把握し正しくご利用下さい。万が一、法に触れる行為が発覚した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

17-2 顔検知（顔検出）の設定

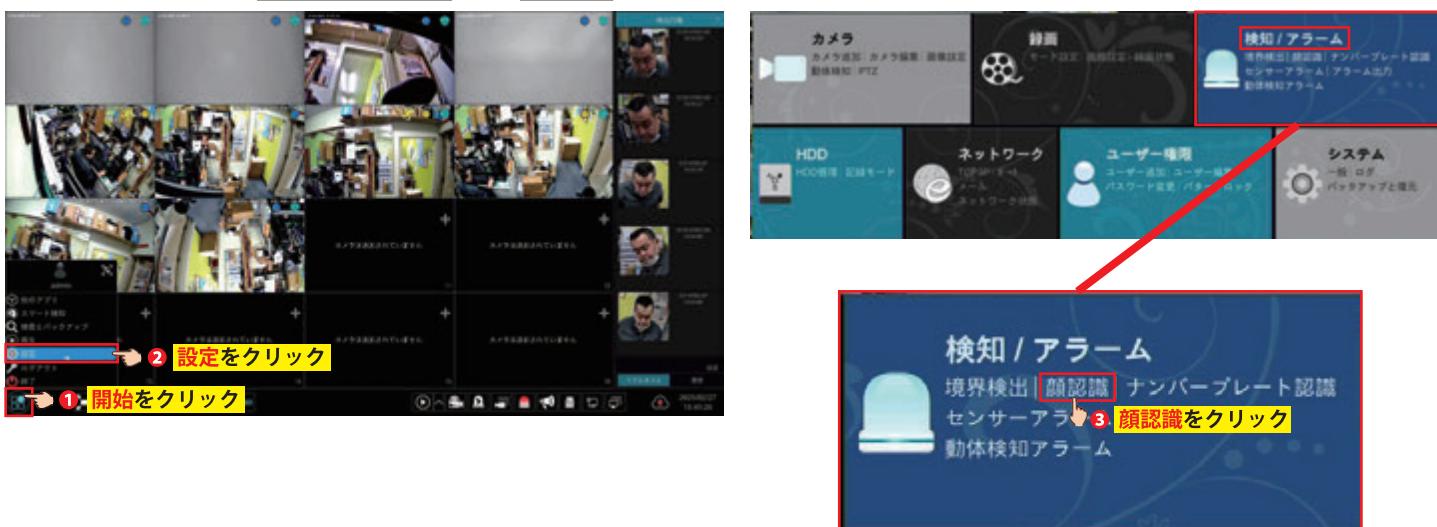
「顔検知」と「顔検出」が有りますが、両者共に英語では「Face Detection」と表し、全く同じ意味と機能です。NVR 上と Web ブラウザ上で異なる表記が見られます。本書では「顔検知」として統一表記いたします。

「NVR からの登録」と「Web ブラウザからの登録」が可能です。Web ブラウザは Google Chrome を推奨しております。

NVR からの登録

注意 顔検知の設定を行う前に、**NVR の再起動**を行って下さい。

- ① ライブウィンドから **開始**をクリックする。
- ② **設定**をクリックする。
- ③ メインメニューの **検知 / アラーム** 内の **顔認識**をクリックする。



Point INT-HD7700 シリーズのメニュー選択は、メインメニューに対しサブメニューや場面によっては上段に横並びで表示されるタグメニューから、直接目的の項目へジャンプする事が出来ます。

- ④ カメラ名から、顔検知を有効化するカメラを選択する。



Web からの登録

- 1 Web ブラウザ (例えば Google Chrome など) から NVR に IP アドレスで接続し、言語設定が必要な場合は、右上の “言語設定” から日本語を選択する。
- 2 NVR のユーザー名とパスワードを入力し **ログイン** をクリックする。
- 3 ライブウィンドが表示されますので、**機能パネル** をクリックする。



- 4 機能パネルの **検知 / アラーム** 内の **顔認識** をクリックする。
- 5 カメラ名から、**顔検知を有効化するカメラ**を選択する。



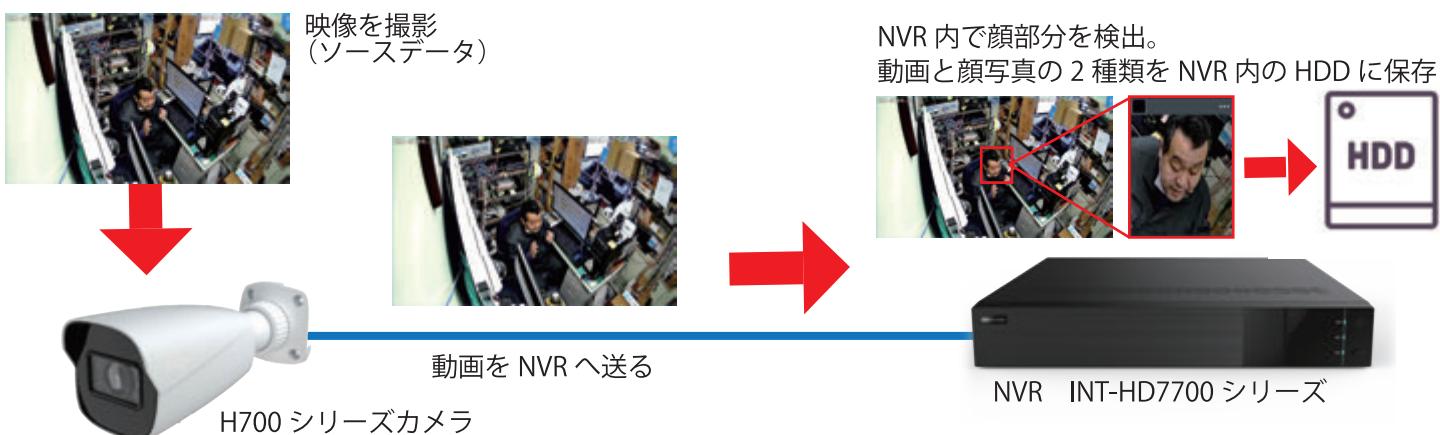
17-3 NVR での検知

カメラで撮影された映像を **NVR 内部で画像処理・分析し、顔のみを抽出しデータ化** します。

メリット 純正以外のカメラ (Onvif 接続) でも一部を除き、映像が映し出されればほぼ全てのカメラを使用する事ができます。その為、接続できれば安価なカメラを使用したり、既存のカメラを使用する事が可能となります。

デメリット 接続されているカメラ全台数の内、**最大 2 台**までしか登録する事ができません。

例えば ch16 モデル (INT-HD7716-16P) で 16 台のカメラが接続されている場合でも、その内最大 2 台までしか NVR での検知に使用 (設定) する事が出来ません。また NVR 内部でリアルタイムに画像処理や分析を行う為、NVR 本体の仕事量が増加し、NVR 本体の動きを重く感じたり取り込み率が低下したり処理に時間と電力を有する為、認証速度が多少低下する場合があります。NVR 検知ではスケジュールのみ設定可能です。



NVR 及び Web からの登録

① NVR からも Web からも操作手順は同じです。“NVR 有効”にチェックを入れる。

② 適用をクリックする。



③ 適用をクリック後しばらくするとカメラの映像が一時的に消え、アラーム情報のアラートが表示されます。これは映像が途切れた（ビデオロス）を異常通知としてポップアップ表示する機能で、OKをクリックするか、そのまま約10秒ほど放置していてもポップアップメッセージは消えます。もし今後このようなポップアップメッセージを表示させない場合は、“今後表示しない”にチェックを入れOKをクリックします。

④ 「リソースが不足している」とメッセージが表示された場合、すでにNVRでの検知を2台登録済み。1台しか登録していない場合はNVR自体のメモリー容量不足を予知している場合があります。メモリーを開放する為、NVRをシャットダウンさせ、電源を取り外し数分して再び電源を再接続しNVR再起動をお試し下さい。それでも改善されない場合、NVRが他の機能でメモリー不足（容量オーバー）が発生している可能性が考えられます。他に設定した内容を完全にOFF（無効）にするには、個別に行うかNVRを工場出荷時にリセットする必要があります。工場出荷時リセットによってハードディスクの内容が消去される事はありません。NVRに登録された全ての設定内容は完全に消去され、復元する事は不可能となり、起動時ウィザードに従い手動設定が必要となります。



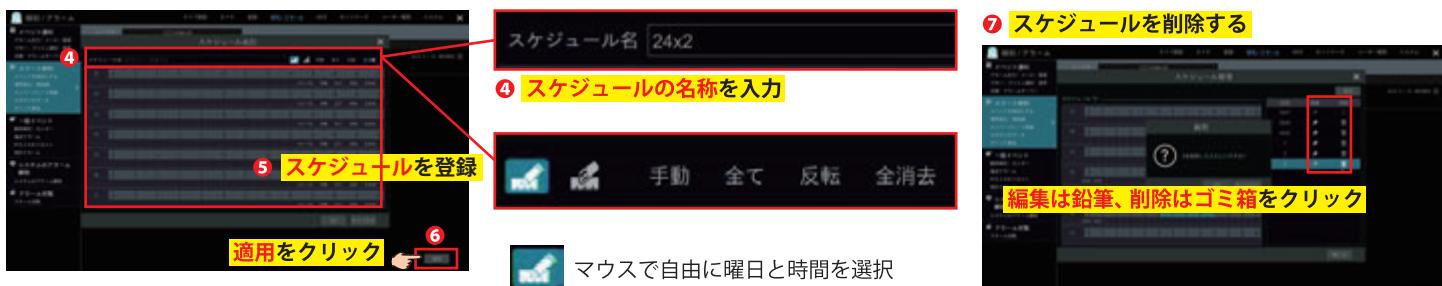
メモ NVR の工場出荷時リセットの手順と再セットアップ (ウィザード) は、メーカーサイトからダウンロード頂く取扱説明書をご覧下さい。

注意 現在は NVR のモデル (チャンネル数) にかかわらず、**NVR での検知 2 台 + IPC での検知 2 台の計 4 台まで有効** にする事が可能です。IPC での検知は **ICVD-H703-2M** のみで使用でき、NVR での検知はそれ以外のカメラで使用する事が出来ます。今後 IPC 対応のカメララインナップが増え、設定によっては IPC での検知台数が 2 台以上に増える予定です。

17-4 スケジュールの設定・登録

スケジュール設定はあらゆる場面で使われます。スケジュール設定に関する項目が出てきた際は、この頁をご参照下さい

- ① NVR での顔検知では作動させる曜日や時間帯を設定する **スケジュール設定** のみが使用できます。スケジュール設定が必要な場合、プルダウンメニューからスケジュールパターンを選択します。デフォルトで「24×7 (24 時間 1 週間)」、「24×5 (24 時間月曜～金曜作動)」、「24×2 (24 時間土日作動)」の 3 通りが登録されています。
- ② **管理** をクリックする事で、プリセットに登録されていないスケジュールをオリジナル作成する事が出来ます。
- ③ **追加** をクリックし新規スケジュールを登録します。
- ④ **スケジュール名** にスケジュールの名称を入力します。
- ⑤ 1 週間のタイムスケジュールを登録します。マウス操作で登録も可能ですが、右上に表示されているアイコンを使い登録する事も可能です。各アイコンの働きは以下の通りです。
- ⑥ スケジュール設定が完了したら、最後に **適用** をクリックします。
- ⑦ オリジナルで登録したスケジュールの鉛筆アイコンをクリックする事で、そのスケジュールを編集する事が出来ます。またゴミ箱アイコンをクリックする事で、そのスケジュールを削除する事が出来ます。但しデフォルトで登録されている「24×7」は編集や削除する事は出来ません。



- | | |
|--|---|
| | マウスで自由に曜日と時間を選択 |
| | 選択された部分を削除 |
| | 曜日と時間帯をテキスト入力 |
| | 全てを選択 |
| | 選択と非選択を反転 |
| | カレンダー上にスケジュールが選択されていた場合、全て削除しスケジュール無しの状態にする |

17-5 IPC での検知

カメラで撮影された映像を **カメラ内部で画像処理と分析を行い、顔のみの静止画を抽出**し NVR に元動画データと共に保存します。

メリット NVR 認証と比べ様々な条件で顔検出を設定する事が出来、認証率も上がり、認証速度も速くなります。

デメリット 接続されているカメラ全台数の内、**最大 6 台**まで登録する事ができます。

例えば ch16 モデル (INT-HD7716-16P) で 16 台のカメラが接続されている場合でも、その内最大 6 台までしか IPC での検知に使用 (設定) する事が出来ます。またカメラ内部でリアルタイムに画像処理や分析を行う為、NVR 本体の仕事量が増加が抑えられる為、NVR 本体のパフォーマンスが軽く感じます。

NVR 検知と IPC 検知の組み合わせの場合、最大で NVR 検知 1 台 + IPC 検知 3 台を登録する事が出来ます。



① 顔認証対応のカメラが接続されているチャンネルには、NVR 有効ではなく IPC 有効のチェックボックスが表示されます。

IPC 有効 にチェックを入れます。

② スケジュールを設定して下さい。デフォルトでは「**24×7 (24 時間 1 週間)**」が選択されています。スケジュール設定の詳細は「p5 3-2 スケジュールの設定・登録」をご参照下さい。

③ NVR 検知ではスケジュール設定のみ可能でしたが、IPC 検知ではルール設定に特化した設定を行う事が出来ます。顔検知のルールに関しては以下の「3-4 顔検知のルール」をご参照下さい。

④ 最後に **適用** をクリックします。

注意 顔認識機能付きのカメラ以外が接続されると NVR は NVR 検知と判断し、IPC 有効は表示されません。また IPC 有効を NVR 有効に、またその逆を意図的に変更する事は出来ません。



■時間：顔検知を行うまでの猶予時間を設定します。3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、1 分、2 分。デフォルト設定は **3 秒**です。

■静止画記録間隔：静止画 (スナップショット) を撮影する時間の間隔を設定します。0.3 秒、0.5 秒、1 秒、2 秒、3 秒、4 秒、5 秒、6 秒、7 秒、8 秒、9 秒、10 秒、15 秒、20 秒、30 秒、40 秒、50 秒、1 分、2 分、4 分、6 分、8 分、10 分。デフォルト設定は **3 秒**です。

■静止画枚数：静止画 (スナップショット) の枚数を入力します。チェックを外すと無制限となり、チェックを入れた場合のみテキストで枚数を指定する事ができます。理論上 19999 枚まで入力は可能です。

■顔露出値：予定機能です。現在は変更する事は出来ません。

■顔サイズ：映像を 100% とした場合の最大と最小の顔サイズを % で指定します。デフォルト値は最大 50%、最小 7% です。必要に応じて変更は可能です。

17-6 处理設定

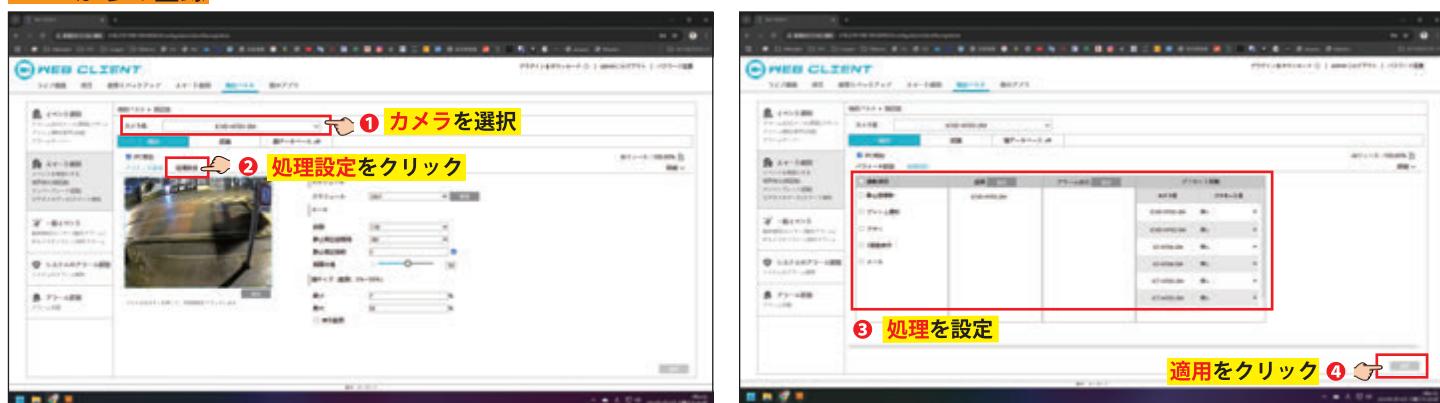
ここでは、**顔検知が成功**した際のリアクション（反応）を設定します。

- ① カメラ名から**目的のカメラを選択**します。
- ② **処理設定**をクリックする。
- ③ ◆連動項目 : 静止画撮影 プッシュ通知 NVR 本体からブザー 分割表示の際に1画面表示（ポップアップ）
 事前に登録したメールへ送信。複数選択可能です。プッシュ通知とメール送信は事前に設定が必要です。
- ◆録画 : 顔検知の際に録画を実施するカメラを設定します。デフォルト設定では現在のカメラが選択されていますが、例えば別のアングルに設置されたカメラでも撮影したい場合は**設定**をクリックしカメラを追加する事が出来ます。
- ◆アラーム出力 : アラーム出力端子に信号を送ります。別にアラーム設定が必要です。
- ◆カメラ名 : PTZ 機能を持つカメラの名称が表示されます。本格的なパン／チル／ズームの PTZ の他、2 モーター内蔵のカメラでズーム操作ができる物も PTZ として認識されます。
- ◆プリセット名 : PTZ カメラのプリセットを登録します。顔検知が成功した際、あらかじめ決めていたプリセット位置にカメラを向ける事が出来ます。プリセットを持たないカメラが接続されている場合、“無し”が表示されます。
- ④ 最後に**適用**をクリックする。

NVR からの登録



Web からの登録



18 顔データベースの作成

顔検知で収集した顔データを元に**顔データベース**を作成します。ここに登録されたデータから特定の人物を探し求めたり、リアルタイムに通知を出したりします。またスマホ タブレット デジカメなどで撮影された顔写真、プリント写真やチラシなどの印刷物の顔写真をパソコンに取り入れ一定の条件に加工し、顔データベースを作る事が出来ます。

メモ NVR からの直接テキスト入力は**英数大小文字と一部の記号のみ**です。Web ブラウザ**であれば日本語入力対応**な為、ここから先は Web ブラウザ (Google Chrome) での操作手順も合わせて説明します。

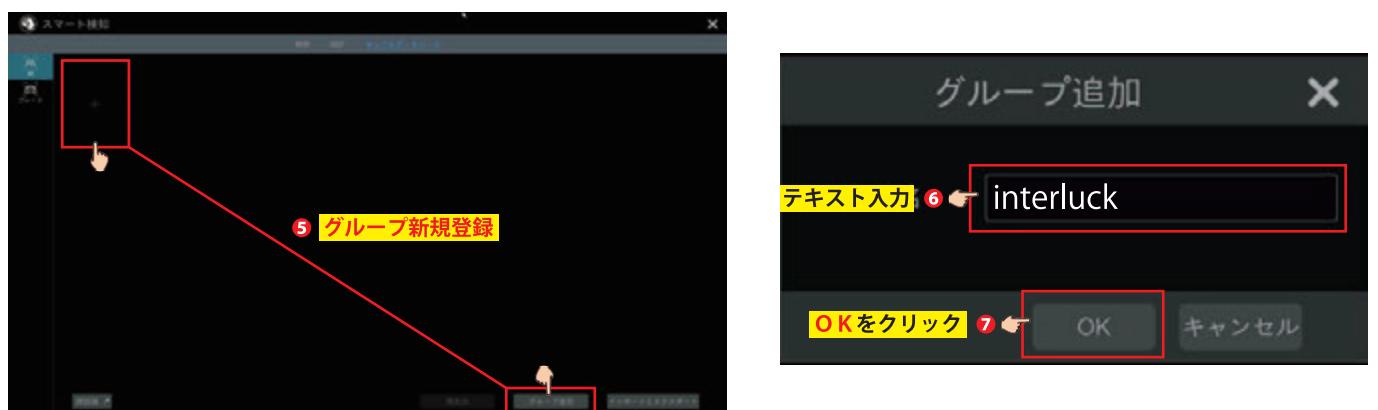
18-1 顔検知で収集した顔データの取り込み

NVRへ直接登録

- ① ライブウィンドから **開始** をクリックする。
- ② **設定** をクリックする。
- ③ メインメニューを表示させ **検知 / アラーム** 内の **顔認識** をクリックする。
- ④ **顔データベース** をクリックする。



- ⑤ 顔データベースを作るには必ずグループを作り、その**グループ**に**顔データ**を**登録**します。グループを新規作成する場合、**グループ追加** または **+** をクリックします。
すでに登録するグループが存在している場合は次の**⑦**へ進んで下さい。
- ⑥ グループ名登録のウィンドが表示されますので、入力欄をクリックするとディスプレイキーボードが表示されますのでグループ名を入力します。NVR からグループ名を入力する際は数字と英文大文字・小文字と一部の記号となります。日本語での入力はパソコンから Web ブラウザで行って下さい。
- ⑦ **OK** をクリックしグループ登録は完了です。



- ⑧ グループが登録された事を確認し、グループ名の右端に有る「展開 / 折りたたむ」の ▽ アイコンをまたは、**顔追加** をクリックし、顔データベース作成を開きます。
- ⑨ **追加** または **顔追加** をクリックします。



- ⑩ 個人情報と顔写真を登録するウィンドが開くので、**顔を選択** をクリックします。



注意 最初に顔写真を登録し、その後に個人情報を登録します。先に個人情報の「名」を入力し、後で顔写真を登録すると、「名」が消去されてしまい、改めて「名」を再入力する必要が発生します。

- ⑪ 画像を検索するカメラ「全て」にチェックを入れます。
- ⑫ 検索方法を選択します。
- 「日」をクリックし「日付」を選択します。
- 「週」をクリックし「週」を選択します。週は月曜から日曜単位です。
- 「月」をクリックし「月」を選択します。
- 「カスタムタイム」をクリックすると「期間指定ウィンド」が表示されます。検索開始と終了期間を設定します。但し選択可能な期間は **1ヶ月(31日以内)間** です。
- 「今日」1回クリックで今日の日付(1日分)が表示されます。
- ⑬ 検索する日付を選択します。⑪で選択された内容によって選択できる日付が変化します。
- ⑭ 検索条件の設定が全て完了したら、最後に**検索**をクリックします。



⑯ 条件に該当する顔写真が新しい物からサムネイル表示されます。NVR では 1 ページに 24 枚の顔写真が表示されます。複数ページに渡って表示されますので、ページ移動をし出来るだけ **真正面を向いた顔がはっきり写っている写真 1 枚にチェック** を入れます。

⑰ **選択** をクリックします。



メモ 顔写真の右上に アイコンが付いた写真を選択して下さい。 アイコンが無い写真の場合、サイズ・解像度・画質が悪く登録に適さない場合があります。

注意 ここで表示される顔写真は、「3. 顔検知(顔検出)の設定」で NVR からの登録及び IPC の登録で設定された情報が表示されます。ここで何台のカメラを NVR または IPC から登録を有効にしたかにより、表示件数が異なります。

⑯ 登録された顔写真の個人情報を入力します。

「名」は**絶対入力必要な項目**です。外部データの場合、Web から条件が整えば自動でファイル名が「名」に入ります。以下の項目は無理に登録する必要は有りません。任意で登録して下さい。

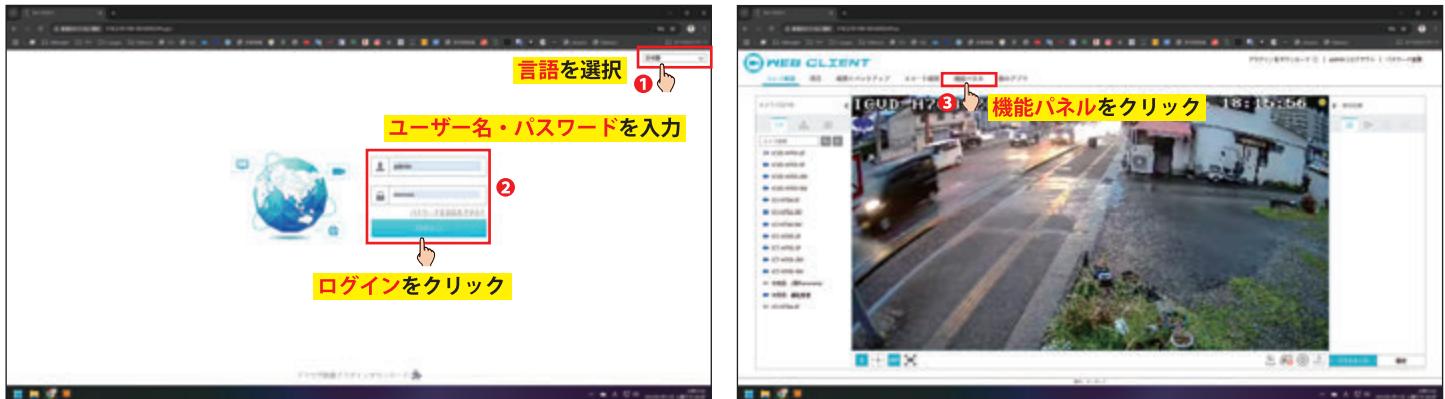
- ・性別：男女から選択
- ・生年月日：直接またはカレンダー入力
- ・出身地：自由入力
- ・ID タイプ：変更不可、
- ・ID ナンバー：自由入力
- ・モバイル：数字のみ自由入力（“携帯番号”などの数字を入力）
- ・No.：数字のみ自由入力（“社員番号”などの数字を入力）
- ・コメント：自由入力
- ・グループ：登録済みのグループを選択します。

⑰ **フルエンタリー → 閉じる** をクリックします。



Web からの登録

- 1 Web ブラウザ（例えば Google Chrome など）から NVR に**ローカル IP アドレスで接続**し、言語設定が必要な場合は、右上の言語設定から**日本語**を選択します。
- 2 NVR のユーザー名とパスワードを入力し**ログイン**をクリックします。
- 3 ライブウィンドが表示されますので、**機能パネル**をクリックします。



- 4 機能パネルの**検知 / アラーム**内の**顔認識**をクリックします。
- 5 **顔データベース**をクリックします。



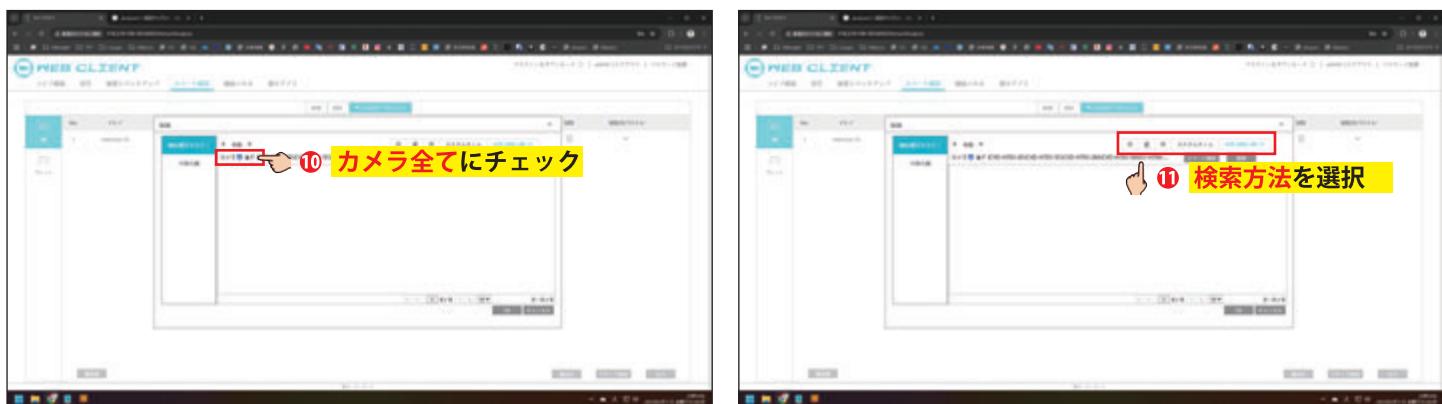
- 6 顔データベースを作るには必ずグループを作り、その**グループに顔データを登録**します。グループを新規作成する場合、**グループ追加**をクリックします。すでに登録するグループが存在している場合は⑧へ進んで下さい。
- 7 グループ名登録のウィンドが表示されるので、グループ名を入力します。Web ブラウザからは日本語入力が可能です。入力が完了したら**OK**をクリックします。



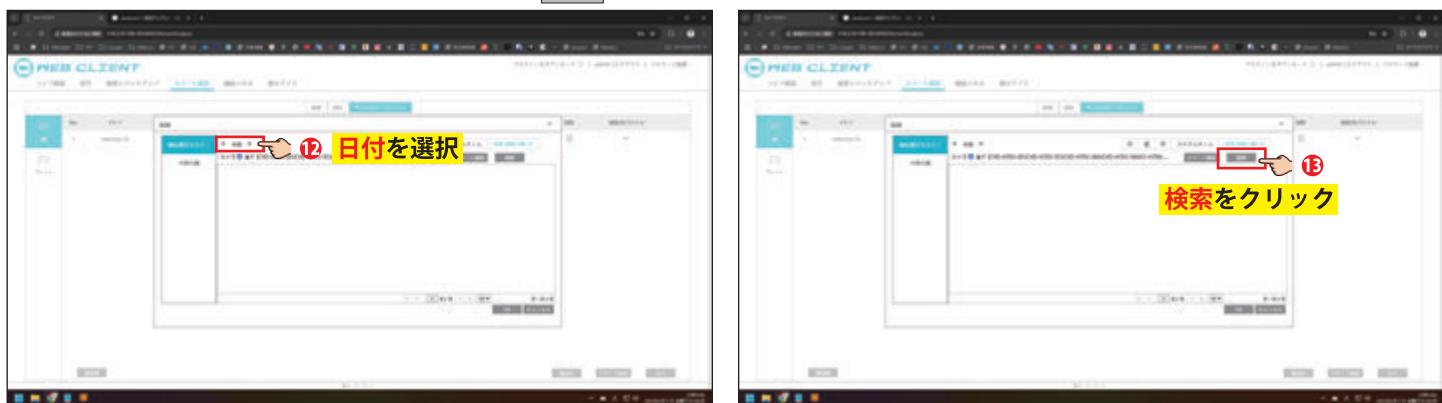
- ⑧ グループが登録された事を確認し、**顔追加**をクリックし顔データベース作成を開きます。
⑨ 個人情報と顔写真を登録するウィンドが開くので、**顔を選択**をクリックします。



- ⑩ 画像を検索するカメラ「全て」にチェックを入れます。
⑪ 検索方法を選択します。
「日」をクリックし「日付」を選択します。
「週」をクリックし「週」を選択します。週は月曜から日曜単位です。
「月」をクリックし「月」を選択します。
「カスタムタイム」をクリックすると「期間指定ウィンド」が表示されます。検索開始と終了期間を設定します。
但し選択可能な期間は**1ヶ月(31日以内)**間です。
「今日」1回クリックで今日の日付(1日分)が表示されます。



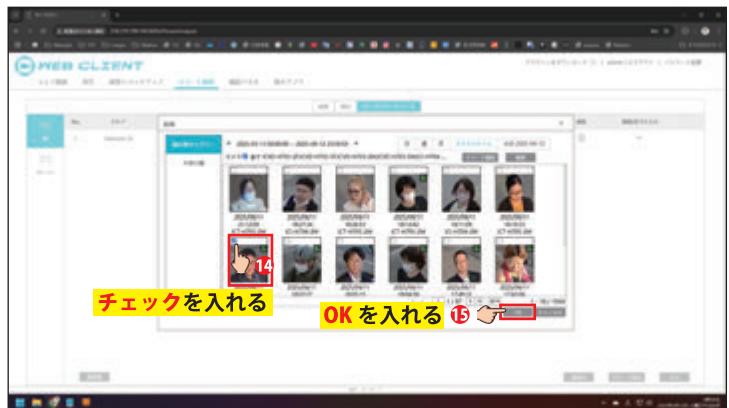
- ⑫ 検索する日付を選択します。**⑪**で選択された内容によって選択できる日付が変化します。
⑬ 検索条件の設定が全て完了したら、最後に**検索**をクリックします。



⑭ 条件に該当する顔写真が新しい物からサムネイル表示されます。Web では 1 ページに 18 枚の顔写真が表示されます。複数ページに渡って表示されますので、ページを移動し、出来るだけ**真正面を向いた顔がはっきり写っている写真 1 枚にチェック**を入れる。

⑮ **OK** をクリックする。

顔写真の右上に  アイコンが付いた写真を選択します。
 アイコンが無い写真の場合、サイズ・解像度・画質が悪く登録に適さない場合があります。

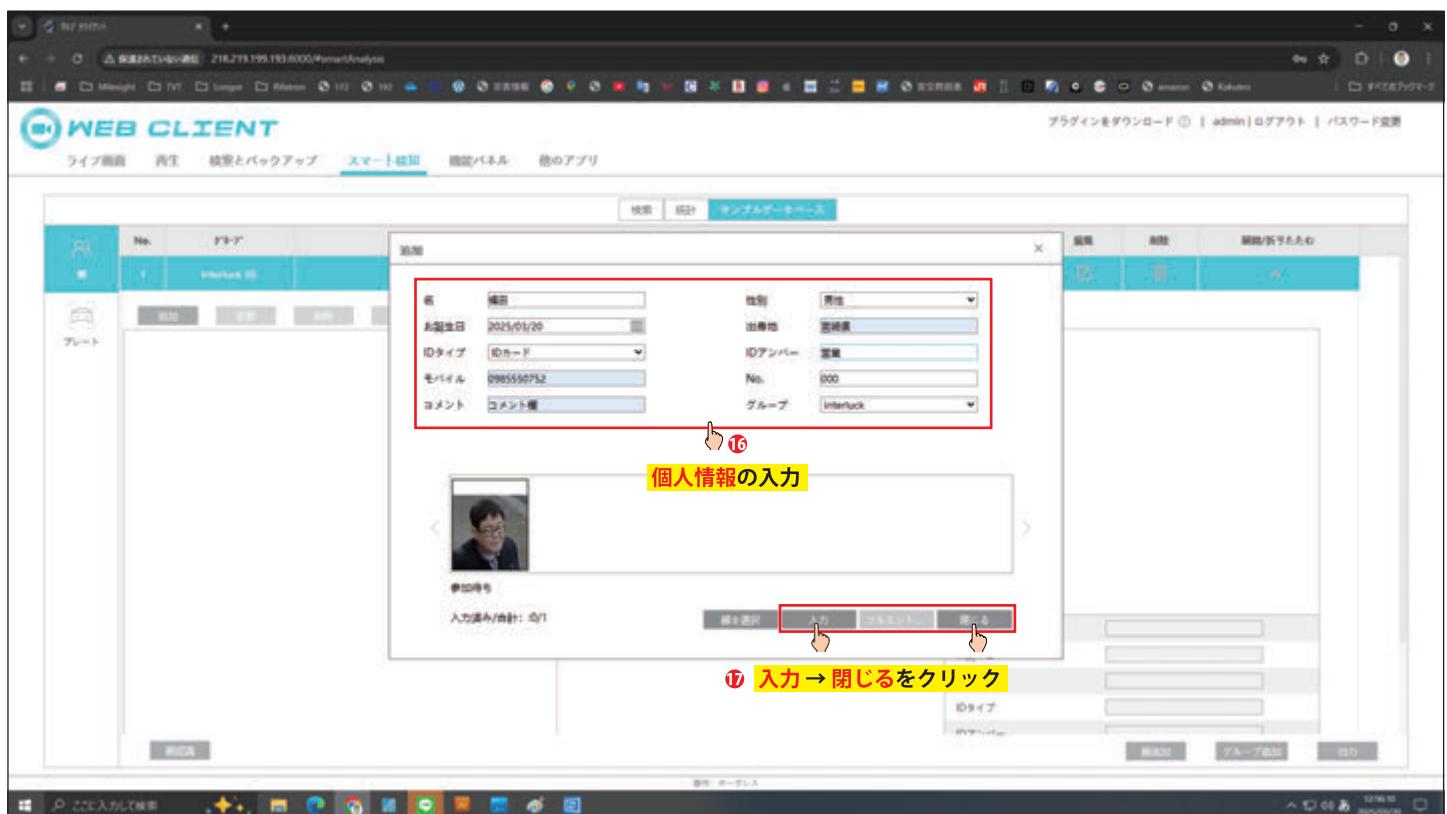


⑯ 登録された顔写真の人物の個人情報を入力します。

「名」は**絶対入力必要な項目**です。外部データの場合、自動でファイル名が「名」に代入されます。以下の項目は無理に登録する必要は有りません。任意で登録して下さい。

- ・性別：男女から選択
- ・生年月日：直接またはカレンダー入力
- ・出身地：自由入力
- ・ID タイプ：変更不可
- ・ID ナンバー：自由入力 (本来は "ID カードの色" などを入力)
- ・モバイル：数字のみ自由入力 ("携帯番号" などの数字を入力)
- ・No.：数字の自由入力 ("社員番号" などの数字を入力)
- ・コメント：自由入力
- ・グループ：登録済みまたは新規登録のグループを選択します。

⑰ 最後に**入力 → 閉じる** をクリックします。



18-2 外部データの取り込み

顔検知で収集された顔データでは無く、スマホやデジカメで撮影された写真データ、プリント写真や印刷物をスキャンし、一定の条件で顔写真を加工し、NVR 内の RAM に保存します。

外部データをそのまま使用する事は出来ず、**顔認証用のデータに変換**する必要があります。この変更作業は自動化されておらず、PC を使い手動での作業が必要となります。

【条件】

- ・画像フォーマット：jpeg または jpg 形式
- ・ファイルサイズ：128×128 Pixel ~ 1920×1920 Pixel 以内
- ・ファイル容量：70KB 以下

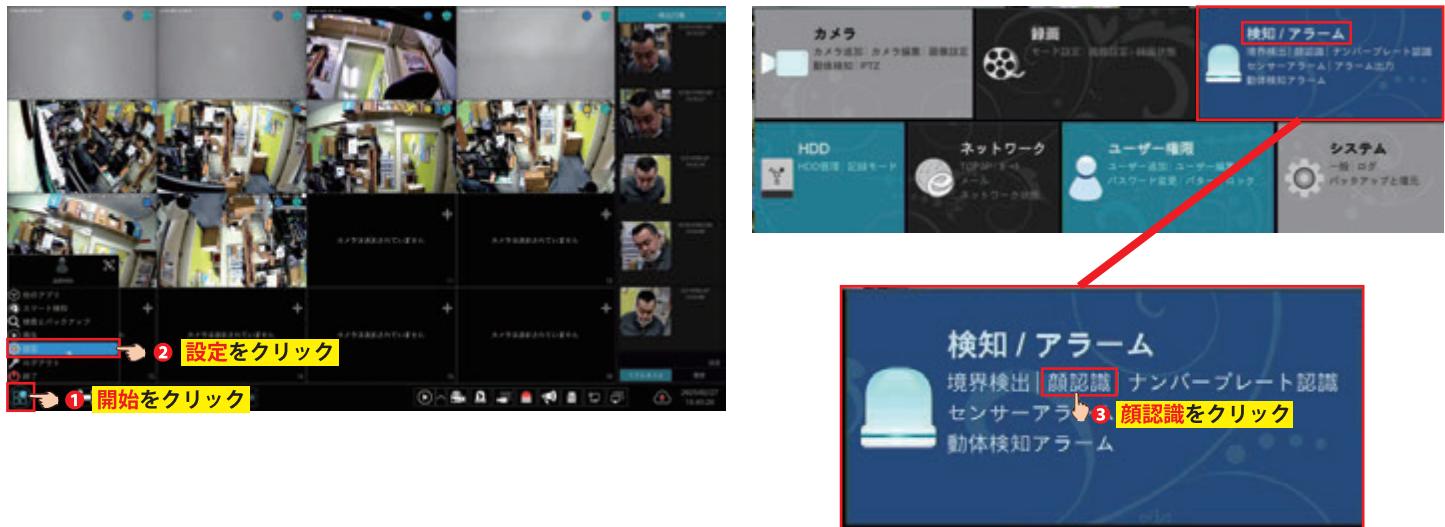
NVRへ直接取り込み

外部データの入ったUSBメモリーをNVRのUSBポートに接続します。

① ライブウィンドから **開始** をクリックする。

② **設定** をクリックする。

③ メインメニューを表示させ検知 / アラーム内の **顔認識** をクリックする。



④ **顔データベース** をクリックします。

⑤ 顔データベースウィンドの **顔追加** をクリックします。



⑥ 顔写真と個人情報を登録します。最初に**顔写真を登録**し、その後に個人情報を登録し、**顔を選択**をクリックします。



注意 最初に**顔写真を登録**し、その後に個人情報を登録します。先に個人情報の「**名**」を入力し、後で顔写真を登録すると、「**名**」が消去されてしまい、改めて「**名**」を再入力する必要が発生します。

- ⑦ **外部の顔**をクリックします。
- ⑧ USB メモリー内に入っている加工済みの顔データファイルが表示されます。画像ファイル (jpg) が 1 つの場合はクリックし画像ファイルを選択します。全ての画像ファイルを選択する場合はここでは選択せず、次の⑨に進んで下さい。
- ⑨ 選択したファイルが 1 つの場合は**選択**をクリックします。全てのファイルを一度に読み取る場合は**全て**をクリックします。
- ⑩ 登録された顔写真の個人情報を入力します。外部データを読み取った場合、ファイル名が「名」に入ります。必要に応じて変更して下さい。「名」は**絶対入力必要な項目**です。入力内容の詳細は、p9 の⑯をご覧下さい。
- ⑪ **フルエントリー→閉じる**をクリックします。



Web から取り込み

- ① Web ブラウザ (例えば Google Chrome など) から NVR に**ローカル IP アドレスで接続**し、言語設定が必要な場合は、右上の言語設定から**日本語**を選択します。
- ② NVR のユーザー名とパスワードを入力し**ログイン**をクリックします。
- ③ ライブウィンドが表示されますので、**機能パネル**をクリックします。

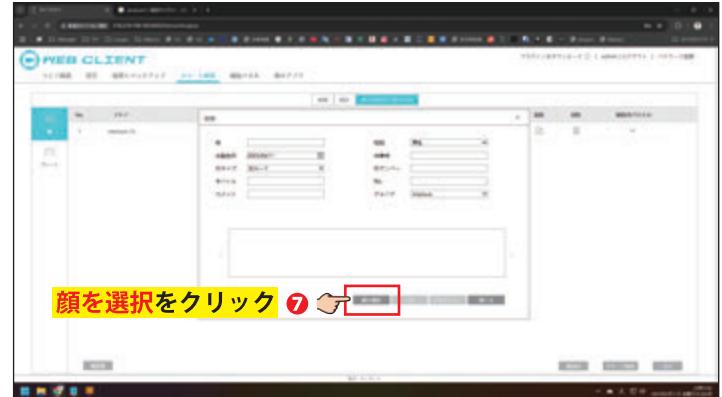
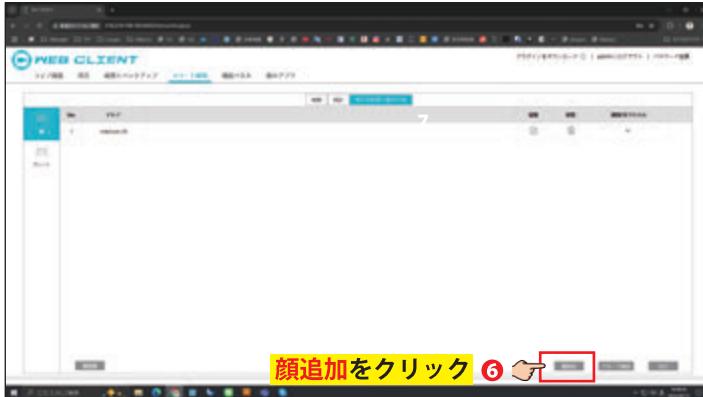


- ④ 機能パネルの**検知 / アラーム**内の**顔認識**をクリックします。
- ⑤ **顔データベース**をクリックします。



⑥ **顔追加** をクリックし顔データベース作成を開きます。

⑦ 個人情報と顔写真を登録するウィンドが開くので、**顔を選択** をクリックします。



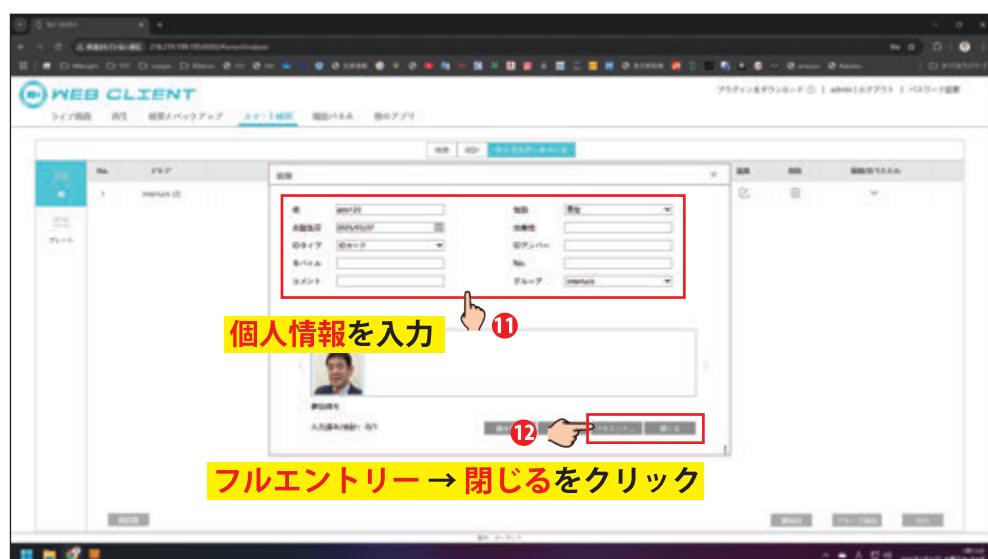
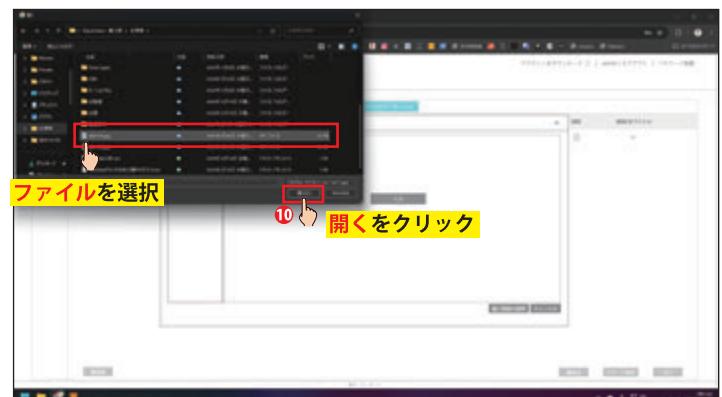
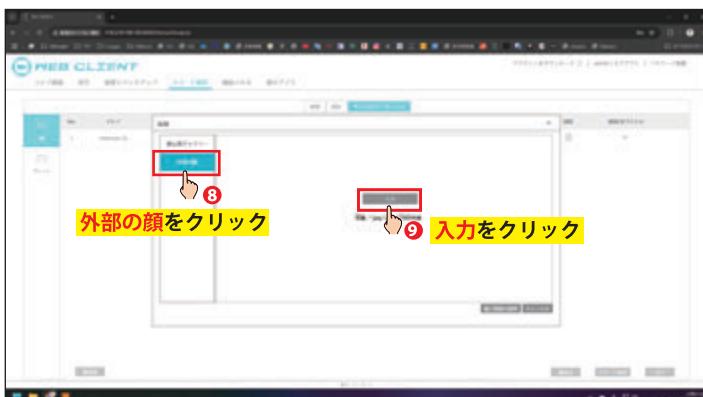
⑧ **外部の顔** をクリックします。

⑨ **入力** をクリックします。

⑩ ファイル選択ウィンドが開きますので、作成した顔データ (.jpg) を選択し **開く** をクリックします。

⑪ 個人情報を入力します。入力内容の詳細は、p9 の⑯をご覧下さい。

⑫ フルエントリー → **閉じる** をクリックします。



19 顔認証

顔認識（顔認証）では、防犯カメラで撮影されハードディスクに録画保存されている元データの中から、目的の顔データベースの人物と一致する者を探し出す技術で、一般的には「顔認証」と言われていますが、本製品では「顔認識」と言う機能となります。

19-1 NVR での顔認証

- ① ライブウィンドから **開始** をクリックする。
- ② **スマート検知** をクリックする。
- ③ **顔で** をクリックします。
- ④ **+** をクリックします。



- ⑤ 目的の顔（写真）にチェックを付けます。
- ⑥ **顔を選択** をクリックします。クリックと同時に今日（0:00～23:59）の録画データを検索し、結果を表示します。
- ⑦ デフォルトでの認証率は **75%** です。該当するデータが無い場合、**認証率を下げる** 再検索をお試し下さい。



- ⑧ デフォルトの検索対象期間は **今日**（0:00～23:59）です。対象期間を延ばして再検索をお試し下さい。
「日」をクリックし、特定の日付を選択。
「週」をクリックし、特定の週を選択。※週は月曜から日曜です。
「月」をクリックし、特定の月を選択。
「カスタマイズ」をクリックし、検索期間を指定。
※選択可能期間は最大 1 ヶ月（31 日以内）です。
※カスタマイズをクリックすると期間指定のウィンドが表示されます。
「今日」をクリックすると、クリックした当日が表示されます。



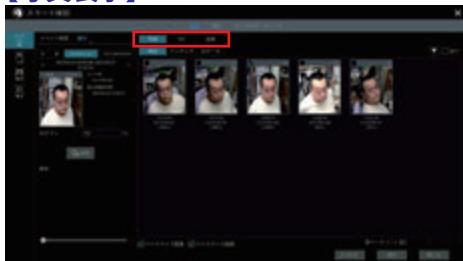
表示形式切替

【写真】標準的な表示モードで、検索結果の写真がサムネイル表示されます。画像をクリックする事で、顔写真が撮影された際の動画が表示されます。

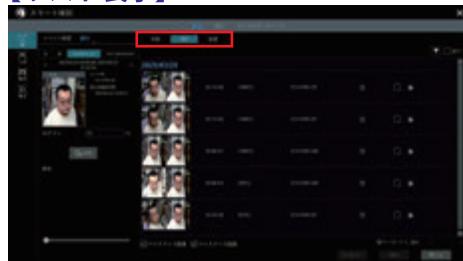
【リスト】検索結果と顔データベースの写真を横並びにリスト表示します。画像をクリックする事で、顔写真が撮影された際、動画が存在する場合は再生させる事が出来ます。静止画のみの場合も有ります。

【追跡】撮影されたカメラ順に再生します。NVR ではカメラ名をクリックすると撮影された日時が表示されます。

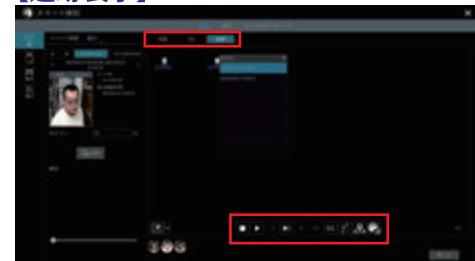
【写真表示】



【リスト表示】



【追跡表示】

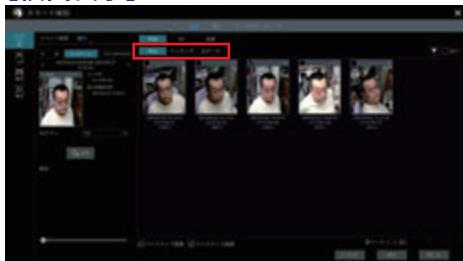


【検出】※写真表示で表示されます。標準的な表示モードで、検索結果の写真がサムネイル表示されます。画像をクリックする事で、顔写真が撮影された際の動画が表示されます。

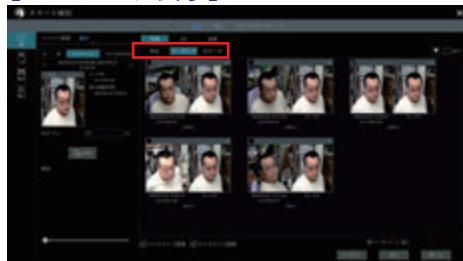
【マッチング】※写真表示で表示されます。検索結果と顔データベースの写真を並べてサムネイル表示します。画像をクリックする事で、顔写真が撮影された際の動画が表示されます。

【パノラマ】※写真表示で表示されます。顔写真では無く、その顔写真が撮影された全体の映像が表示されます。画像をクリックする事で、顔写真が撮影された際、動画が存在する場合は再生させる事が出来ます。静止画のみの場合も有ります。

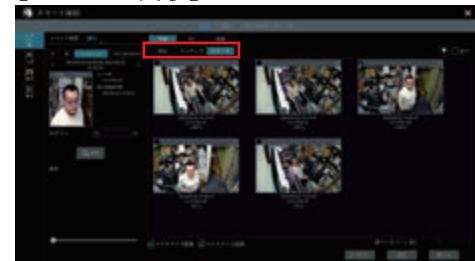
【検出表示】



【マッチング表示】

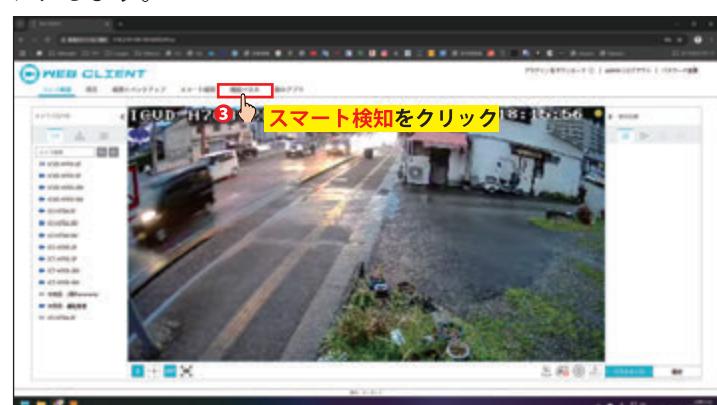
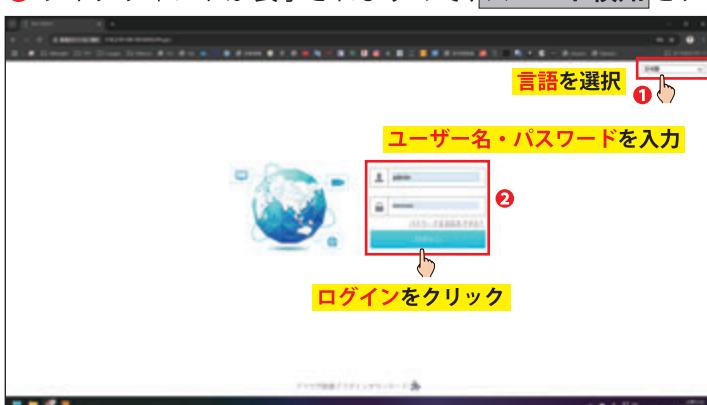


【パノラマ表示】

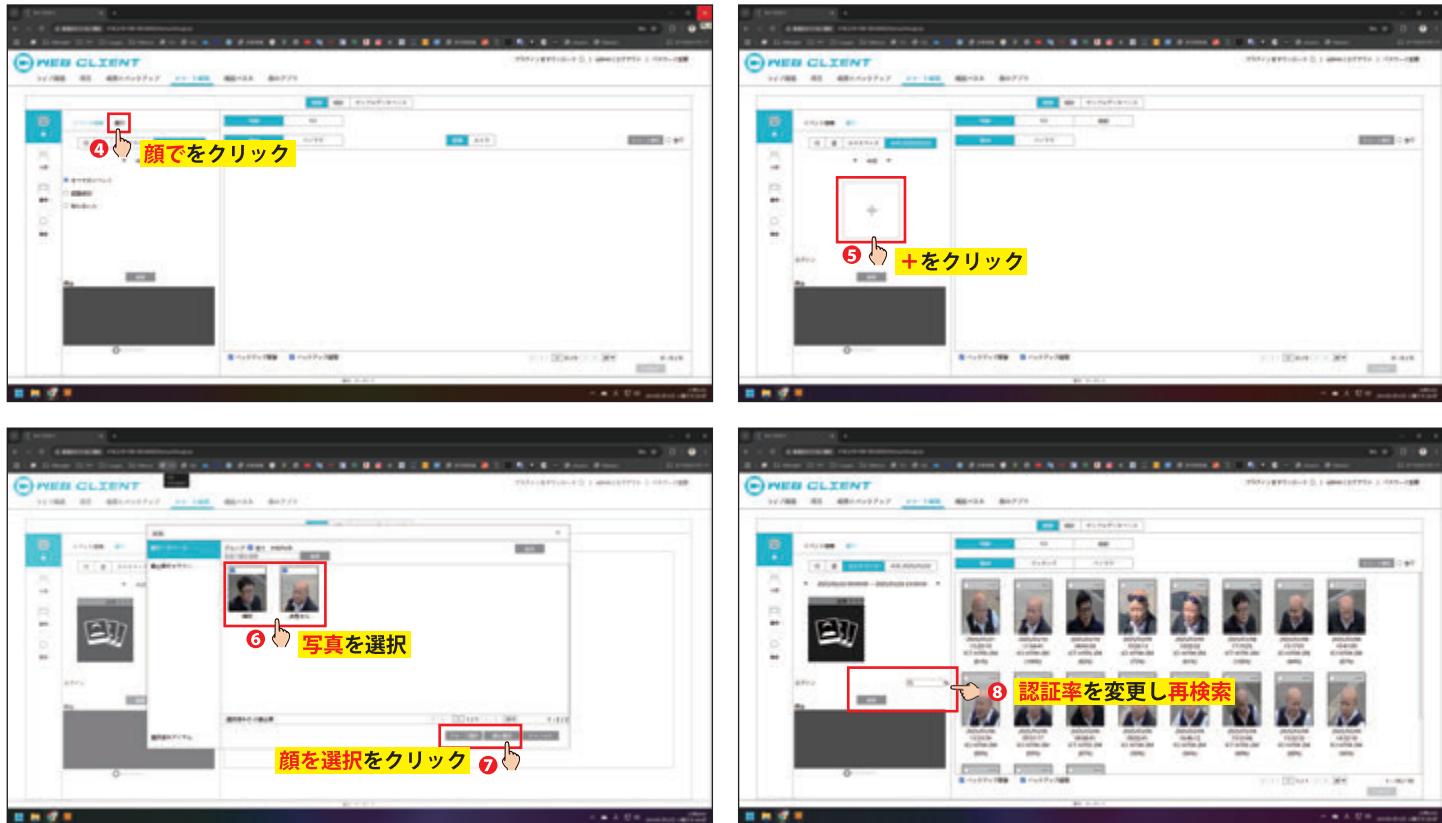


19-2 Web ブラウザでの顔認証

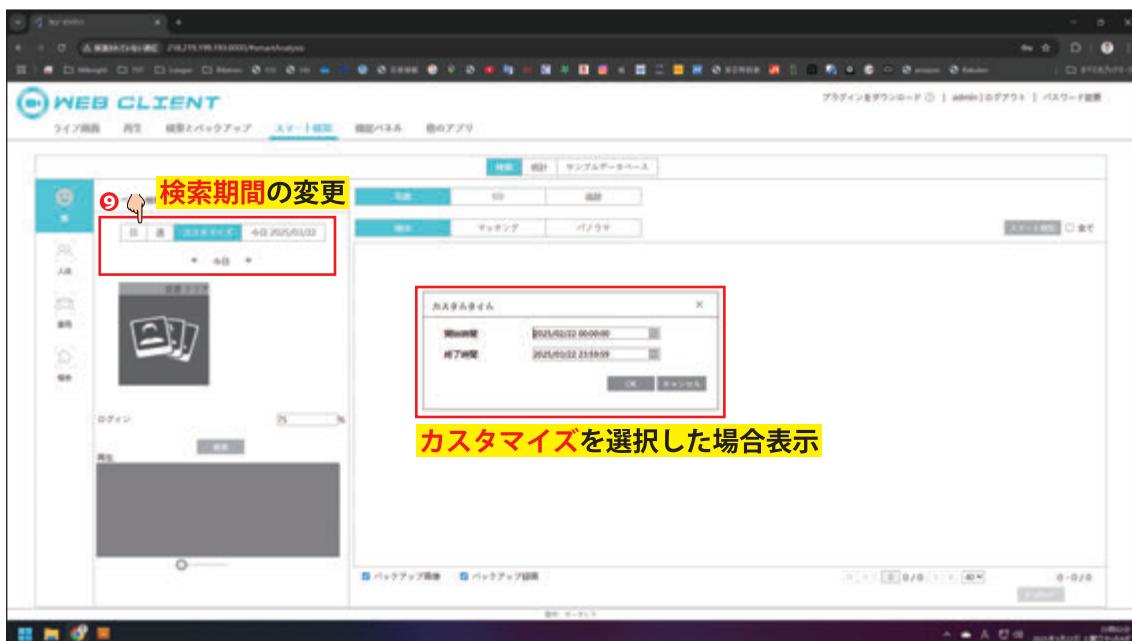
- ① Web ブラウザ（例えば Google Chrome など）から NVR に IP アドレスで接続し、言語設定が必要な場合は、右上の言語設定から日本語を選択します。
- ② NVR のユーザー名とパスワードを入力し ログイン をクリックします。
- ③ ライブウィンドウが表示されますので、スマート検知をクリックします。



- ④ **顔で**をクリックします。
- ⑤ **+**をクリックします。
- ⑥ 検索する写真にチェックを入れます。
- ⑦ **顔を選択**をクリックします。グループで検索したい場合は**グループ選択**をクリックします。
- ⑧ デフォルトでの認証率は**75%**です。該当するデータが無い場合、認証率を下げる再検索をお試し下さい。



- ⑨ デフォルトの検索対象期間は**今日** (0:00 ~ 23:59) です。対象期間を延ばして再検索をお試し下さい。
 「**日**」をクリックし、特定の日付を選択。
 「**週**」をクリックし、特定の週を選択。**※週は月曜から日曜です。**
 「**月**」をクリックし、特定の月を選択。
 「**カスタマイズ**」をクリックし、検索期間を指定。**※選択可能期間は最大1ヶ月(31日以内)です。**
※カスタマイズをクリックすると期間指定のウィンドウが表示されます。
 「**今日**」をクリックすると、クリックした当日が表示されます。

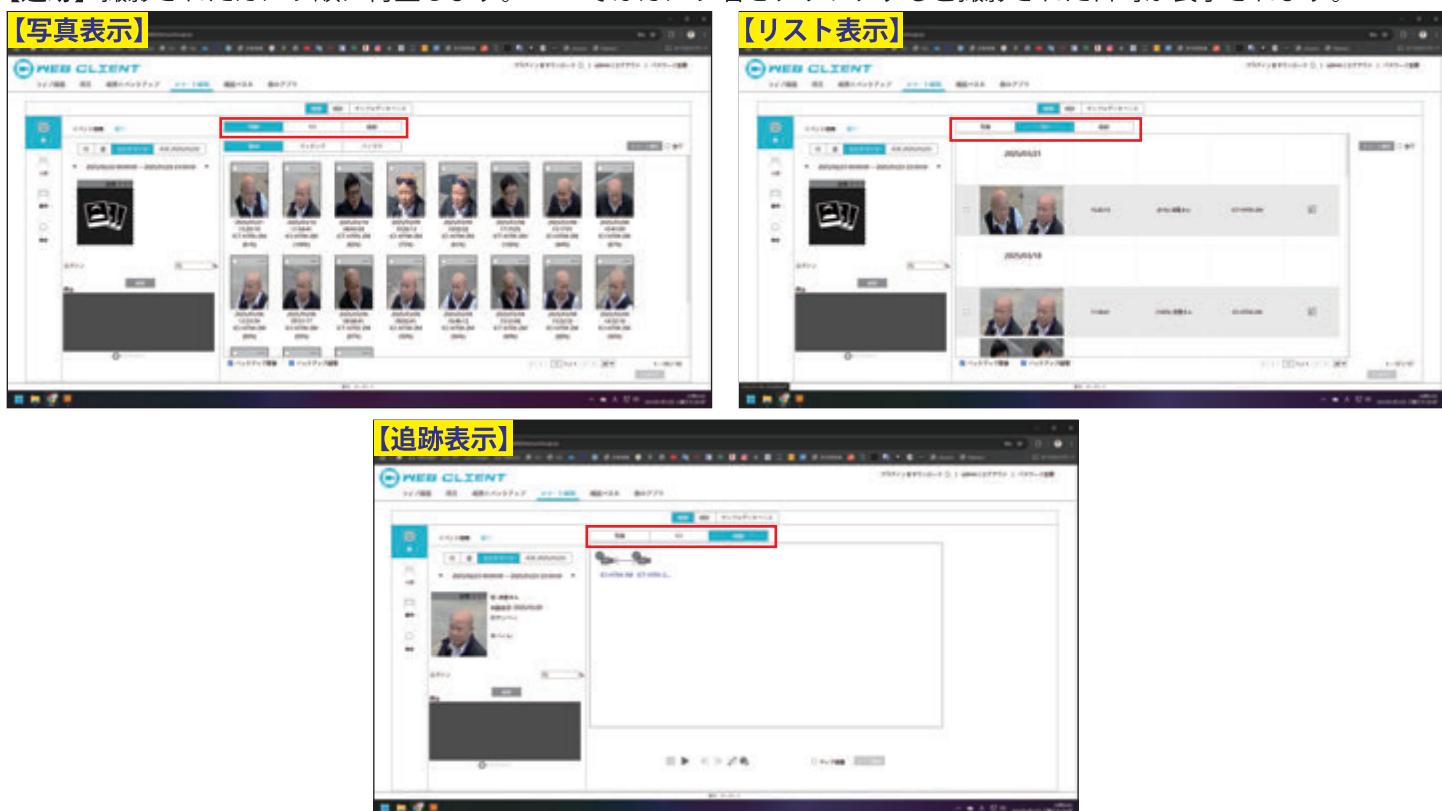


表示形式切替

【写真】標準的な表示モードで、検索結果の写真がサムネイル表示されます。画像をクリックする事で、顔写真が撮影された際の動画が表示されます。

【リスト】検索結果と顔データベースの写真を横並びに**リスト表示**します。画像をクリックする事で、顔写真が撮影された際、動画が存在する場合は再生させる事が出来ます。静止画のみの場合も有ります。

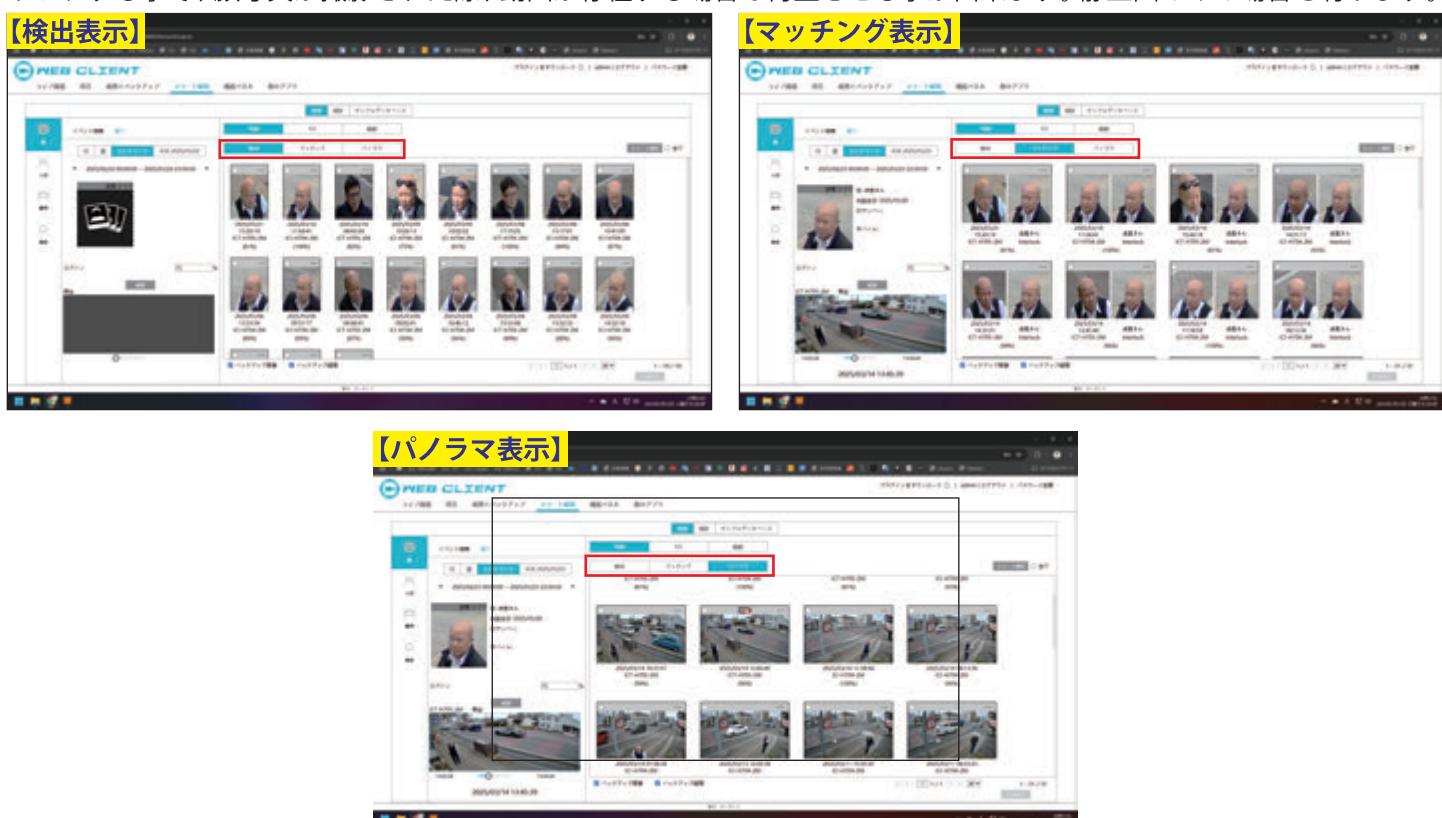
【追跡】撮影されたカメラ順に再生します。NVR ではカメラ名をクリックすると撮影された日時が表示されます。



【検出】※写真表示で表示されます。標準的な表示モードで、検索結果の写真がサムネイル表示されます。画像をクリックする事で、顔写真が撮影された際の動画が表示されます。

【マッチング】※写真表示で表示されます。検索結果と顔データベースの写真を並べて**サムネイル表示**します。画像をクリックする事で、顔写真が撮影された際の動画が表示されます。

【パノラマ】※写真表示で表示されます。顔写真では無く、その顔写真が撮影された**全体の映像**が表示されます。画像をクリックする事で、顔写真が撮影された際、動画が存在する場合は再生させる事が出来ます。静止画のみの場合も有ります。



20 その他の顔認識・顔認証

これまでの顔認識は「ターゲットに対し録画映像から手動で検索する」でしたが、ここで設定する認識は、顔検知が有効になっていて、顔データベースに登録されている人を検知したらリアルタイムに通知したり、逆に顔データベースに登録されていない人を検知したらリアルタイムに通知する機能です。

NVRからの設定

- ① ライブウィンドから **開始** をクリックする。
- ② **設定** をクリックする。
- ③ メインメニューを表示させ検知 / アラーム内の **顔認識** をクリックする。



- ④ カメラ名から、顔検知を有効化するカメラを選択します。



⑤ **認識**をクリックする。

⑥ 「認識成功」か「知らない人」、もしくはその両方にチェックを入れる。

⑦ それぞれのパロメーターを登録する。

「認識成功」 顔データベースに登録されている人を検知した際に通知。

- ・フェイスグループ：全てまたはカメラを指定。※デフォルトでは選択されていません。

- ・スケジュール：デフォルトは「無し」(OFF) ですので、スケジュールを登録。

- ・運動項目：プッシュ通知 ブザー 1画面表示 メール メッセージ表示をチェック。※複数選択可

「知らない人」 顔データベースに登録されていない人を検知した際に通知。

- ・スケジュール：デフォルトは「無し」(OFF) ですので、スケジュールを登録。

- ・アクション：プッシュ通知 ブザー 1画面表示 メール メッセージ表示をチェック。※複数選択可

⑧ 最後に **適用** をクリックする。

※ 写真は認識成功のものです。



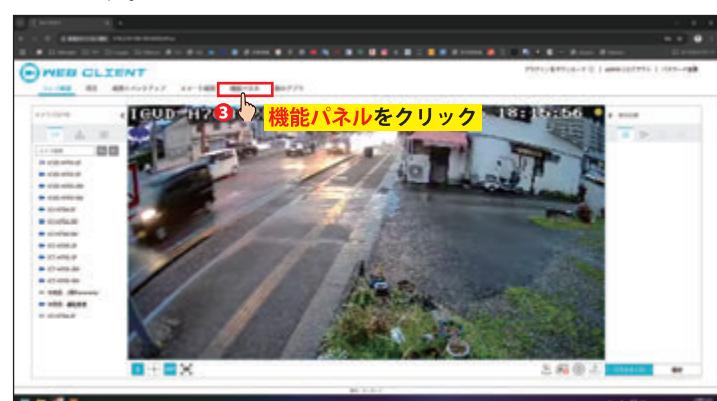
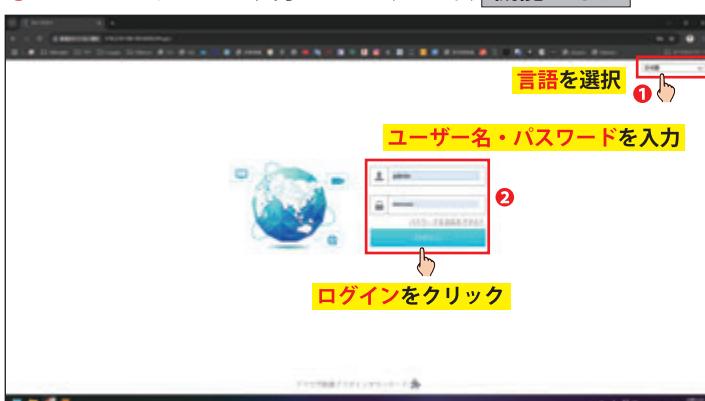
Web からの設定

注意 この認識機能を使用するには、選択したカメラで「NVR 有効」または「IPC 有効」にチェックが入っている事と「顔データベース」にデータが登録されている事が条件になります。

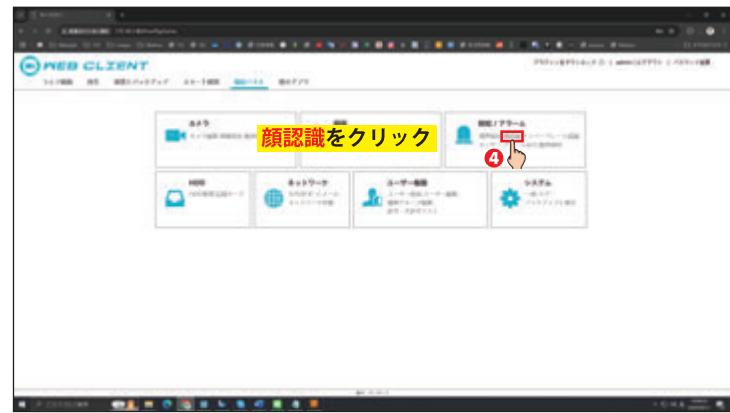
① Web ブラウザ（例えば Google Chrome など）から NVR に **IP アドレスで接続** し、言語設定が必要な場合は、右上の**言語設定**から**日本語**を選択します。

② NVR の**ユーザー名**と**パスワード**を入力し **ログイン** をクリックします。

③ ライブウィンドウが表示されますので、**機能パネル** をクリックします。



- ④ 機能パネルの [検知 / アラーム] 内の [顔認識] をクリックする。



- ⑤ カメラ名から、顔検知を有効化するカメラを選択します。



- ⑥ [認識] をクリックします。



- ⑦ 「認識成功」または「知らない人」、もしくはその両方にチェック

- ⑧ それぞれのバロメーターを登録する。

「認識成功」 顔データベースに登録されている人を検知した際に通知。

・フェイスグループ：全てまたはカメラを指定。

※デフォルトでは選択されていません。

・スケジュール：デフォルトでは「無し」(OFF) ですでの、スケジュールを登録。

・アクション：プッシュ通知 ブザー 1画面表示 メール メッセージ表示をチェック。※複数選択可

「知らない人」 顔データベースに登録されていない人を検知した際に通知。

・スケジュール：デフォルトは「無し」(OFF) ですので、スケジュールを登録。

・アクション：プッシュ通知 ブザー 1画面表示 メール メッセージ表示をチェック。※複数選択可

- ⑨ 最後に [適用] をクリックします。



21 顔データベースのインポート / エクスポート

NVR に撮りためたグループと個人情報と顔写真を含む顔データベースを暗号化し **エクスポート** (出力) し、別の INT-HD7700 シリーズへ USB メモリーを介して **インポート** (入力) する機能で、複数の NVR で同一のデータを共有する事が出来ます。顔データベースのインポートとエクスポートは NVR 本体でのみ行えます。Web ブラウザではエクスポート (出力) のみ可能ですが、顔写真ファイル (.jpe) と個人情報ファイル (.csv) を非暗号化で別々にエクスポートします。顔データベース形式のファイル (.tdb) ではダウンロードできません。

注意 インポートとエクスポートとは、「**既存のデータに不足しているデータを追加する**」のでは無く、一旦既存のデータを完全に削除し、新しいデータに書き換える事により、**クローンを作り出す機能**です。

例えばコピー元 (A 店舗) の顔データベースをエクスポートし、コピー先 (B 店舗) の NVR へインポートすると、コピー先の NVR に入っている既存の顔データベースは一旦完全に消去され、コピー元の顔データベースに書き換わります。コピー先で不足しているデータのみを追加する物では無く、コピー先へ完全にコピー元のデータに書き換える機能です。

21-1 エクスポート

空のUSB メモリーをNVR のUSB ポートに接続します。

① ライブウィンドから **開始** をクリックする。

② **設定** をクリックする。

③ メインメニューを表示させ検知 / アラーム内の **顔認識** をクリックする。



④ カメラを選択する事無く、**顔データベース** をクリックします。

⑤ **インポートとエクスポート** をクリックします。



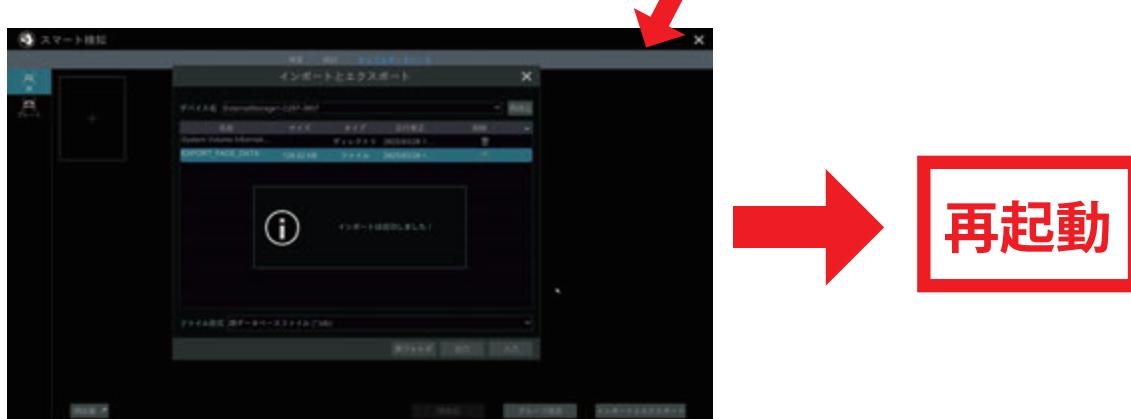
- ⑥ ファイル形式を「顔データベースファイル (csv+jpg)」から「顔データベースファイル (*.tdb)」に変更します。
※USB を 1 個接続している場合、「デバイス名」を変更する必要はありません。複数の USB メモリーを接続している場合デバイス名の選択が必要です。間違え防止の為、接続する USB は 1 個にして下さい。
- ⑦ NVR 内の顔データベースをエクスポートするので、出力をクリックします。
- ⑧ エクスポートファイルのセキュリティ強化の為、ファイルにパスワードを付けます。パスワードを入力します。
パスワードは 1 文字からでも登録可能です。インポートの段階でパスワード不明となると復旧する手段がありません。
パスワードの取扱にはご注意下さい。
- ⑨ OK をクリックしエクスポートを開始させます。NVR 内に蓄積されているデータ量にもよりますが、エクスポートは数秒程度で完了します。「エクスポート成功」のメッセージが数秒表示され消えます。



21-2 インポート

USB メモリーにエクスポートされた顔データベースの情報を別の NVR (INT-7700 シリーズ) にインポートします。
インポートを行うまではエクスポートの手順と同じの為、p24 の①～⑤をご覧下さい。

- ⑥ ファイル名が「Export_FACE_DATA」を選択します。
⑦ 「顔データベースファイル (*.tdb)」を選択します。
⑧ 入力をクリックします。
⑨ エクスポートの際に登録したパスワードを入力します。
⑩ OK をクリックします。NVR は自動で再起動が開始されますので、しばらくそのままお待ち下さい。再起動後に顔データベースをご確認下さい。



22 その他の検知・AI機能

顔認識・顔認証以外の検知・AI機能として、画像上に仮想の線やエリアを設定し、エリア内への入退や線を通過する人や自動車、バイクや自転車などの二輪車を検知し通知する**境界検知**と、カメラ個別に持った機能を使用する**スマート検知**があります。

22-1 境界検知

境界検知には以下の4種類があります。

ラインクロス：画像上にバーチャルのラインを引き、そのラインを通過した事を検知し通知します。

エリア検知：画像上にバーチャルのエリアを登録し、そのエリアへの出入りの両方を検知し通知します。

地域エントリー：エリアへの侵入のみを検知 (Regional Entry) し通知します。

エリアが出る：エリアからの退出のみを検知 (Regional Leave) し通知します。

また用いられるカメラのモデルと **NVRでの検知**または **IPCでの検知**によって、人間、車、バイク・自転車を区別する事が可能となります。

各カメラモデルとモードの対応に関しては **p86 「23. カメラ対応表」**をご参照下さい。

なお NVR で検知と IPC で検知に関しては、**3. 顔認識（顔検知）**の **p46 「17-3 NVRでの検知」**と **p49 「17-5 IPCでの検知」**をご参照下さい。

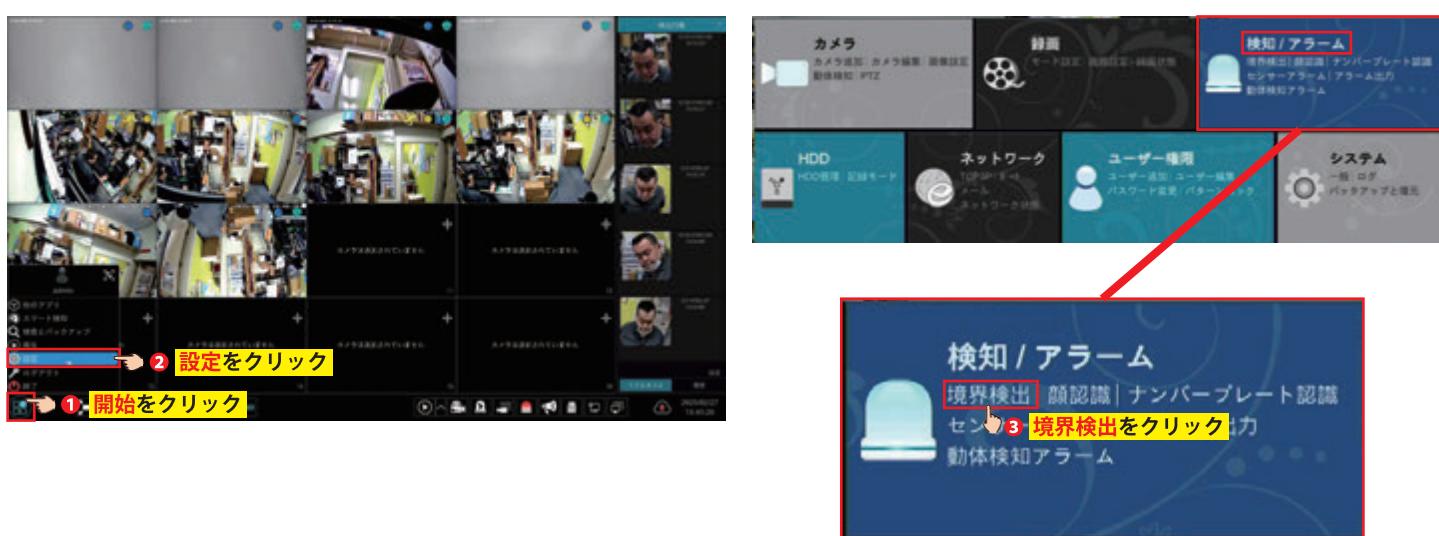
ここから先は、**ライン**（ラインクロス）、**エリア**（エリア検知、地域エントリー、エリアが出る）で説明を進めます。

注意

- ① 検知・AI機能はカメラで撮影された映像を基に画像分析によって得られる結果の為、絶対的なものとは限りません。
- ② 機器の基本言語は英語で、それらを自動翻訳で日本語化し表示しています。その為、日本語表記や単語が異なっています。半角の表示位置に全角の日本語が収まりきっていないなどの箇所が見られます。ご了承下さい。
- ③ IPカメラとNVRは同一メーカー品（純正品）を使用し作動試験を行っています。カメラ単独での検知・AI機能の作動試験は行っておりません。
- ④ 1台のNVRに登録できるAI機能有効のIPカメラの台数は、NVRのモデル（チャンネル数）及びカメラの解像度にかかわらず、NVR内でAI処理を行う場合1台～2台。対象のIPカメラ内でAI処理を行う場合、1台～10台です。
- ⑤ 1台のカメラで顔認識と境界検出を併用する事は出来ません。
- ⑥ 境界検知のラインクロスとエリア検知の併用が出来ないカメラモデルがございます。
- ⑦ ナンバープレート認識はNVR内に項目は存在しますが、現在取扱中のカメラではサポートしていません。

NVRからの登録

- ① ライブウィンドから **開始**をクリックします。
- ② **設定**をクリックします。
- ③ メインメニューの **検知 / アラーム** 内の **境界検出**をクリックします。



④ カメラ名から、**境界検知を有効にするカメラを選択**します。

⑤ 境界検知として、ラインクロス、エリア検知、地域エンター、エリアが出るから**1つ選択**します。境界検出を開いた段階でラインクロスが選択されます。

⑥ IPC 有効 または NVR 有効にチェックを入れます。



⑦ **ライン** 映像上を2点クリックしラインを引きます。

エリア 映像上を6点クリックしエリアを作成します。

ライン



エリア



⑧ **ライン** スケジュール、時間、ラインクロス数、通過方向を選択します。一部のカメラで IPC での検知 (IPC 有効) の場合、被写体別に対象サイズを変更できますが、デフォルトのまま使用でも問題はありません。

スケジュール：デフォルトで「**24×7**」が選択されています。これで 24 時間 1 週間連続して有効となります。

時間：検知間隔を設定します。(最低 3 秒～最大 2 分)

ラインクロス：IPC 有効の場合 4 本、NVR 有効の場合 2 本のラインを登録する事が出来ます。

方向：「A <-> B、 A->B、 A <-B」の3通りから選択して下さい。

エリア スケジュール、時間、検知エリア数を選択します。一部のカメラで IPC での検知 (IPC 有効) の場合、被写体別に対象サイズを変更できますが、デフォルトのまま使用でも問題はありません。

スケジュール：デフォルトで「**24×7**」が選択されています。これで 24 時間 1 週間連続して有効となります。

時間：検知間隔を登録します。(最低 3 秒～最大 2 分)

検知エリア：IPC 有効の場合 4 本、NVR 有効の場合 2 本のエリアを登録する事が出来ます。

ライン ※IPC 有効の場合



エリア ※エリア検知で IPC 有効の場合



⑨ **検出対象** をクリックします。

⑩ NVR 有効または IPC 有効にかかわらず、カメラのモデルによって検出対象の選択と、それぞれの検知感度を設定する事が出来ます。検出対象として「人間、車両、オートバイ/自転車」が選択可能です。

注意 検出対象が選択できるカメラモデルの場合、何も選択されていない状態では、検知は正常に作動しません。検出対象が選択できないカメラモデルの場合、全ての被写体に対し検知が実行されます。



⑪ **処理設定** をクリックし、境界検知が発生した際のアクション（連動機能）を設定します。

⑫ アクション（連動機能）として、静止画撮影、プッシュ通知、ブザー、1画面表示、メール、録画、アラーム出力、プリセットから複数選択する事が可能です。

・**静止画撮影**：スナップショット（静止画）を撮影し、ハードディスクに保存します。

- ・**プッシュ通知**：モバイル端末（スマホやタブレット）に専用のアプリがインストールされ、NVR がデバイス登録されます。なおかつ NVR のプッシュ通知設定と、モバイル端末とアプリの通知機能が有効になっている場合にのみ、プッシュ通知を送信します。プッシュ通知は片方向送信の為、端末で受信できなかったとしても再送信はされません。

- ・**ブザー**：本体内蔵のブザーを鳴らします。

- ・**1画面表示**：NVR に HDMI または D-Sub (VGA) で直接接続されたモニターに 1 画面ポップアップ表示します。

- ・**メール**：NVR のメール設定が必要です。使用するメールは可能な限りプロバイダーメールをご利用下さい。一部のフリーメールの使用も可能ですが、頻繁にフリーメールの仕様やセキュリティ設定が変更される為、使用者の責任の基、管理をお願いします。

- ・**録画**：検知・AI 機能を有効にしているカメラ以外に録画をしたい別のカメラを登録します。

- ・**アラーム出力**：NVR に接続された外部デバイスに接点情報を送信します。

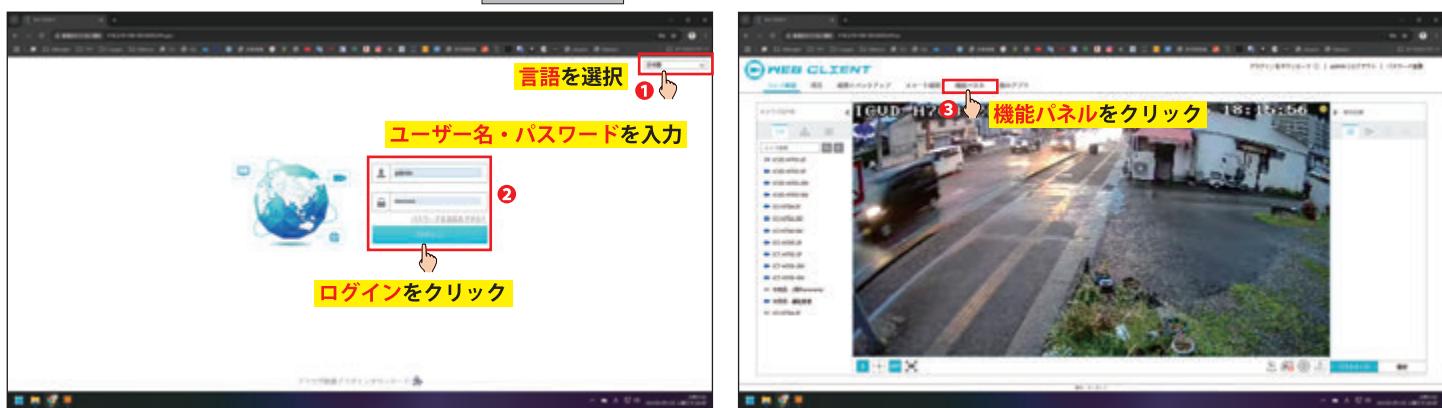
- ・**プリセット**：PTZ が接続されプリセットが登録されている場合、プリセット番号を呼び出します。

⑬ 最後に **適用** をクリックします。

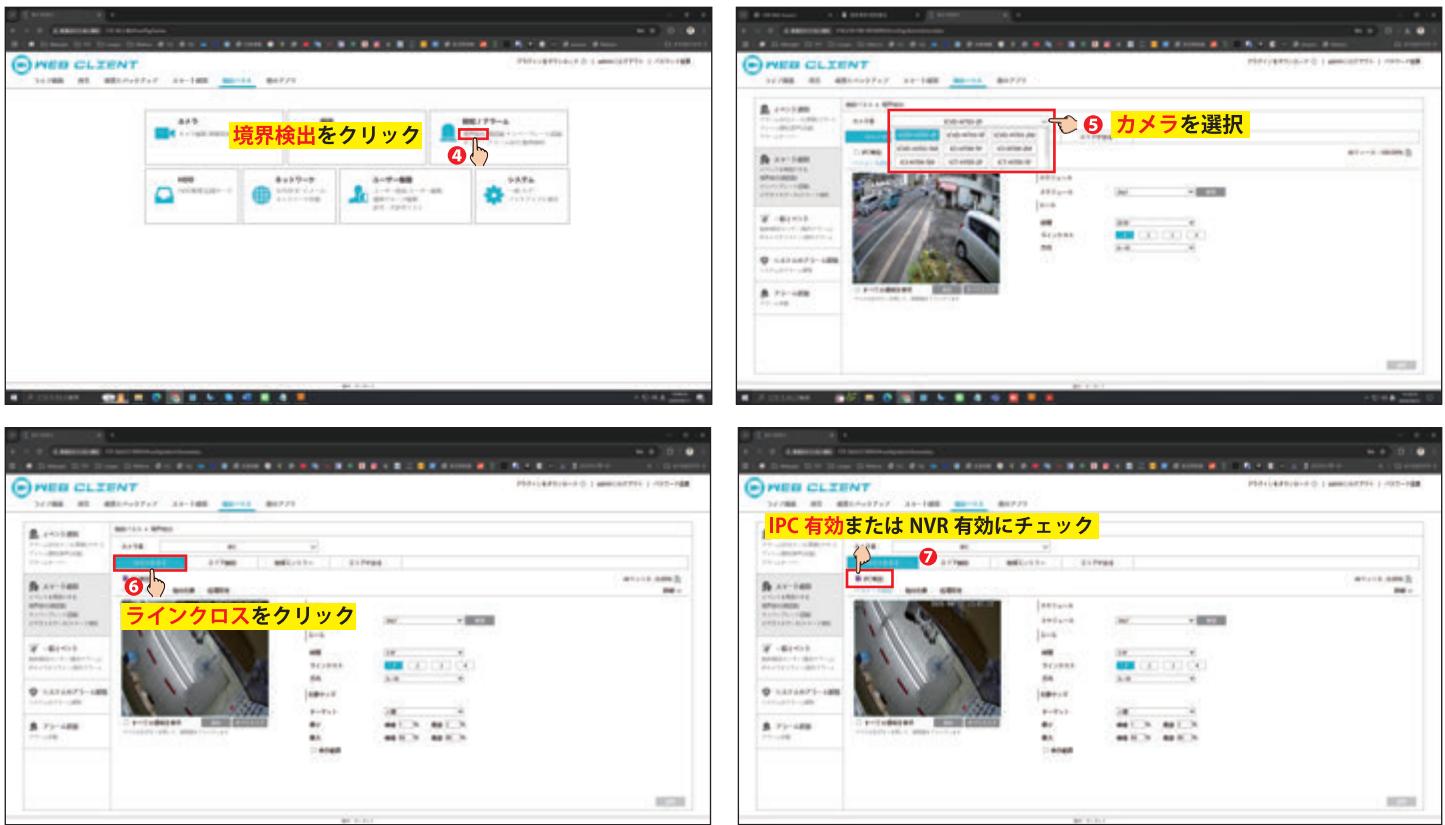


Web からの登録

- ① Web ブラウザ (例えば Google Chrome など) から NVR に **IP アドレスで接続** し、言語設定が必要な場合は、右上の “**言語設定**” から **日本語** を選択します。
- ② NVR の **ユーザー名** と **パスワード** を入力し **ログイン** をクリックします。
- ③ ライブウィンドウが表示されますので、**機能パネル** をクリックします。

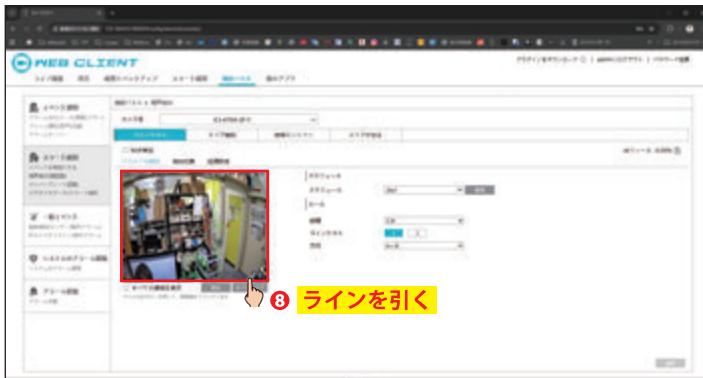


- ④ 機能パネルの **検知 / アラーム** 内の **境界検出** をクリックします。
- ⑤ カメラ名から、**境界検知を有効にするカメラ** を選択します。
- ⑥ 境界検知として、**ラインクロス**、**エリア検知**、**地域エントリー**、**エリアが出る** から **1つ選択** します。境界検出を開いた段階でラインクロスが選択されています。
- ⑦ **IPC 有効** または **NVR 有効** にチェックを入れます。

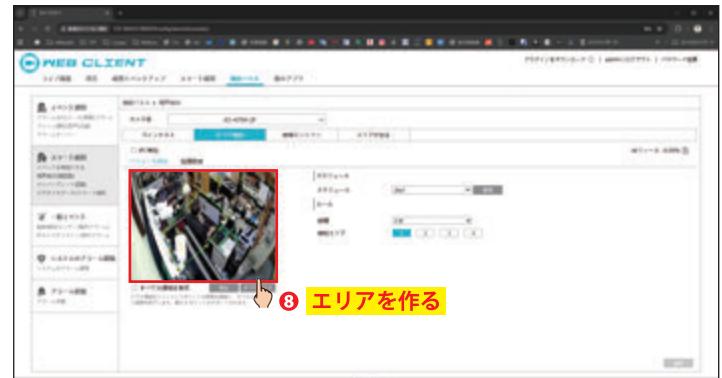


- ⑧ **ライン** 映像上を2点クリックしラインを引きます。
エリア 映像上を6点クリックしエリアを作成します。

ライン



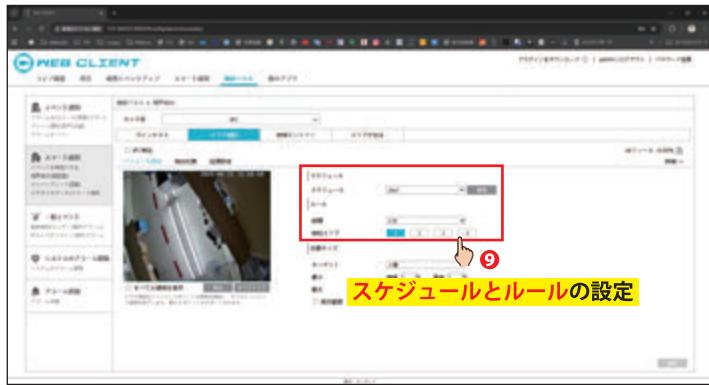
エリア



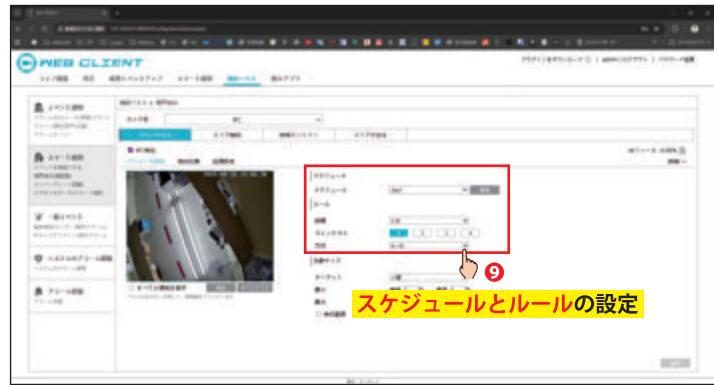
- ⑨ **ライン** スケジュール、時間、ラインクロス数、通貨方向を選択します。一部のカメラでIPCでの検知(IPC有効)の場合、被写体別に対象サイズを変更できますが、デフォルトのまま使用でも問題はありません。
スケジュール：デフォルトで「24×7」が選択されています。これで24時間1週間連続して有効となります。
時間：検知間隔を設定します。(最低3秒～最大2分です)
ラインクロス：IPC有効の場合4本、NVR有効の場合2本のラインを登録する事ができます。
方向：「A<->B、 A->B、 A<-B」の3通りから選択します。

- エリア** スケジュール、時間、検知エリア数を選択します。一部のカメラでIPCでの検知(IPC有効)の場合、被写体別に対象サイズを変更できますが、デフォルトのまま使用でも問題はありません。
スケジュール：デフォルトで「24×7」が選択されています。これで24時間1週間連続して有効となります。
時間：検知間隔を登録します。(最低3秒～最大2分です)
検知エリア：IPC有効の場合4本、NVR有効の場合2本のエリアを登録する事ができます。

ライン ※IPC 有効の場合



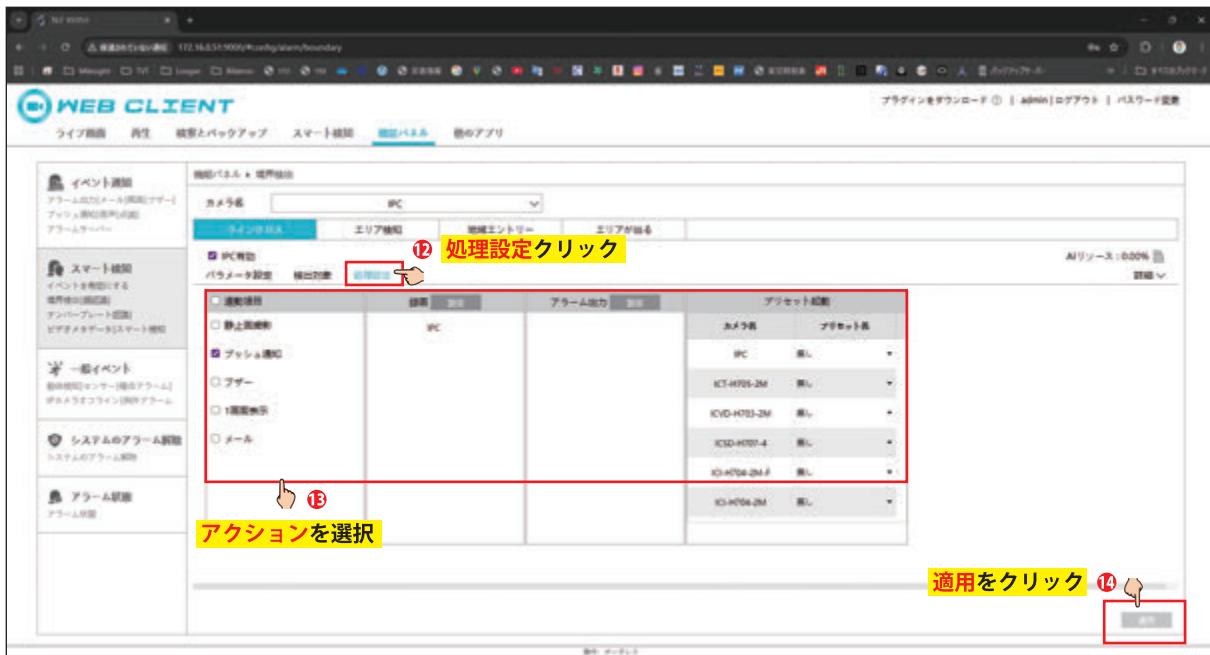
エリア ※エリア検知で IPC 有効の場合



- ⑩ 検出対象をクリックします。
- ⑪ NVR 有効または IPC 有効にかかわらず、カメラのモデルによって検出対象の選択と、それぞれの検知感度を設定する事が出来ます。検出対象として「人間、車両、オートバイ / 自転車」が選択可能です。
- 注意** 検出対象が選択できるカメラモデルの場合、何も選択されていない状態では、検知は正常に作動しません。
検出対象が選択できないカメラモデルの場合、全ての被写体に対し検知が実行されます。



- ⑫ **処理設定** をクリックし、境界検知が発生した際のアクション（連動機能）を設定します。
- ⑬ アクション（連動機能）として、静止画撮影、プッシュ通知、ブザー、1画面表示、メール、録画、アラーム出力、プリセットから複数選択する事が出来ます。
- ・**静止画撮影**：スナップショット（静止画）を撮影し、ハードディスクに保存します。
 - ・**プッシュ通知**：モバイル端末（スマホやタブレット）に専用のアプリケーション（SuperLive Plus）がインストールされ、そのアプリに NVR がデバイス登録されており、なおかつ NVR のプッシュ通知設定とモバイル端末とアプリの通知機能が有効になっている場合にのみ、プッシュ通知を送信します。プッシュ通知は片方向送信の為、端末で受信できなかったとしても再送信はされません。
 - ・**ブザー**：本体内蔵のブザーを鳴らします。
 - ・**1画面表示**：NVR に HDMI または D-Sub (VGA) で直接接続されたモニターに 1 画面ポップアップ表示します。
 - ・**メール**：NVR のメール設定が必要です。使用するメールは可能な限りプロバイダーメールをご利用下さい。一部のフリーメールの使用も可能ですが、頻繁にフリーメールの仕様やセキュリティ設定が変更される為、使用者の責任の基、管理をお願いします。
 - ・**録画**：検知・AI 機能を有効にしているカメラ以外に録画をしたい別のカメラを登録します。
 - ・**アラーム出力**：NVR に接続された外部デバイスに接点情報を送信します。
 - ・**プリセット**：PTZ が接続されプリセットが登録されている場合、プリセット番号を呼び出します。
- ⑭ 最後に **適用** をクリックします。

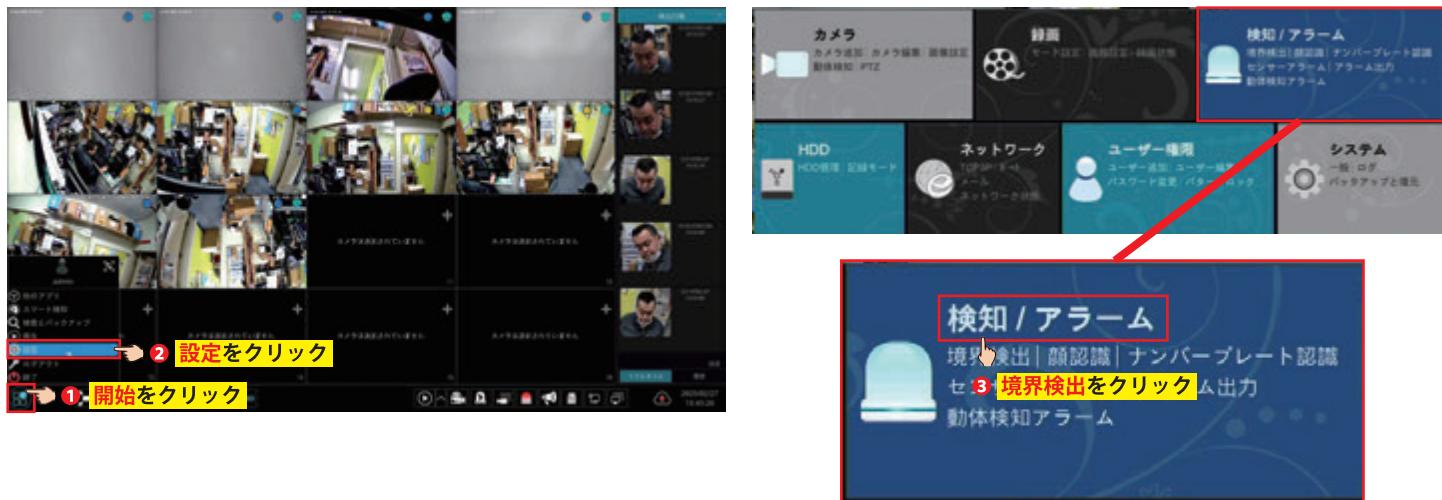


22-2 スマート検知

スマート検知では、カメラのモデルによって使用可能な機能が異なります。詳細は p86「23. カメラ対応表」をご覧下さい。

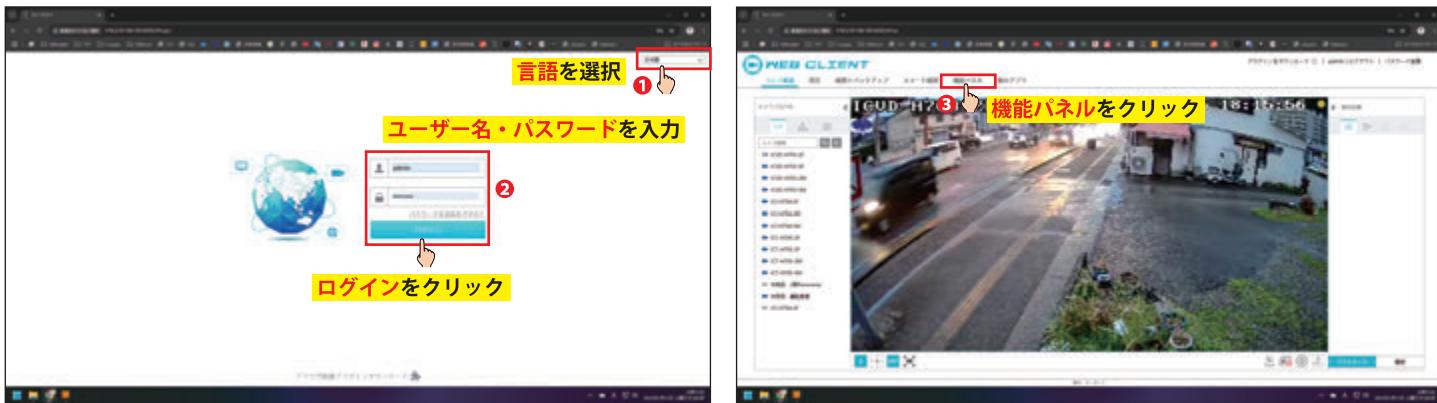
NVR からの登録

- ① ライブウィンドから **開始** をクリックします。
- ② **設定** をクリックします。
- ③ メインメニューの **検知 / アラーム** をクリックします。
- ④ **スマート検知** をクリックします。
- ⑤ カメラ名称から、**スマート検知を使用するカメラ**を選択します。
- ⑥ 表示されるスマート検知をクリックします。



Web からの登録

- ① Web ブラウザ（例えば Google Chrome など）から NVR に **IP アドレスで接続** し、言語設定が必要な場合は、右上の “言語設定” から **日本語** を選択します。
- ② NVR の **ユーザー名** と **パスワード** を入力し **ログイン** をクリックします。
- ③ ライブウィンドが表示されますので、**機能パネル** をクリックします。



- ④ **スマート検知** をクリックします。
- ⑤ カメラ名称から、**スマート検知を使用するカメラを選択** します。
- ⑥ 表示されるスマート検知をクリックします。



スマート検知の種類

以下は全ての H700 シリーズ IP カメラと NVR (INT-HD7700 シリーズ) の組み合わせによって、使用可能なその他の AI 検知とスマート検知の内容です。カメラのモデルによって使用できる機能が異なります。カメラ毎の詳細は **p86 「2.3. カメラ対応表」** をご覧下さい。

※全てのカメラでナンバー認証は非対応です。

ビデオメタデータ

検出エリア・ブロックエリア共にそれぞれ 4箇所登録可能です。検出対象を人間、車両、オートバイ / 自転車で区別し、それぞれ対象サイズと感度を設定可能です。

画像オーバーレイとして人間の場合、性別、年齢、方向、ハット、めがね、バックパック、長 / 半袖、アッパーカラー、ロング / ショートパンツ、ボトムカラー、スカート、マスク等を分析します。車両の場合、カラー、タイプ、ブランドを分析します。オートバイ / 自転車の場合、タイプを分析します。

注意 但し分析及びそれに伴う結果は **絶対ではない** 点を十分にご理解下さい。あくまでも参考となります。

徘徊検知

1秒単位で時間設定。（最大 3600 秒） 4エリア登録

人間が指定された時間、エリア内に留まった場合に検知します。処理設定を登録可能です。

違法駐車

1秒単位で時間設定。（最大 3600 秒） 4エリア登録

車両またはバイク / 自転車が指定された時間、エリア内に留まった場合に検知します。処理設定を登録可能です。

ターゲットカウント

検出対象を人間、車両、オートバイ / 自転車で区別し、入りと出とその差を表示します。それぞれ感度、被写体サイズが変更可能です。

注意 NVR の操作からはカウンターの定期及び手動リセットや画面表示を日本語化する事が出来ません。PC から Web ブラウズを介してからの設定が必要となります。

リージョナルガイド

※現バージョンで機能が安定しない為、今後の予定機能といたします。

群集密度

指定したエリア内に事前に設定された群集が集まった事を分析します。処理設定を登録可能です。

※検出対象を選択する事は出来ません。その為、群集は人間とは限りません。

※密度率（しきい値）は現場にカメラを設置後、実際の状況を確認しながら手動での調整が必要です。

音声例外検出

音の急増加と急低下を検知します。それぞれ感度と音のしきい値を設定します。処理設定を登録可能です。

例外の検出

シーンチェンジ（カメラの画角が変わった）、ピンぼけ（フォーカスがずれた場合）、色かぶり（強い白飛び）を検知すると通知します。処理設定を登録可能です。全てのカメラで使用が可能です。

22-3 スマート検知の検索

スマート検知で収集された様々なデータを検索します。

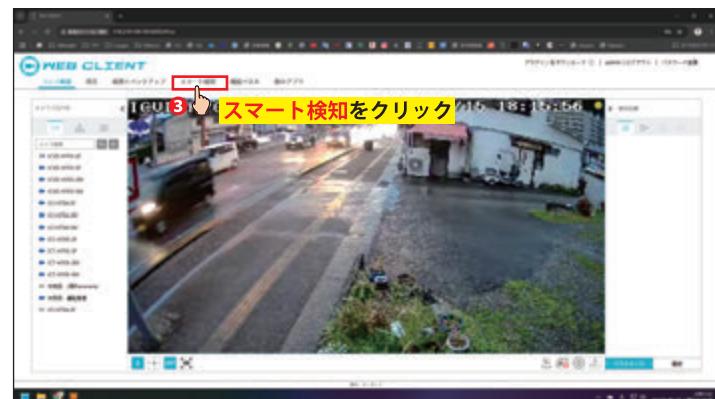
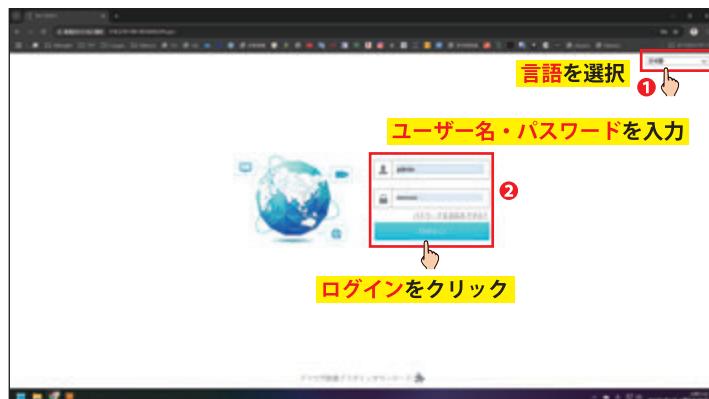
NVR の場合

- ① ライブウィンドから **開始** をクリックします。
- ② **スマート検知** をクリックします。
- ③ 検索したい項目を「顔、人体、車両、複合」から選択します。



Web ブラウザの場合

- ① Web ブラウザ（例えば Google Chrome など）から NVR に IP アドレスで接続し、言語設定が必要な場合は、右上の「言語設定」から **日本語** を選択します。
- ② NVR のユーザー名とパスワードを入力し **ログイン** をクリックします。
- ③ ライブウィンドが表示されますので、**スマート検知** をクリックします。
- ④ 検索したい項目を「顔、人体、車両、複合」から選択します。





22-3-1 スマート検知の検索「顔」

NVR の場合

① 顔をクリックします。

② 検索手段を「イベント検索」または「顔で」を選択します。

イベント検索：収録されハードディスクに保存されている顔データから検索します。

顔：事前に顔認識・顔認証で登録された顔データベースからターゲットとなる顔データを選択し検索します。事前に顔データベースの作成が必要です。

③ 検索対象期間を「日（日付指定）、週（月曜から日曜の1週間）、カスタマイズ（期間）、今日」から選択します。

※カスタマイズ（期間）は最大1ヶ月以内となります。



④

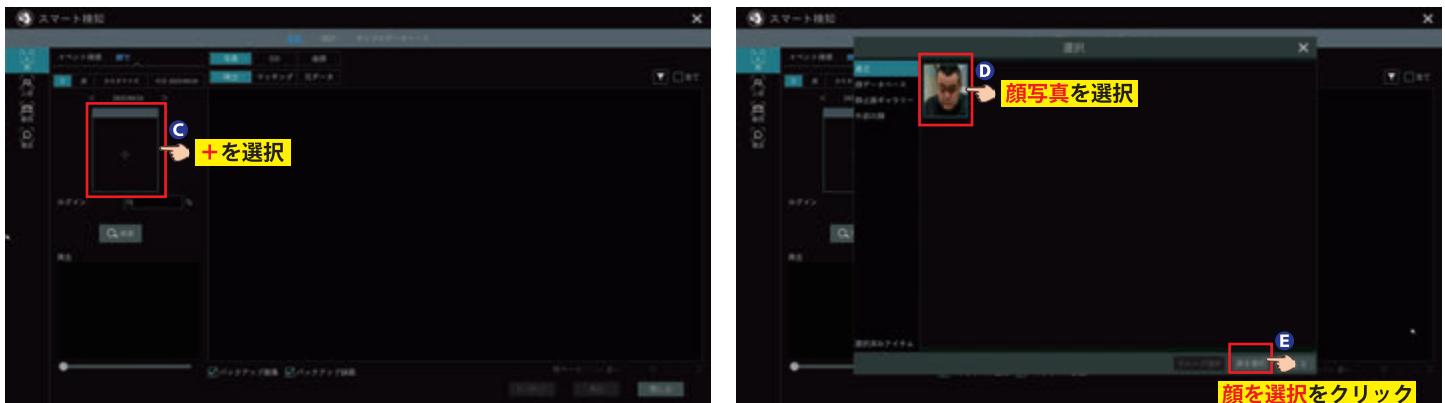
■ イベント検索の場合

A 「すべてのイベント、認識成功、知らない人」から1つ選択し B 「検索」をクリックします。



■ 顔で検索の場合

① 「+」をクリックし顔データベースの **D** 写真を選択し **E 顔を選択** をクリックします。写真に該当する結果が表示されます。日付や認証率（デフォルト 75%）を変更して再検索する場合は、条件を変更の度に **F 検索** をクリックします。顔データベースの作成と写真登録は p50 「18. 顔データベースの作成」をご覧下さい。



⑤ 表示された画像をクリックすると左下に動画が再生されます。また **すべてをバックアップ** または目的の写真にチェックを入れ **バックアップ** をクリックする事で結果をバックアップする事が出来ます。



メモ 検索結果の表示を **写真** と **リスト**、顔で検索に加え **追跡** に切り替えられ、さらに写真表示は **検出** と **元データ** に切り替えられます。

Web ブラウザの場合

① **顔** をクリックします。

② 検索手段を「イベント検索」または「顔で」を選択します。

イベント検索：収録されハードディスクに保存されている顔データから検索します。

顔：事前に顔認識・顔認証で登録された顔データベースからターゲットとなる顔データを選択し検索します。事前に顔データベースの作成が必要です。

③ 検索対象期間を「日（日付指定）、週（月曜から日曜の1週間）、カスタマイズ（期間）、今日」から選択します。

※カスタマイズ（期間）は最大1ヶ月以内となります。



④

■ イベント検索の場合

A「すべてのイベント、認識成功、知らない人」から1つ選択し **B検索**をクリックします。

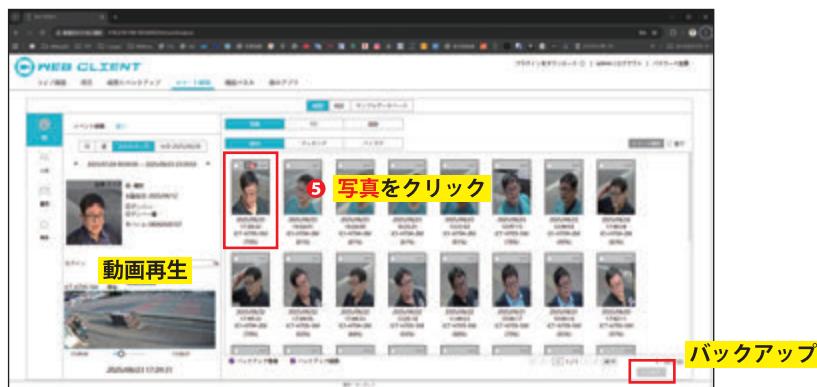


■ 顔で検索の場合

C「+」をクリックし顔データベースの **D写真**を選択し **E顔を選択**をクリックします。写真に該当する結果が表示されます。日付や認証率（デフォルト75%）を変更して再検索する場合は、条件を変更の度に **F検索**をクリックします。顔データベースの作成と写真登録はp50「18. 顔データベースの作成」をご覧下さい。



⑤表示された画像をクリックすると左下に動画が再生されます。また **すべてをバックアップ** または目的の写真にチェックを入れ **バックアップ**をクリックする事で結果をバックアップする事が出来ます。



メモ 検索結果の表示を**写真**と**リスト**、顔で検索に加え**追跡**に切り替えられ、さらに写真表示は**検出**と**元データ**に切り替えられます。

22-3-2 スマート検知検索「人体」

NVRの場合

① **人体** をクリックします。

② 検索条件を登録します。

日付：検索対象となる日付を指定します。デフォルトは**今日が選択**されています。

カメラ：検索対象となるカメラを選択します。デフォルトでは**全てのカメラが選択**されており、何も選択しない場合は全てのカメラが自動で選択されます。

イベント：検索対象となるイベントを選択します。デフォルトでは**全てのイベントが選択**されており、何も選択しない場合は、全てのイベントが自動で選択されます。

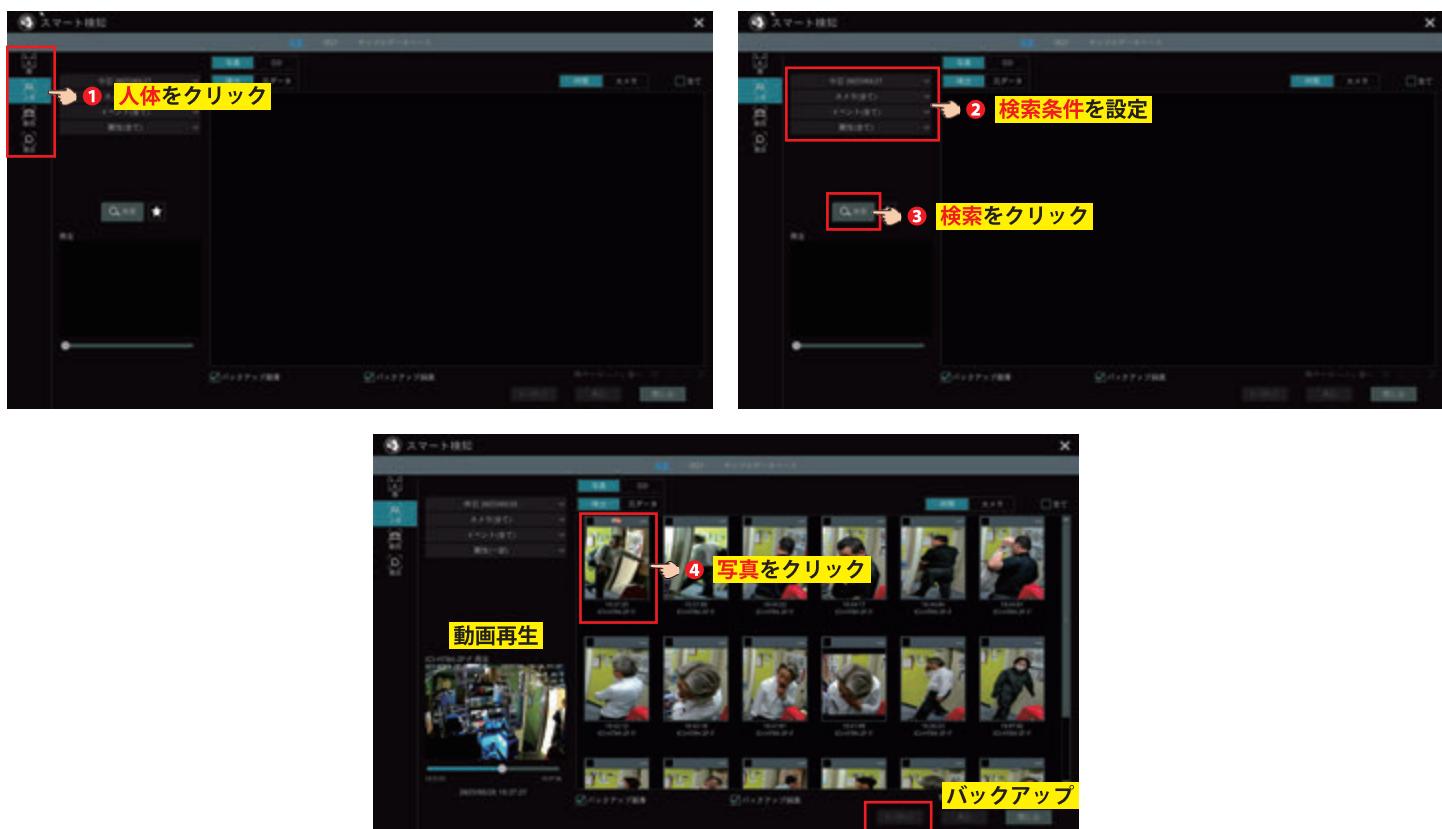
属性：検索対象となる人物の属性を選択します。デフォルトでは**全ての属性が選択**されており、何も選択しない場合は、全ての属性が自動で選択されます。

③ 検索条件が決定したら **検索** をクリックします。

④ 表示された画像をクリックすると左下に動画が再生されます。また **すべてをバックアップ** または目的の写真にチェックを入れ **バックアップ** をクリックする事で結果をバックアップする事が出来ます。

メモ 検索結果の表示を**写真**と**リスト**に切り替えられ、さらに写真表示は**検出**と**元データ**に切り替えられます。

スマート検知でビデオメタデータ機能を持つカメラを使用している場合、カメラ選択とイベント選択をメタデータで条件検索した方が、より正確な検索結果を求める事が出来ます。



Web ブラウザの場合

① **人体** をクリックします。

② 検索条件を登録します。

日付：検索対象となる日付を指定します。デフォルトは**今日が選択**されています。

カメラ：検索対象となるカメラを選択します。デフォルトでは**全てのカメラが選択**されており、何も選択しない場合は全てのカメラが自動で選択されます。

イベント：検索対象となるイベントを選択します。デフォルトでは**全てのイベントが選択**されており、何も選択しない場合は、全てのイベントが自動で選択されます。

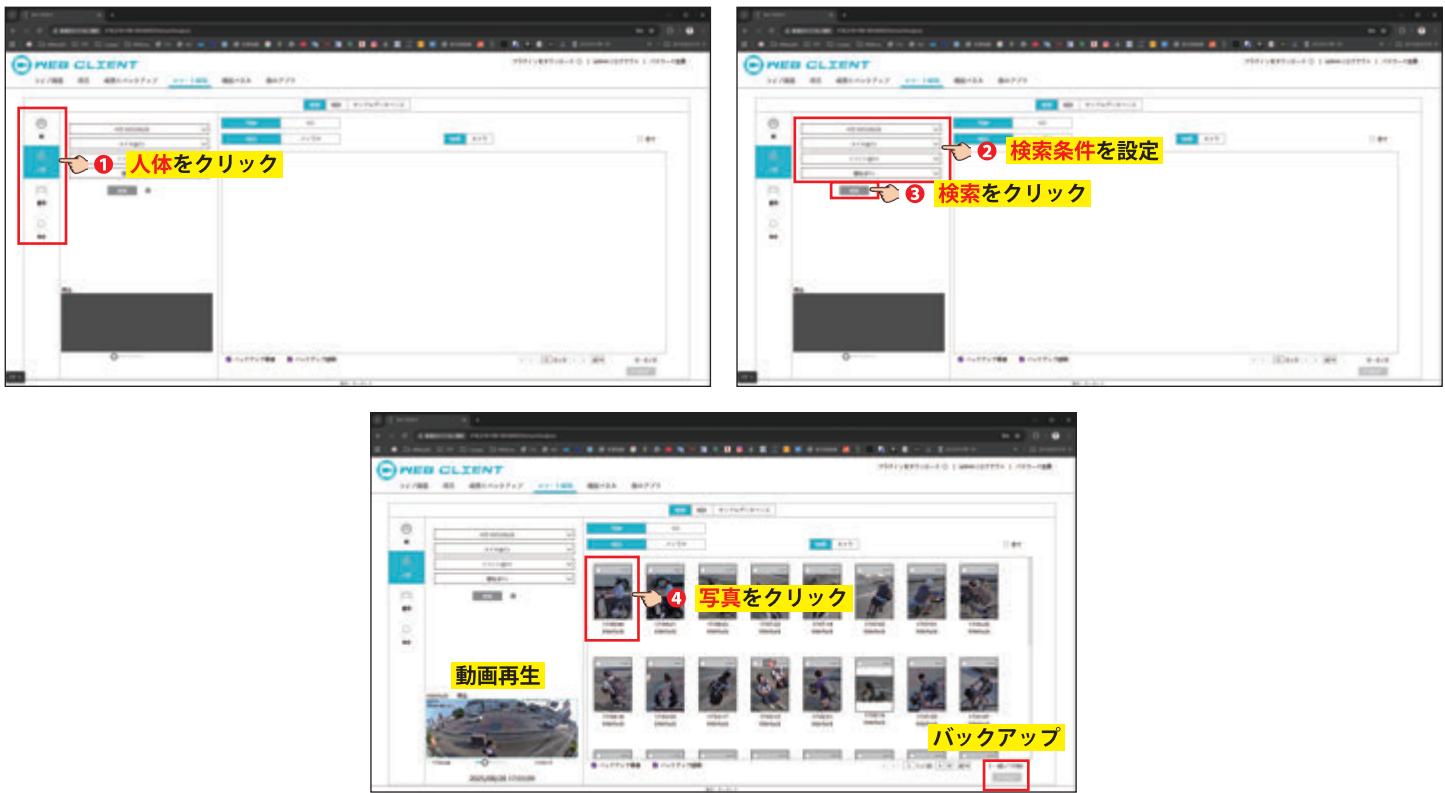
属性：検索対象となる人物の属性を選択します。デフォルトでは**全ての属性が選択**されており、何も選択しない場合は、全ての属性が自動で選択されます。

③ 検索条件が決定したら **検索** をクリックします。

④ 表示された画像をクリックすると左下に動画が再生されます。また **すべてをバックアップ** または目的の写真にチェックを入れ **バックアップ** をクリックする事で結果をバックアップする事が出来ます。

メモ 検索結果の表示を**写真**と**リスト**に切り替えられ、さらに写真表示は**検出**と**元データ**に切り替えられます。

スマート検知でビデオメタデータ機能を持つカメラを使用している場合、カメラ選択とイベント選択をメタデータで条件検索した方が、より正確な検索結果を求める事が出来ます。



22-3-3 スマート検知検索「車両」

NVR の場合

① **車両** をクリックします。

② 検索条件を登録します。

日付：検索対象となる日付を指定します。デフォルトは**今日が選択**されています。

カメラ：検索対象となるカメラを選択します。デフォルトでは**全てのカメラが選択**されており、何も選択しない場合は全てのカメラが自動で選択されます。

イベント：検索対象となるイベントを選択します。デフォルトでは**全てのイベントが選択**されており、何も選択しない場合は、全てのイベントが自動で選択されます。

ターゲット：車両またはオートバイ/自転車を選択します。デフォルトでは**両方が選択**されており、何も選択しない場合は、両方が選択されます。

属性：検索対象となる車両の属性を選択します。デフォルトでは**全ての属性が選択**されており、何も選択しない場合は、全ての属性が自動で選択されます。

ナンバー・カラー：ナンバープレート検知機能を持つカメラを使用した際の検索条件となります。ナンバープレート検知対応のカメラの取扱は行っていない為、サポート対象外とさせて頂きます。

③ 検索条件が決定したら **検索** をクリックします。

④ 表示された画像をクリックすると左下に動画が再生されます。また **すべてをバックアップ** または目的の写真にチェックを入れ **バックアップ** をクリックする事で結果をバックアップする事が出来ます。

メモ 検索結果の表示を**写真**、**リスト**、**追跡**に切り替えられ、さらに写真表示では**検出**と**元データ**に切り替えられます。スマート検知でビデオメタデータ機能を持つカメラを使用している場合、カメラ選択とイベント選択をメタデータで条件検索した方が、より正確な検索結果を求める事が出来ます。



Web ブラウザの場合

① **車両** をクリックします。

② 検索条件を登録します。

日付：検索対象となる日付を指定します。デフォルトは**今日が選択**されています。

カメラ：検索対象となるカメラを選択します。デフォルトでは**全てのカメラが選択**されており、何も選択しない場合は全てのカメラが自動で選択されます。

イベント：検索対象となるイベントを選択します。デフォルトでは**全てのイベントが選択**されており、何も選択しない場合は、全てのイベントが自動で選択されます。

ターゲット：車両またはオートバイ/自転車を選択します。デフォルトでは**両方が選択**されており、何も選択しない場合は、両方が選択されます。

属性：検索対象となる車両の属性を選択します。デフォルトでは**全ての属性が選択**されており、何も選択しない場合は、全ての属性が自動で選択されます。

ナンバー・カラー：ナンバープレート検知機能を持つカメラを使用した際の検索条件となります。ナンバープレート検知対応のカメラの取扱は行っていない為、サポート対象外とさせて頂きます。

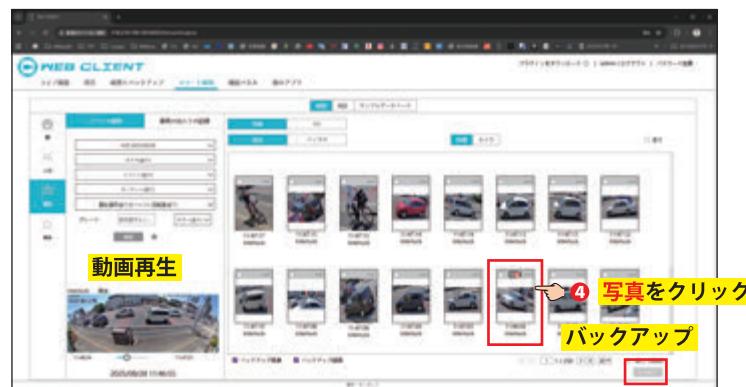
③ 検索条件が決定したら **検索** をクリックします。

④ 表示された画像をクリックすると左下に動画が再生されます。また **すべてをバックアップ** または目的の写真にチェックを入れ **バックアップ** をクリックする事で結果をバックアップする事が出来ます。

※マニュアル用のサンプル機では車両に関する画像のキャプチャーが設備上困難な為、説明画像を省きます。

メモ 検索結果の表示を**写真**、**リスト**、**追跡**に切り替えられ、さらに写真表示では**検出**と**元データ**に切り替えられる。

スマート検知でビデオメタデータ機能を持つカメラを使用している場合、カメラ選択とイベント選択をメタデータで条件検索した方が、より正確な検索結果を求める事が出来ます。



22-3-4 スマート検知検索「複合」

NVR の場合

① **複合** をクリックします。

② 検索条件を登録します。

日付：検索対象となる日付を指定します。デフォルトは**今日が選択**されています。

カメラ：検索対象となるカメラを選択します。デフォルトでは**全てのカメラが選択**されており、何も選択しない場合は全てのカメラが自動で選択されます。

イベント：検索対象となるイベントを選択します。デフォルトでは**全てのイベントが選択**されており、何も選択しない場合は、全てのイベントが自動で選択されます。

ターゲット：車両またはオートバイ / 自転車を選択します。デフォルトでは**両方が選択**されており、何も選択しない場合は、両方が選択されます。

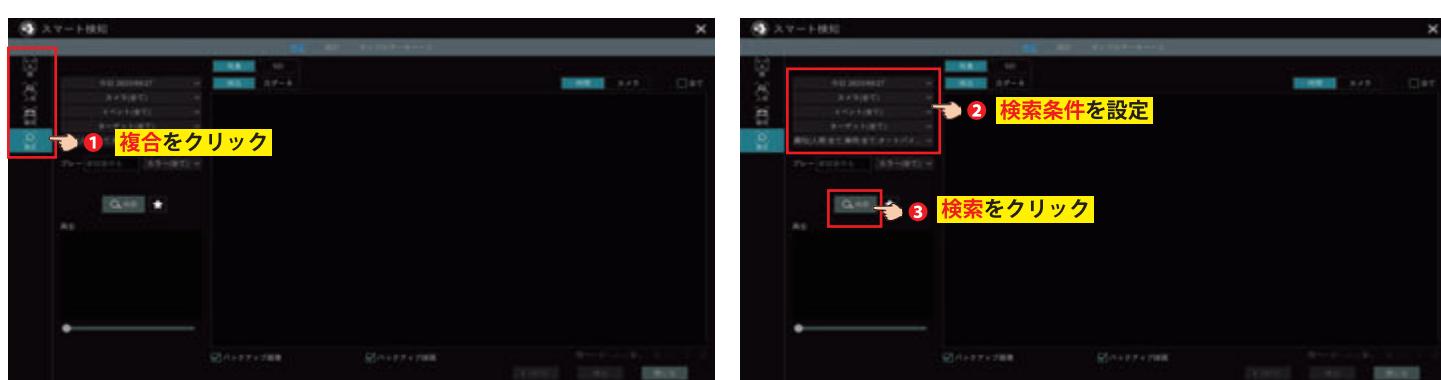
属性：検索対象となる車両の属性を選択します。デフォルトでは**全ての属性が選択**されており、何も選択しない場合は、全ての属性が自動で選択されます。

ナンバー・カラー：ナンバープレート検知機能を持つカメラを使用した際の検索条件となります。ナンバープレート検知対応のカメラの取扱は行っていない為、サポート対象外とさせて頂きます。

③ 検索条件が決定したら **検索** をクリックします。

④ 表示された画像をクリックすると左下に動画が再生されます。また **すべてをバックアップ** または目的の写真にチェックを入れ **バックアップ** をクリックする事で結果をバックアップする事が出来ます。

メモ 検索結果の表示を**写真**、**リスト**、**追跡**に切り替えられ、さらに写真表示では**検出と元データ**に切り替えられます。スマート検知でビデオメタデータ機能を持つカメラを使用している場合、カメラ選択とイベント選択をメタデータで条件検索した方が、より正確な検索結果を求める事が出来ます。



Web ブラウザの場合

① **複合** をクリックします。

② 検索条件を登録します。

日付：検索対象となる日付を指定します。デフォルトは**今日が選択**されています。

カメラ：検索対象となるカメラを選択します。デフォルトでは**全てのカメラが選択**されており、何も選択しない場合は全てのカメラが自動で選択されます。

イベント：検索対象となるイベントを選択します。デフォルトでは**全てのイベントが選択**されており、何も選択しない場合は、全てのイベントが自動で選択されます。

ターゲット：車両またはオートバイ / 自転車を選択します。デフォルトでは**両方が選択**されており、何も選択しない場合は、両方が選択されます。

属性：検索対象となる車両の属性を選択します。デフォルトでは**全ての属性が選択**されており、何も選択しない場合は、全ての属性が自動で選択されます。

ナンバー・カラー：ナンバープレート検知機能を持つカメラを使用した際の検索条件となります。ナンバープレート検知対応のカメラの取扱は行っていない為、サポート対象外とさせて頂きます。

③ 検索条件が決定したら **検索** をクリックします。

④ 表示された画像をクリックすると左下に動画が再生されます。また **すべてをバックアップ** または目的の写真にチェックを入れ **バックアップ** をクリックする事で結果をバックアップする事が出来ます。

メモ 検索結果の表示を**写真**、**リスト**、**追跡**に切り替えられ、さらに写真表示では**検出**と**元データ**に切り替えられます。スマート検知でビデオメタデータ機能を持つカメラを使用している場合、カメラ選択とイベント選択をメタデータで条件検索した方が、より正確な検索結果を求める事が出来ます。



23. カメラ対応表

カメラのモデル別、A I 機能対応表です。カメラの種類によって使用できるA I 機能が異なりますのでご確認下さい。

卷三

ラ イ ン ク ロ ス	検出対象		検出対象				検出対象				検出対象				検出対象				スマート検知			
	人 間	車	2 輪 車		工 業 燃 知		2 輪 車		工 業 ア ー 出 る		2 輪 車		車		2 輪 車		タ ク シ ミ ン ト		リ カ ガ イ ド ナ ル	音 例 外 の 検 出		
			人 間	車	人 間	車	人 間	車	人 間	車	人 間	車	人 間	車	人 間	車	タ ク シ ミ ン ト	リ カ ガ イ ド ナ ル	群 集 密 度	音 例 外 の 検 出		
ICVD-H703-2F	IPC	x	x	IPC	x	x	IPC	x	x	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
ICVD-H703-5F【在庫】	IPC	o	o	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
ICVD-H703-6F	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
ICVD-H703-8F	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
ICVD-H703-2AN	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
ICVD-H703-5M【在庫】	IPC	o	o	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
ICVD-H703-6M	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
ICVD-H703-8M	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
IC-H704-2F	IPC	x	x	IPC	x	x	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
IC-H704-2F/F【受】	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
IC-H704-5F【受】	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
IC-H704-6F	IPC	o	o	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
IC-H704-8F	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
IC-H704-2F/F【受】	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
IC-H704-4-2M	IPC	x	x	IPC	x	x	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
IC-H704-4-5M【受】	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
IC-H704-8M	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
IC-H704-5M【在庫】	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
IC-H704-6M	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
IC-H704-8M	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
IC-T-H705-2F	IPC	x	x	IPC	x	x	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
IC-T-H705-5M【在庫】	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
IC-T-H705-6F	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
IC-T-H705-8F	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
IC-T-H705-2F	IPC	x	x	IPC	x	x	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
IC-T-H705-5M【在庫】	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
IC-T-H705-6M	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
IC-T-H705-8M	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
IC5S-H706-6	IPC	x	x	IPC	x	x	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
ICSD-H7074-4【受】	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
IC-H704-4F/C	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
IC-T-H705-4F/C	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
ICL-H704-8F/P	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
ICT-H705-8F/P	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
ICT-H705-8M	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
IC5S-H706-6	IPC	x	x	IPC	x	x	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
ICSD-H7074-4【受】	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
ICL-H704-4F/C	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
IC-T-H705-4F/C	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
ICL-H704-8F/P	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o
ICT-H705-8F/P	IPC	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	o	o	NVR	x	x	x	x	x	o
ICT-H705-8M	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	o	o	IPC	x	x	x	x	x	o

AI機能やAI機能を使用していない場合に限ります。但し他のイベント機能やAI機能を使用できます。顔認識(顔検知)機能は、非AIカメラ(NVR検知)は最大で2台まで。AIカメラ(IPC検知)は6台～接続台数使用できます。上の一表の備考欄をご覧下さい。

1台のAIカメラで、顔認識機能と他のAI機能を併用する事は出来ません。
カメラのモデルによって顔認識認識（顔検知）、顔認証機能をメインに行う**フェイスモード**とその他のAI機能（Smart検知）を行なう**スマートモード**を選択する事が出来ます。

5.0MP モデルは在庫限りとなり今後の新規入荷はございません。5.0MP モデル完売後から後継モデルの 6.0MP モデルとなります。

24. オプション品適合表

ジャンクションボックス、一部の壁面ブラケット、一部の吊り下げブラケット、埋込ブラケットは、そのもの単独で使用する事が可能ですが、それ以外は複数のブラケットとの組み合わせで使用します。

「受」は受注生産品となる為、在庫はございません。また在庫品であっても數は少量あるいは入荷待ちの場合があります。事前にご確認下さい。

オプション品		シャンクションボックス				壁面プラケット				吊下げプラケット				埋込プラケット				ボール プラケット	
イメージ	モデル	B101	B206 受	B207	B301	B302	B203	B406	B407	B409 受	B808 受	B807 受	B810	B811	B813 受	B701B	B701E 受	B501	ボール プラケット
他製品との組み合わせ																			
単品使用可																			
Fixed	ICVD-H703-2F	<input checked="" type="checkbox"/>								<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
ICVD	ICVD-H703-5F 【在庫】	<input checked="" type="checkbox"/>								<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICVD-H703-6F	<input checked="" type="checkbox"/>								<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICVD-H703-8F	<input checked="" type="checkbox"/>								<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
Motor	ICVD-H703-2M									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICVD-H703-5M 【在庫】	<input checked="" type="checkbox"/>								<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICVD-H703-6M									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICVD-H703-8M									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICL-H704-2F																		<input checked="" type="checkbox"/>
	ICL-H704-2F/F 【受】									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
Fixed	ICL-H704-5F 【在庫】									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICL-H704-6F									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICL-H704-8F									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
ICL	ICL-H704-2M									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICL-H704-2M/F 【受】									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
Motor	ICL-H704-5M 【在庫】									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICL-H704-6M									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICL-H704-8M									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICT-H705-2F									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
Fixed	ICT-H705-5F 【在庫】									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICT-H705-6F									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICT-H705-8F									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
ICT	ICT-H705-2M									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICT-H705-5M 【在庫】									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
Motor	ICT-H705-6M									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICT-H705-8M									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
全方位	IC5-H707-4									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
PTZ	IC5-H706-6 【受】									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
ナイトカーラー	ICL-H704-4F/C									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICL-H704-4F/C									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
ナノラマ	ICL-H704-8F/P									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>
	ICL-H705-8F/P									<input checked="" type="checkbox"/>									<input checked="" type="checkbox"/>

■国内輸入元事業所：有限会社インターラック

製品に対するお問い合わせは、製品をお求め頂きました販売店にお願いいたします

[販売店印]